# 地域の魅力を発信するご当地検定

## 調査研究報告書

平成21年3月

財団法人　地域活性化センター

# はじめに

国や地方の厳しい財政状況や少子高齢化社会の到来など、地域を取り巻く環境が大きく変化しているなか、各地域は個性豊かで活力に満ちた地域づくりを自らの創意工夫で実現することが求められています。

このような状況のもとで、地域のホスピタリティの向上や観光振興に係る人材育成などを楽しみながら行える「ご当地検定」が全国で注目されています。多くのメディアが取り上げたこともあってブームとなり、ここ数年の間で爆発的に増加してきています。

全国には既に数多くのご当地検定がありますが、今でも新たなご当地検定が次々に誕生しています。これらは、自治体や商工会議所など、様々な団体が独自の方法で実施しています。

そこで、これらの検定について調査することによって、ご当地検定がどのような目的で実施されているのかをはじめ、どのように地域の魅力を発信しているのか、地域住民の意識に与える効果はどうか、検定運営に課題はあるのか、検定運営をしていくために留意しなければならないことは何かなどを明らかにすることとしました。また、商店街のにぎわいの創出や地域ブランドの確立など、地域振興面での効果についてもあわせて調査することとしました。

調査に当たりましては、全国各地で実施されているご当地検定の実施主体に対して、アンケート調査を実施するとともに、ユニークな取り組みなどがみられる６つのご当地検定については個別に取材し、これらの結果を報告書に取りまとめました。

調査を進めるに当たりましては、株式会社ブランド総合研究所　代表取締役社長　田中章雄氏にご指導をいただきました。また、田中氏には第３章にご執筆いただくとともに、第２章の事例調査の監修もお引き受けいただくなど、多大なご協力を賜りました。ここに深く感謝申し上げます。

本報告書が、ご当地検定を実施している皆様や今後実施しようと考えている皆様のお役に立てれば幸いです。

最後に、本報告書の作成にあたり調査にご協力をいただきました関係機関の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成２１年３月

財団法人地域活性化センター
理事長　石田　直裕

# ―― 目　次 ――


序　章　調査の目的と方法・・・

# 序 章　調査の目的と方法

## 目　次

序　章　調査の目的と方法 …… 5
1　調査の目的 …… 5
2　調査の方法 …… 6

第1章　アンケート調査 …… 7
1　アンケート調査の実施概要 …… 8
2　集計結果 …… 9

第2章　事例調査 …… 37
1　事例調査の実施概要 …… 38
金沢歴史文化観光検定 …… 40
小田原まちあるき検定 …… 46
金沢検定、ジュニアかなざわ検定 …… 58
郡上・タコ検定 …… 67
秩父まつり・だんじり検定 …… 74
熊本・観光文化検定 …… 80

第3章　地域の魅力を発信するご当地検定 …… 87
株式会社ブランド総合研究所　代表取締役社長　田中　雅博
1　ご当地検定について …… 90
2　検定で地域の魅力を伝える …… 89
3　地域住民への効果も大きい …… 90
4　ご当地検定の課題 …… 91
5　検定を運営するに当たって留意すべきこと …… 91
6　指導教官の紹介 …… 93

資料編 …… 95
1　アンケート協力依頼文 …… 97
2　アンケート調査票 …… 98
3　ご当地検定一覧 …… 103
4　参考資料 …… 135

序　章　調査の目的と方法

## 1　調査の目的

全国各地で実施されているご当地検定は、目的から実施主体、受験対象者、試験の出題形式、試験問題、合格者の特典に至るまで、地域の実情に合わせたものとなっており、検定ごとに異なったものとなっている。目的としては、地域のホスピタリティの向上や観光振興に係る人材育成などがあり、実施主体としては、自治体や商工会議所、観光協会などがある。

このため、本報告書では、全国にあるご当地検定を一斉調査し、特徴的な取り組みや課題を洗い出すとともにその効果を調査し、現在ご当地検定を実施している団体や今後実施しようと考えている団体に参考となるような資料を取りまとめることを目的として、実施した。

## 2　調査の方法

### （1）ご当地検定の定義

本書でいうご当地検定とは、検定内容が実施されている区域の地域資源（歴史や文化など）の知識を測るものや研修に資するものとする。

### （2）アンケート調査

全国にある 239 件のご当地検定実施主体に対して、現状や今後の取り組み方針等、その実態を把握するためにアンケート調査を実施した。

実施期間　平成 20 年 11 月 17 日～12 月 15 日

調査方法　郵送アンケート方式

### （3）現地事例調査

「実施目的に対して効果を実感している検定」又は「問題・課題を解決した検定」又は「実施方法がユニークな検定」であり、かつ、「検定を実施し始めて 1 年以上を経過し、今後も開催していくこととしている検定」をアンケート結果から抽出した。

そこで、実施主体の種別や検定の規模、地域バランスなどを考慮のうえ、6 事例を選考し、現地取材を実施した。

# 第１章　アンケート調査

# 第1章　アンケート調査

## 1　アンケート調査の実施概要

### （1）調査概略

①対象　　インターネット調査や自治体からの情報提供等により判明した239件

実施主体は、行政機関や商工会議所等の民間団体に関わらず、広く調査したが、自動車や戦国史などの一部のマニアを対象としたものや個人や団体が個人的に実施するなどで地域づくりや地域振興との関連が低いものは対象外とした。

②期間　　平成20年11月17日～12月15日

③配布・回収　クロネコメール便配布・郵便回収

### （2）調査の内容

| | |
|---|---|
| 検定概要 | 開始年月日・実施頻度・受験対象者の制限・実施目的・受験区分・出題形式・受験者数・合格者数・合格率・合格基準・受験費用（・金額）・共催団体等 |
| 検定問題 | 作成者・内容・実施場所・事前準備・問題解答の公表 |
| 検定合格者 | 合格者への特典（・導入見込み）・合格者の活用 |
| 検定の今後 | 目的に対する効果・年間事業費（・内訳）・運営上の問題と課題・今後の取り組みの方向性・その他、特徴的な取り組みや意見等 |

### （3）発送・回収数

①発送件数　239件

②回収件数　166件（回収率　69.5%）

## 2　集計結果

### 1．ご当地検定の概要

#### （1）都道府県別のご当地検定数

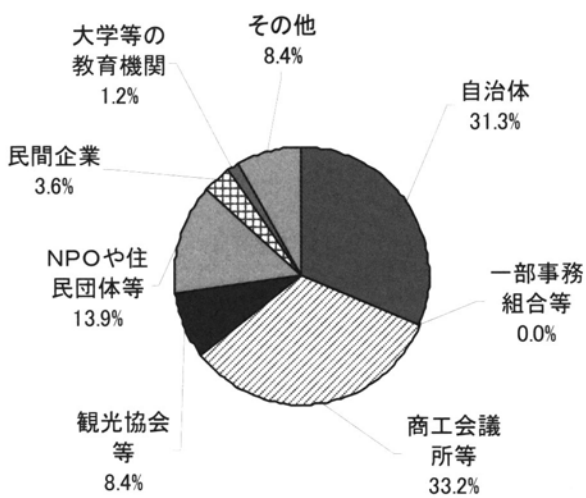
このアンケート調査においては、44 都道府県にある 166 のご当地検定の実施主体から回答があった。都道府県別ご当地検定数については、兵庫県が 16 件と最多であり、次いで、北海道の 11 件、大阪府と愛知県の 7 件である。

| 順位 | 都道府県 | 件数 | 順位 | 都道府県 | 件数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 兵庫県 | 16 | 9 | 神奈川県 | 5 |
| 2 | 北海道 | 11 | | 岐阜県 | 5 |
| 3 | 大阪府 | 7 | | 静岡県 | 5 |
| | 愛知県 | 7 | | 岡山県 | 5 |
| 5 | 宮城県 | 6 | | 広島県 | 5 |
| | 埼玉県 | 6 | | 愛媛県 | 5 |
| | 長野県 | 6 | | 福岡県 | 5 |
| | 京都府 | 6 | | 44都道府県計 | 166 |

#### （2）検定実施主体の属性

検定実施主体の属性については、「商工会議所等」が 33.2%と最多であり、次いで「自治体」の 31.3%、「NPO や住民団体等」の 13.9%である。「その他」には、財団法人や社団法人などがあった。

| N=166 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 自治体 | 52 | 31.3 |
| 一部事務組合等 | 0 | 0.0 |
| 商工会議所等 | 55 | 33.2 |
| 観光協会等 | 14 | 8.4 |
| NPOや住民団体等 | 23 | 13.9 |
| 民間企業 | 6 | 3.6 |
| 大学等の教育機関 | 2 | 1.2 |
| その他 | 14 | 8.4 |
| 合　計 | 166 | 100.0 |



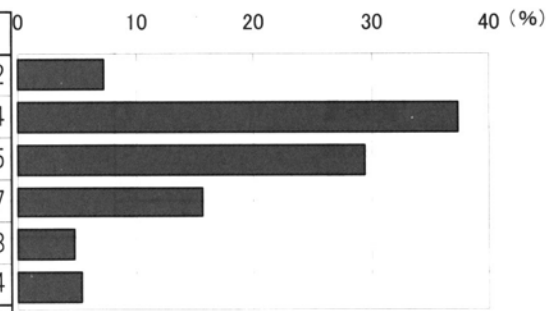
### （3）検定の開始年月

問１　「昭和」か「平成」をお選びいただき、検定の開始年月をご記入ください。
昭和・平成　（　　）年（　　）月から

現在実施されている検定の開始年月については、「平成 20 年」が 37.4%と最多であり、次いで「平成 19 年」の 29.5%となっており、回答のあった検定の多くが過去 2 年間に開催されたものである。

また、最も歴史の古い検定は、平成 14 年 11 月に開始されたものである。

| N=166 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 平成21年以降(予定) | 12 | 7.2 |
| 平成20年 | 62 | 37.4 |
| 平成19年 | 49 | 29.5 |
| 平成18年 | 26 | 15.7 |
| 平成17年 | 8 | 4.8 |
| 平成16年以前 | 9 | 5.4 |
| 合計 | 166 | 100.0 |



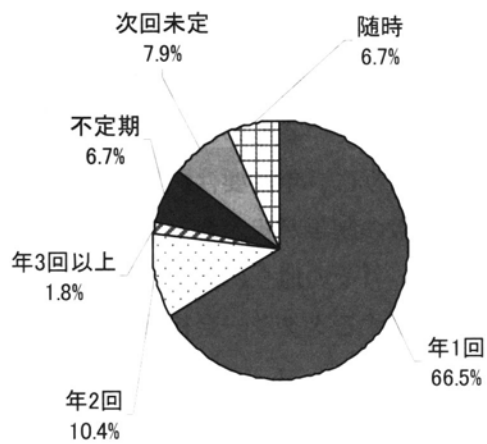
### （4）検定の実施頻度

問２　検定の実施頻度について、該当する番号をお選びいただき、具体的な実施月などをご記入ください。

1. 年１回　（具体的に：　　）
2. 年２回　（具体的に：　　）
3. 年３回以上　（具体的に：　　）
4. 不定期　（具体的に：　　）

検定の実施頻度については、「年１回」が 66.5%と７割近くを占めており、「年２回」は 10.4%、「年３回」は 1.6%であり、１年に複数回実施している検定は１割強程度である。「その他」には、試験的に実施しただけとの回答や次回以降の予定が決まっていないという「次回未定」が 7.9%、インターネット上での実施や期間を決めずテキストに掲載されている検定問題を各自で受験するという方法などの「随時」が 6.7%となっている。

| N=164 | | 件数 | % |
|---|---|---|---|
| 年1回 | | 109 | 66.5 |
| 年2回 | | 17 | 10.4 |
| 年3回以上 | | 3 | 1.8 |
| 不定期 | | 11 | 6.7 |
| その他 | 次回未定 | 13 | 7.9 |
| | 随時 | 11 | 6.7 |
| 合計 | | 164 | 100.0 |



### （5）検定の受験対象者の制限

問３　検定の受験対象者の制限について、該当する番号をお選びください。
（複数回答可）

1. 特になし
2. 年齢要件を満たす者のみ：（　　）歳以上・以下、（　　）歳～（　　）歳
3. 地域在住者のみ・在勤者のみ・在学者のみ
4. 資格を有する者のみ：（資格名：　　）
5. その他（具体的に：　　）

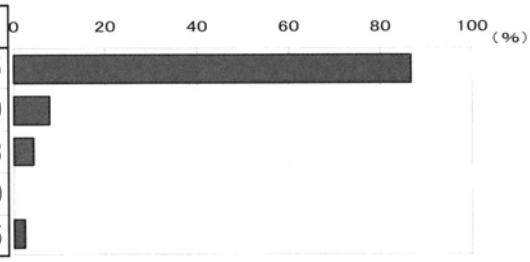
【集計方法】

受験区分が複数あり、受験区分ごとに制限が異なる検定については、そのうち１つでも「特になし」という区分があるか、すべての人がいずれかの区分を受験できる場合は、「特になし」とした。

検定の受験対象者の制限については、「特になし」が 86.5%と大多数を占めている。次いで、危険物を取り扱うため高校生以上としているものやお酒の試飲があるため 20 歳以上としているものなど、「年齢要件を満たす者のみ」の 8.0%であった。地元の小学生というように「年齢要件を満たす者のみ」と「地域在住者のみ・在勤者のみ・在学者のみ」の複数の制限が組み合わされている検定もあった。

「その他」には、市民の会への加入を条件としているものやガイドライバー協議会に所属するタクシー会社乗務員であることなどがあった。

| N=163 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 特になし | 141 | 86.5 |
| 年齢要件を満たす者のみ | 13 | 8.0 |
| 地域在住者のみ･在勤者のみ･在学者のみ | 7 | 4.3 |
| 資格を有する者のみ（※） | 0 | 0.0 |
| その他 | 4 | 2.5 |




※ここでいう資格とは、弁護士や建築士などの国家資格や公的資格のこととし、上級を受験する条件となっている初級合格は含まないこととした。

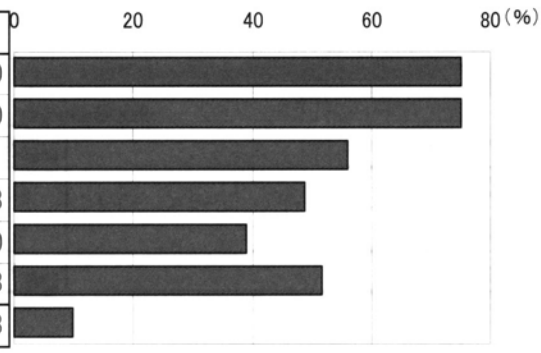
### （6）検定の目的

問４　検定の目的について、該当する番号をお選びください。（複数回答可）

1. 地域の認識度向上　　2. 地域への愛着や誇りの再認識
3. 地域の歴史・文化の伝承　4. 地域のホスピタリティの向上
5. 観光振興に係る人材育成　6. 地域や地域資源（産業・特産品）のPR
7. その他（具体的に：　　）

検定実施の目的については、「地域の認識度向上」「地域への愛着や誇りの再認識」が共に75.0%と最多であり、次いで「地域の歴史・文化の伝承」の56.1%、「観光振興に係る人材育成」の51.6%である。「その他」では、「家族間のコミュニケーションの充実」や「食育の推進」、「脳の健康・心の教育」などがある。

| N=164 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 地域の認識度向上 | 123 | 75.0 |
| 地域への愛着や誇りの再認識 | 123 | 75.0 |
| 地域の歴史･文化の伝承 | 92 | 56.1 |
| 地域のホスピタリティの向上 | 80 | 48.8 |
| 観光振興に係る人材育成 | 64 | 39.0 |
| 地域や地域資源のPR | 85 | 51.8 |
| その他 | 16 | 9.8 |



### （7）検定の難易度等による区分

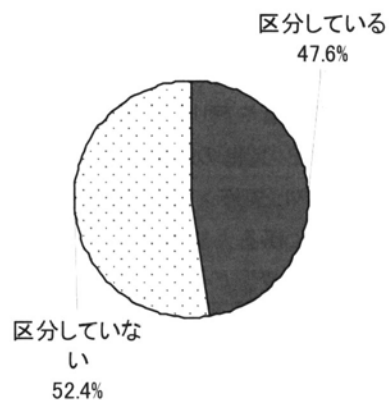
問５　検定の難易度等による区分（上級・中級・初級等）について、該当する番号をお選びください。
また、１を選択した場合は、何区分に分かれているかもご記入ください。
1. している　（　　）区分　　2. していない

【集計方法】

ここでいう区分とは、受験する際の区分を対象とし、得点によって区分される（合格級と設定している）検定は、「区分無」とした。

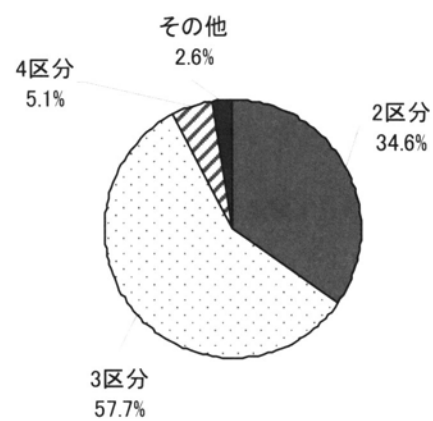
検定の難易度等による区分の有無については、「区分有」が 47.6%、「区分無」が 52.4%であり、「区分無」の方が若干多い。

| N=164 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 区分有 | 78 | 47.6 |
| 区分無 | 86 | 52.4 |
| 合計 | 164 | 100.0 |




区分数については、「3 区分」が 57.7%と最多であり、次いで「2 区分」の 34.6%であり、それ以外は少数だった。「その他」には、37 区分や 92 区分としているものがあった。92 もの区分となるのは、1 つの検定で 3 つのテーマを持ち、テーマごとに受験級が詳細に設定されているからである。

| N=78 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 2区分 | 27 | 34.6 |
| 3区分 | 45 | 57.7 |
| 4区分 | 4 | 5.1 |
| その他 | 2 | 2.6 |
| 合計 | 78 | 100.0 |



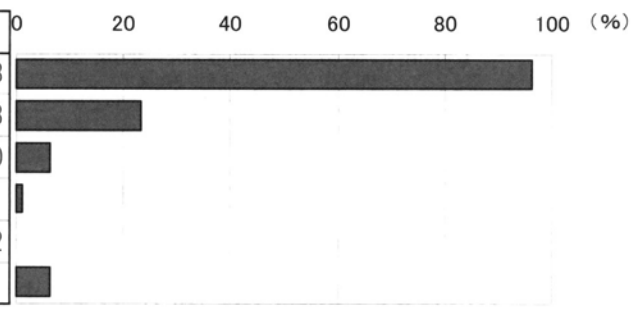
### （8）検定試験問題の出題形式

問6　検定試験問題の出題形式について、該当する番号をお選びください。
（複数回答可）
1. 選択式　2. 記述式　3. 面接式　4. 論文式
5. 研修会等を受講すれば合格　6. その他（具体的に：　）

検定試験問題の出題形式については、「選択式」が96.3%と大半を占めている。「記述式」も23.3%であるが、選択式と併用されているものがほとんどであり、記述式のみで実施されている検定は2つだけである。

「その他」には、「フィールド試験や「実地試験」などの現場での試験のほか、「ワインのテイスティング」、「実食して食材を当てる」など、実際に味わって回答するものもある。

| N=163 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 選択式 | 157 | 96.3 |
| 記述式 | 38 | 23.3 |
| 面接式 | 0 | 0.0 |
| 論文式 | 10 | 6.1 |
| 研修会などを受講すれば合格 | 2 | 1.2 |
| その他 | 10 | 6.1 |



### （9）受験者数、合格者数、合格率、合格基準

☆問6で1～4、6と回答された方にお伺いします。(5と回答された方のみ問8へお進みください。)

問7　過去3回以内の検定の受験者数、合格者数、合格率及び合格基準をご記入ください。

※合格基準の欄には、正解率（○○%、○問中○問）や合格者数を受験者のうち100名と定めているなどとご記入ください。また区分（　）級のない場合は、一番上の表にご記入ください。

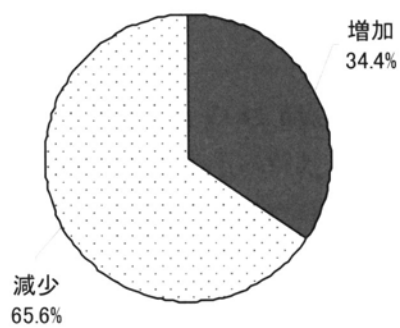
①受験者数

【集計方法】

1年間に複数回実施され、平成20年度に未実施回のある検定については、平成20年度の受験者数は比較データに含めないこととした。

年度ごとに各受験区分の受験者数を合計し、直近実施年度とその前年度の受験者数を比較した。受験者数については、増加している検定が34.4%であり、減少している検定が65.6%と、6割強が減少傾向にある。また、受験者数では、8,305人が最多であり、次いで6,346人、3,050人である。

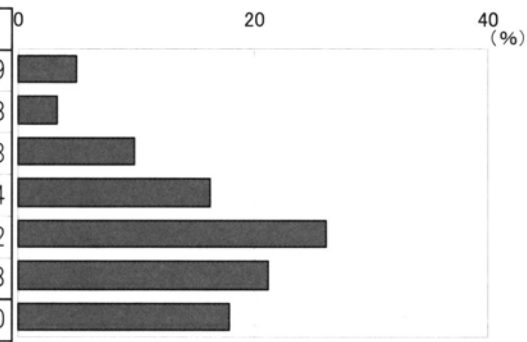
| N=61 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 増加 | 21 | 34.4 |
| 減少 | 40 | 65.6 |
| 合計 | 61 | 100.0 |




受験年度・区分別の受験者数が最も多い検定では、7,085人のものがあり、次いで5,232人、4,713人である。

受験者数の増加率については、「▲25%未満～0%」が 26.2%と最多であり、次いで「▲50%未満～▲25%」が 21.3%、「▲50%以下」が 18.0%である。

| N=61 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 100%以上 | 3 | 4.9 |
| 50～100%未満 | 2 | 3.3 |
| 25～50%未満 | 6 | 9.8 |
| 0～25%未満 | 10 | 16.4 |
| ▲25%未満～0% | 16 | 26.2 |
| ▲50%未満～▲25% | 13 | 21.3 |
| ▲50%以下 | 11 | 18.0 |
| 合計 | 61 | 100.0 |



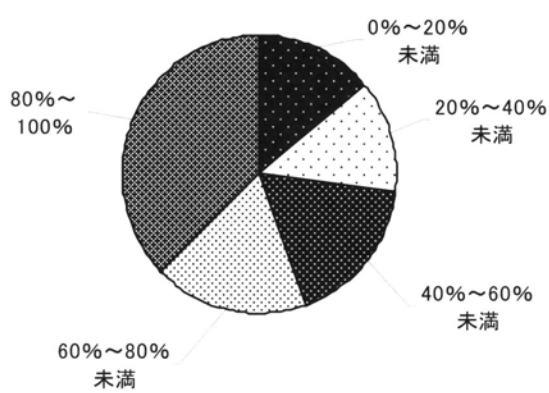

受験者数が増加している 21 の検定では、増加率 121.9%が最多であった。増加している要因としては、市外や県外からの受験者が増加していること（3 件、14.3%）や観光業者・高校生などが団体受験していること（2 件、9.5%）、観光業会等のアルバイトの雇用に合格者を優遇するよう働きかけるなどの合格者への特典があること（2 件、9.5%）などが考えられる。

一方で、受験者数が減少している 40 の検定では、増加率 84.6%減が最も低く、次いで 70.5%減、69.7%減である。また、直近実施年度の受験者数が 100 人以上の検定のみを対象とした場合では、70.5%減が最も低く、次いで 66.4%減、66.2%減である。

②合格率

直近実施回の受験区分別の合格率については、「80%～100%」が、37.3%と最多で、次いで「60%～80%未満」の 18.1%と合格率が高いものの割合が上位を占めている。合格率が 60%以上の検定が 55.4%と半数以上を占めている。

| N=193 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 0%～20%未満 | 27 | 14.0% |
| 20%～40%未満 | 25 | 13.0% |
| 40%～60%未満 | 34 | 17.6% |
| 60%～80%未満 | 35 | 18.1% |
| 80%～100% | 72 | 37.3% |



直近実施回の受験者数が100人以上の検定では、合格率2.6%が最難関の検定であり、5%未満の超難関検定が4検定もあった。また、初級が9.3%で上級が2.8%と複数の区分で難易度の高い検定もあり、「ふるさとを学んでもらうことが主目的であり、これは合格させるための簡単な問題とはしない」方針であった。

### (10) 検定の受験費用

問８　検定の受験費用について、該当する番号をお選びください。

1. 有料　　2. 無料

SQ1　1. 有料を選んだ方に伺います。

検定料はいくらですか。受験級によって異なる場合はそれぞれの費用をご記入ください。

1. 検定料は一律　　（　　）円

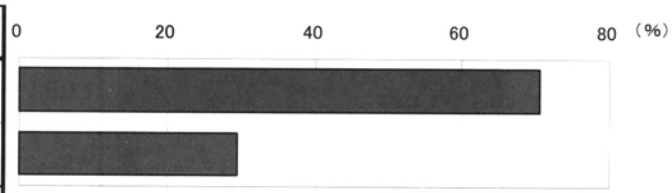
2. 受験級ごとに費用は異なる　　（　　）級　　（　　）円

（　　）級　　（　　）円

（　　）級　　（　　）円

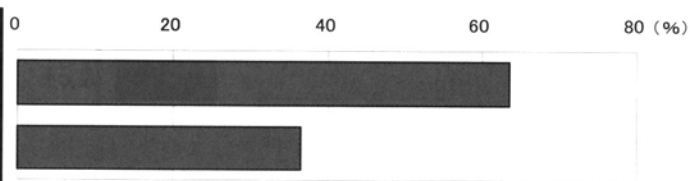
検定受験費用については、「有料」が 70.6%、「無料」が 29.4%である。

| N=163 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 有料 | 115 | 70.6 |
| 無料 | 48 | 29.4 |
| 合計 | 163 | 100.0 |




「有料」と回答した検定うち、区分ごとの検定受験費用については、「一律」が 63.5%、「受験級ごとに異なる」が 36.5%である。

| N=115 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 一律 | 73 | 63.5 |
| 受験級ごとに異なる | 42 | 36.5 |
| 合計 | 115 | 100.0 |

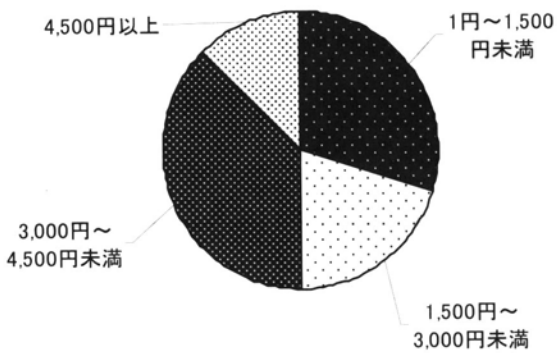


検定受検費用の金額については、「3,000 円～4,500 円未満」が、37.5%と最多であり、次いで、「1 円～1,500 円未満」の 29.8%である。最も検定受検費用の高い検定では、受験料が 10,000 円であり、次いで 7,000 円、6,300 円である。

また、団体割引制度や学生割引、リピーターへの割引制度を設けている検定もある。

| N＝168 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 1円～1,500円未満 | 50 | 29.8% |
| 1,500円～3,000円未満 | 34 | 20.2% |
| 3,000円～4,500円未満 | 63 | 37.5% |
| 4,500円以上 | 21 | 12.5% |

※テキスト料込みの受験料も含む

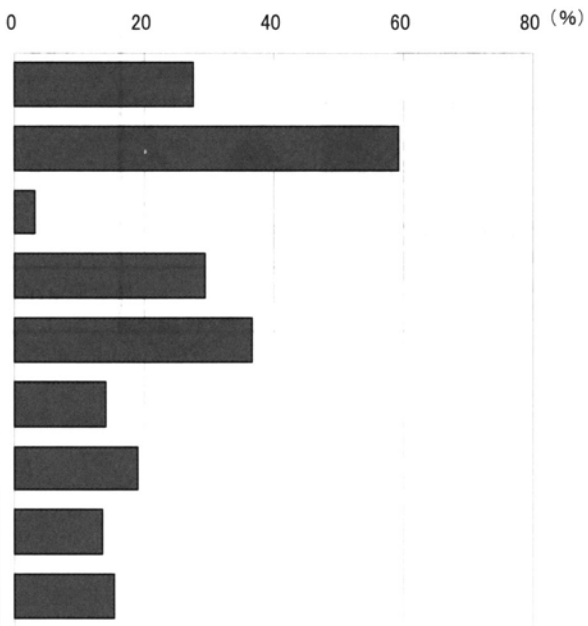


### (11) 検定の共催、後援、協賛団体

問９　検定の共催、後援、協賛団体について、該当する番号をお選びください。
（複数回答可）
1. 特になし　2. 自治体　3. 一部事務組合等　4. 商工会議所等
5. 観光協会等　6. ＮＰＯや住民団体等　7. 民間企業
8. 大学等の教育機関　9. その他（具体的：　　）

検定の共催、後援、協賛団体については、「自治体」が 59.1%と最多であり、次いで「観光協会等」の 36.6%である。単独で実施している「特になし」も 27.4%もある。「その他」には、ボランティアや神社の宮司、観光ガイドの会などがある。

| N=164 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 特になし（単独実施） | 45 | 27.4 |
| 自治体 | 97 | 59.1 |
| 一部事務組合等 | 5 | 3.0 |
| 商工会議所等 | 48 | 29.3 |
| 観光協会等 | 60 | 36.6 |
| NPOや住民団体等 | 23 | 14.0 |
| 民間企業 | 31 | 18.9 |
| 大学等の教育機関 | 22 | 13.4 |
| その他 | 25 | 15.2 |



## 2．検定問題

### （1）検定試験問題の作成者

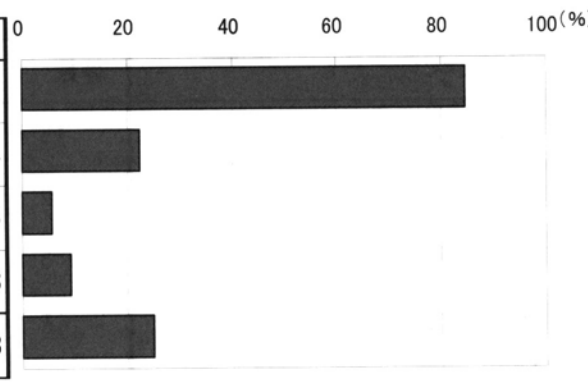
問 10　検定試験問題の作成に関わっている方について、該当する番号をお選びください。（複数回答可）

1. 主催者　　2. 大学等の教育機関　　3. 住民等からの募集（公募）

4. 民間企業（業者）への委託　　5. その他（具体的：　　）

検定試験問題作成者については、「主催者」が 84.5%と圧倒的に多い。次いで、「その他」の 24.8%、「大学などの教育機関」の 22.4%である。「その他」では、博物館等の学芸員や教育委員会、NPO、公式テキスト監修者などがある。

| N=161 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 主催者 | 136 | 84.5 |
| 大学等の教育機関 | 36 | 22.4 |
| 住民等からの募集 | 9 | 5.6 |
| 民間企業(業者)への委託 | 15 | 9.3 |
| その他 | 40 | 24.8 |



### （2）検定試験問題の内容

問 11　検定試験問題の内容について、該当する番号をお選びください。

1. 毎回同じ内容である　　2. 一部分を年度によって変更している

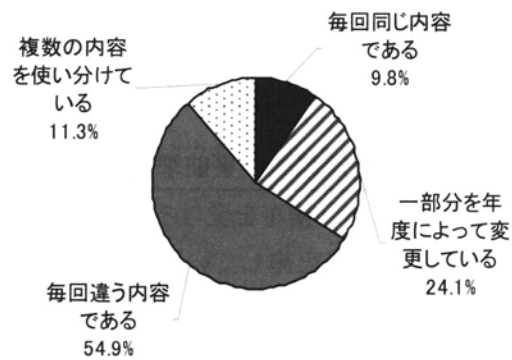
3. 毎回違う内容である　　4. 複数の内容を使い分けている

5. その他（具体的：　　）

検定試験内については、「毎回違う内容である」が 54.9%と最多であり、次いで「一部分を年度によって変更している」の 24.1%である。今回調査した検定に未実施のものや今後の実施が未定のものが多かったため、未記入のものが 33 件あった。

後述する「問 19　検定の実施・運営にあたっての問題・課題」における項目として「問題作成が負担」の回答率が 35.3%となっているのは、毎回問題を作成している団体が多いことが背景にあると考えられる。

| N=133 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 毎回同じ内容である | 13 | 9.8 |
| 一部分を年度によって変更している | 32 | 24.0 |
| 毎回違う内容である | 73 | 54.9 |
| 複数の内容を使い分けている | 15 | 11.3 |
| 合計 | 133 | 100.0 |



### （3）検定試験の実施場所

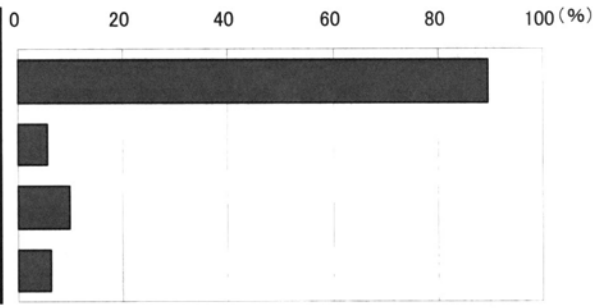
問 12　検定試験の実施場所について、該当する番号をお選びください。(複数回答可)

1. 現地会場　　2. 他都市会場（都市名：　　）

3. インターネット上　　4. その他（具体的：　　）

検定試験の実施場所については、「現地会場」が 89.6%と圧倒的に多い。「その他」では、「回答用紙の郵送」や「折り込みチラシによる問題配布」などがあった。

| N=163 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 現地会場 | 146 | 89.6 |
| 他都市会場 | 9 | 5.5 |
| インターネット上 | 16 | 9.8 |
| その他 | 10 | 6.1 |




### （4）検定試験の事前準備

問 13　検定を受けるにあたって事前に準備するための問題集、参考書や受験対策として実施しているサービスがある場合は、該当する番号をお選びください。(複数回答可) また、有償の場合は、それぞれの料金を記入ください。

1. 公式テキストがある　　2. 事前の公式セミナー・講習会がある

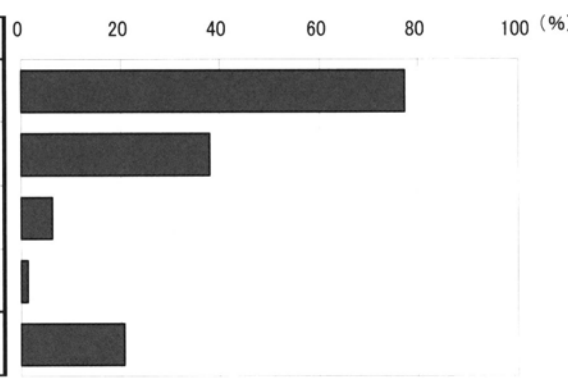
3. 当日、現地での講習がある　　4. 通信教育過程がある

5. その他（具体的に　　）

検定試験の事前準備としては、「公式テキストがある」が 77.1%と最多であり、次いで「事前の公式セミナー・講習会がある」の 37.9%、「その他」の 20.7%である。

「その他」では、自治体や観光協会等が発行している観光パンフレットや地元タウン誌、ホームページ等での情報公開・活用を促しているほか、受験者の要望に応じて参考となる書籍を紹介しているものもある。

| N=140 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 公式テキストがある | 108 | 77.1 |
| 事前の公式セミナー・講習会がある | 53 | 37.9 |
| 当日、現地での講習がある | 9 | 6.4 |
| 通信教育過程がある | 2 | 1.4 |
| その他 | 29 | 20.7 |



### （5）検定の試験問題・解答の公表の有無

問 14　検定の試験問題・解答の公表の有無について、それぞれ該当する番号をお選びください。

試験問題　（ 1.　公表する　　2.　公表しない）

試験解答　（ 1.　公表する　　2.　公表しない）

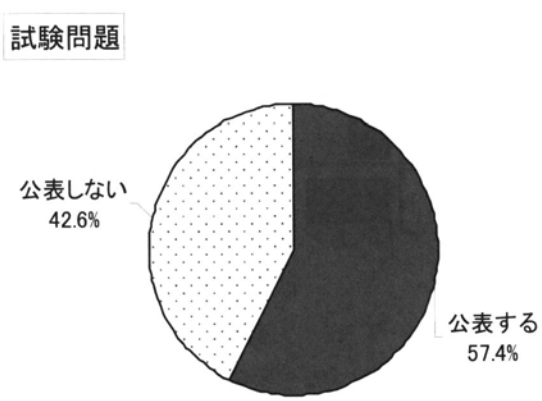
検定試験の問題及び解答の公表の有無については、「公表する」は、試験問題が 57.4%であり、試験解答が 57.7%である。「公表しない」は、試験問題が 42.6%であり、試験解答が 42.3%である。

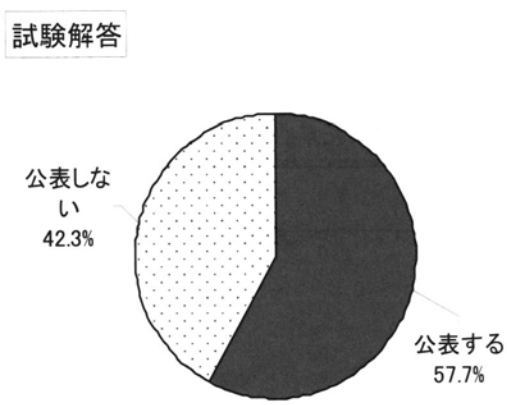
**試験問題**

| N=155 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 公表する | 89 | 57.4 |
| 公表しない | 66 | 42.6 |
| 合計 | 155 | 100.0 |

**試験解答**

| N=156 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 公表する | 90 | 57.7 |
| 公表しない | 66 | 42.3 |
| 合計 | 156 | 100.0 |



## 3．検定合格者

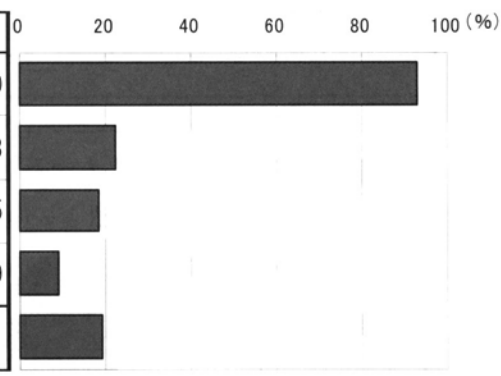
### （1）合格者への特典

問 15　検定合格者への特典について、該当する番号をお選びください。
（複数回答可）

1. 認定証、カード、バッチ等の発行・配布
2. 観光施設や飲食店での優待・割引や特産品や商品券等の授与
3. フォローアップセミナーや合格者懇談会などへの参加
4. 資格認定されたガイドとして従事できる
5. その他（具体的：　　）

検定合格者への特典については、「認定証、カード、バッチ等の発行・配布」が 93.0%と圧倒的に多い。「その他」では、参加賞の授与や成績優秀者にはトロフィーの授与のほか、観光ボランティアガイドとしての観光協会等への推薦や観光口コミ大使への任命、検定を実施する団体のホームページでの紹介などがあった。

| N=157 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 認定証、カード、バッチ等の発行･配布 | 146 | 93.0 |
| 観光施設や飲食店での優待･割引や特産品や商品券等の授与 | 35 | 22.3 |
| ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟｾﾐﾅｰや合格者懇談会などへの参加 | 29 | 18.5 |
| 資格認定されたガイドとして従事できる | 14 | 8.9 |
| その他 | 30 | 19.1 |



### （2）今後導入を検討している特典

問 15

SQ1　検定合格者への特典について、今後導入しようと考えていることがあれば、具体的にご記入ください。

なお、その特典が問 15 の 1～4 番のものであれば、該当する番号をご記入ください。

今後導入を検討している特典については、47 件の回答があった。多くの検定で「観光施設等の優待・割引」や「ガイドとしての従事」の導入に向けた検討が行なわれている。その他では、特徴的なものとして次のようなものがある。

・合格者が検定合格を仕事に役立てるようなステッカーなどの配布する
・合格者を周遊型観光事業策定に参画させる
・観光業会等で合格者の学生アルバイトを優遇するよう働きかける
・観光ガイド、グルメガイドを開発、配布する
・合格者の希望があれば実習生として受け入れてくれる農園を募集する
・検定運営業務(企画・立案など）への参画させる

### （3）検定合格者を活用した取り組み

問 16　検定合格者を活用した取り組みをご記入ください。（例：観光ガイドとして活用しているなど）

検定合格者を活用した取り組みについては、65 件の回答があった。特徴的なものとしては、次のようなものがある。

・公認ガイドとして認定し、ツアーガイドに活用している
・大規模な式典を開催する際に駅に設けた臨時案内所で、式典や観光について案内を行っている
・市が開催する出前講座の講師として活用している
・有料観光ガイドとして活用しており、タクシー乗務員は、ルート案内時のガイドで割高料金を徴収できることとしている

## 4．検定の今後について

### （1）検定実施による効果

問 17　検定を実施した効果について、問 4 でお選びいただいた目的ごとに効果の有無をお選びください。また、効果を実感した具体的な内容をご記入ください。
（複数回答可）

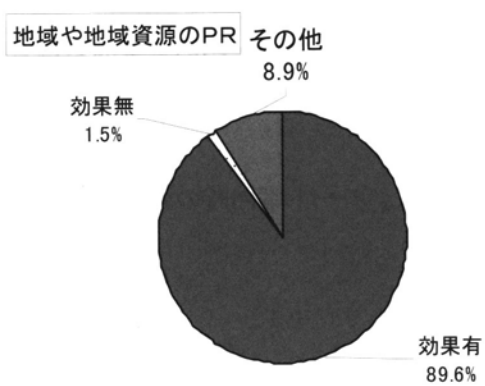
【集計方法】

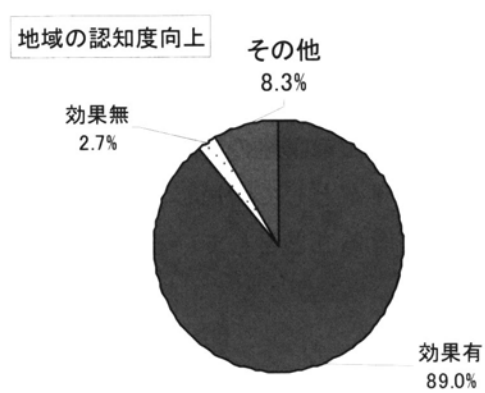
問 4 の目的と問 17 の効果のいずれも選択している回答のみ有効とした。

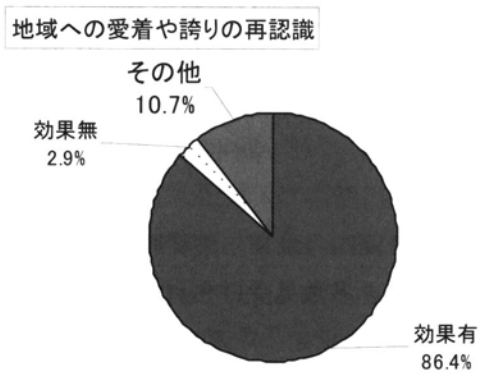
検定実施による効果については、「地域や地域資源のＰＲ」が 89.6%と最多であり、次いで「地域の認知度向上」の 89.0%である。「その他」には、不明や未知数、今後に期待しているなどがある。

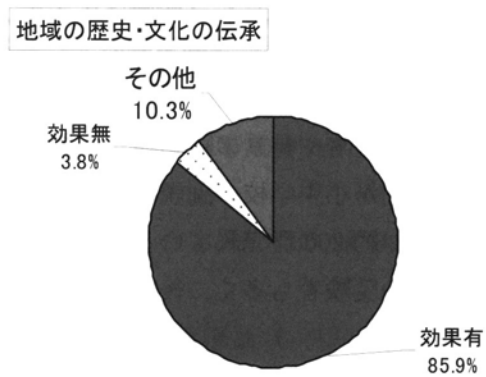
一方、「地域のホスピタリティの向上」が最も低く 78.7%であり、その他の割合も 14.9%と最も高くなっており、効果が実感しにくいものと考えられる。

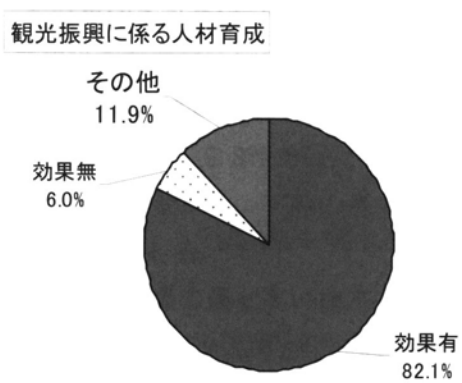
| | N | 効果有 | | 効果無 | | その他 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % |
| 地域や地域資源のPR | 67 | 60 | 89.6 | 1 | 1.5 | 6 | 8.9 |
| 地域の認識度向上 | 109 | 97 | 89.0 | 3 | 2.7 | 9 | 8.3 |
| 地域への愛着や誇りの再認識 | 103 | 89 | 86.4 | 3 | 2.9 | 11 | 10.7 |
| 地域の歴史･文化の伝承 | 78 | 67 | 85.9 | 3 | 3.8 | 8 | 10.3 |
| 観光振興に係る人材育成 | 67 | 55 | 82.1 | 4 | 6.0 | 8 | 11.9 |
| 地域のホスピタリティの向上 | 47 | 37 | 78.7 | 3 | 6.4 | 7 | 14.9 |

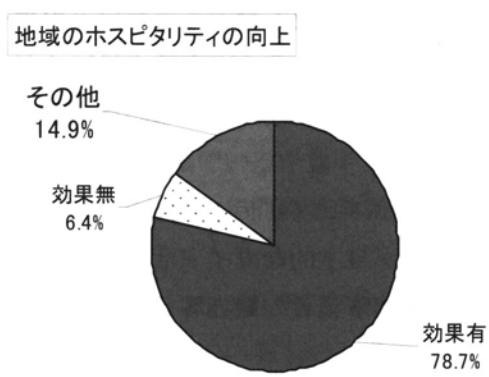




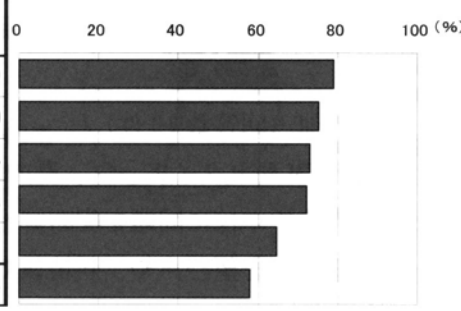




また、問４で目的として選択した検定のうち、「効果有」と回答のあったものの割合である目的の「達成率」は、「地域の認知度向上」が 78.9%と最多であり、次いで「地域や地域資源のＰＲ」の 75.0%である。目的の達成率でも、やはり「地域のホスピタリティの向上」が最も低い 57.8%である。

| | 目的（件） | 効果有（件） | 達成率（%） |
|---|---|---|---|
| 地域の認識度向上 | 123 | 97 | 78.9 |
| 地域や地域資源のPR | 80 | 60 | 75.0 |
| 地域への愛着や誇りの再認識 | 123 | 89 | 72.4 |
| 地域の歴史･文化の伝承 | 92 | 67 | 72.8 |
| 観光振興に係る人材育成 | 85 | 55 | 64.7 |
| 地域のホスピタリティの向上 | 64 | 37 | 57.8 |




効果を実感した具体的な内容のうち特徴的なものについては、次のとおりである。

①地域の認識度向上（回答数 51 件）

・キャラクターを募集したら、全国から予想以上の応募があった

・受講者から異口同音、目からうろこの連続であったと絶賛されている

・「地域」＝「検定」という認識度が上がり、新聞等のメディアに取材される機会が増えた

②地域への愛着や誇りの再認識（回答数 47 件）
・検定問題が小中学校の副読本として活用されている
・問題集が約 200 冊売れている
・親子での受験者も多く、後で答え合わせをしている姿を多数見受けられた

③地域の歴史・文化の伝承（回答数 34 件）
・地域の伝統野菜を食べてみたいとの声や両親の出身であり懐かしかったとの声など、様々な声が聞かれた
・検定を機会に、初めて地域の農産物の歴史を学んだという声が多かった

④地域のホスピタリディの向上（回答数 26 件）
・合格者が自主的なガイド活動を行っている
・観光関連事業者の観光客への対応意識が改善された

⑤観光振興に係る人材育成（回答 37 件）
・検定をきっかけとして得た知識を観光ガイドとして活用したいという要望が多くある
・一部ではあるがボランティアガイドへの意欲がみられる
・合格者の中で希望者がボランティアガイドの組織を結成

⑥地域や地域資源のＰＲ（回答数 39 件）
・受験者の半数以上が県外からである
・この検定の発端は地域や特産品等の紹介であり、現地を訪ねる人が増えている

⑦その他（回答数 19 件）
・地元 FM 局とタイアップ、県内全域を対象の長期イベントの実施に繋がった
・市内小中学校に問題を配布郷土学習資料として活用されている
・中級認定を望む声や、新情報の提供が多く寄せられている

## （2）年間総事業費（人件費を除く。）

問 18　検定の運営にあたっての年間総事業費（人件費を除く。）をご記入ください。
なお、金額は概算で結構です。
昭和 ・ 平成 （　　）年実施分　　年間事業費（　　千円）

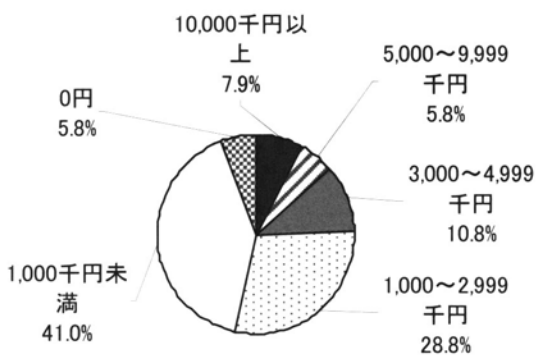
SQ1　事業費の財源の内訳のうち次の４つをご記入ください。なお、金額は概算で結構です。
受験料収入（　　千円）　　実施団体の負担金（　　千円）
講習会やテキスト収入（　　千円）　共催団体等の負担金（　　千円）

年間総事業費については、「1,000 千円未満」が 41.0%と最多であり、次いで「1,000～2,999 千円」の 28.8%、「3,000～4,900 千円」の 10.8%であり、5,000 千円未満が 8 割以上となっている。5.8%あった「0 円」の回答は、別事業で組んでいる予算の一部を活用するといった背景から、実際の事業費を算定できないためである。年間総事業費の平均は、2,737 千円である。

年間総事業費の最も高い検定は 30,000 千円であり、次いで 25,000 千円、20,000 千円である。金額は概算でよいこととしたため、切りのいい数字となっているものと考えられる。

費用の高い検定は、1 回の受験者数が多いものや複数の会場で試験を行っているもの、複数の受験区分を設定しているものである。その他では、インターネットの検定システムを整備したため、回答のあった年度のみ事業費が大幅に増えた検定もあった。

| N=139 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 10,000千円以上 | 11 | 7.9 |
| 5,000～9,999千円 | 8 | 5.8 |
| 3,000～4,999千円 | 15 | 10.8 |
| 1,000～2,999千円 | 40 | 28.8 |
| 1,000千円未満 | 57 | 41.0 |
| 0円 | 8 | 5.8 |
| 合計 | 139 | 100.0 |
| 平均 | | 2,737千円 |



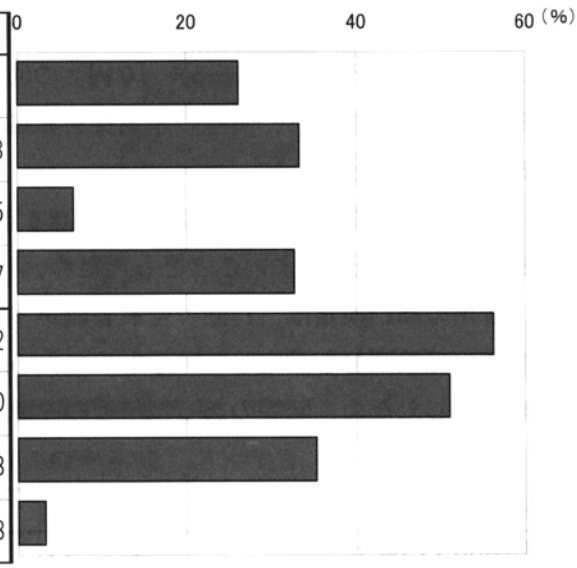
### （3）検定の実施・運営にあたっての問題・課題

問 19　検定の実施や運営にあたっての問題・課題について、該当する番号をお選びください。（複数回答可）

1. 運営面での人手不足　　2. 予算がない　　3. 会場の確保が困難
4. 受験者数が伸び悩みや質の低下　　5. 合格者の活用方法
6. 検定のＰＲ手法　　7. 問題作成が負担　　8. その他（具体的：　　）

検定実施・運営にあたっての問題・課題については、「合格者の活用方法」が 56.2%と最多で、次いで「検定のＰＲ手法」の 51.0%であり、ご当地検定では、管理運営以外の部分で苦慮している団体が多い。

| N=153 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 運営面での人手不足 | 40 | 26.1 |
| 予算がない | 51 | 33.3 |
| 会場の確保が困難 | 10 | 6.5 |
| 受験者数が伸び悩みや質の低下 | 50 | 32.7 |
| 合格者の活用方法 | 86 | 56.2 |
| 検定のPR手法 | 78 | 51.0 |
| 問題作成が負担 | 54 | 35.3 |
| その他 | 5 | 3.3 |



### （4）今後の取り組みの方向性

問20　今後の取り組みの方向性について、該当する番号をお選びください。

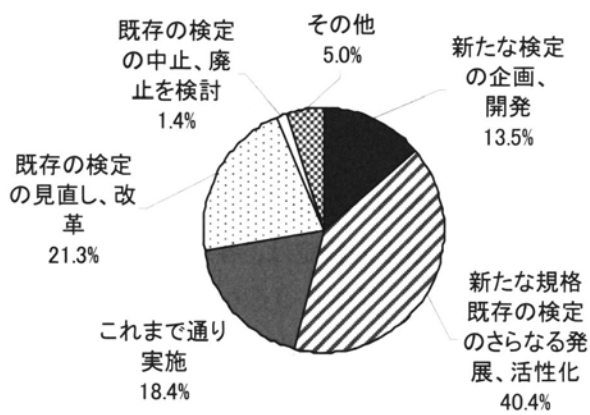
1. 新たな検定の企画、開発を行っていく予定
2. 新たな企画、開発は行わず、既存の検定のさらなる発展、活性化を目指す
3. これまでどおり実施していく
4. 既存の検定の見直し、改革（改善）を行う
5. 既存の検定の中止、廃止を検討している
6. その他（具体的：　　）

今後の取り組みの方向性については、「新たな企画、開発は行わず、既存の検定のさらなる発展、活性化を目指す」が40.4%と最多であり、「これまで通り実施していく」の18.4%と合わせて、約6割の検定が既存の検定を活用していく方向性を示している。

一方で、「見直し、改革」が21.3%、「中止・廃止」が1.4%であり、約2割の検定が中止等を考えている。

「その他」では、ボランティアやＮＰＯを中心とした運営組織への移行や様々な検定が実施されることを期待しているなどがあった。

| N=141 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 新たな検定の企画、開発を行なっていく予定 | 19 | 13.5 |
| 新たな企画、開発は行なわず、既存の検定のさらなる発展、活性化を目指す | 57 | 40.4 |
| これまでどおり実施していく | 26 | 18.4 |
| 既存の検定の見直し、改革を行う | 30 | 21.3 |
| 既存の検定の中止、廃止を検定している | 2 | 1.4 |
| その他 | 7 | 5.0 |
| 合計 | 141 | 100.0 |



### （5）その他、意見・感想

問21　その他、ご当地検定の特徴的な取り組みやご意見、ご感想などございましたら、ご記入ください。

その他、意見・感想については、53件の回答があった。特徴的なものとしては、次のようなものがある。

①特徴的な取り組み

・当方の検定では、最終的に中心市街地の活性を目的としているが、地域の偉人や地域名をキーワードとすることで、広く周辺地域の関連団体等と連携して行うことができている

・県内観光施設や文化施設、地元産品を扱う飲食店や物販店を対象にスタンプラリーを実施し、その得点が検定の得点に加算される

・試験のみではなく、現地をバスツアーでめぐり楽しみながら受験してもらっている

・「Yahoo！みんなの検定」にオフィシャル出題者として開設している

・市民が(全くのボランティアとして)手づくりで企画、運営し、且つ単なる筆記検定だけではなく実地検定まで実施し、その結果が行政の政策・施策に(直接)反映される検定となっており、マスコミ等にも評価されている

・温泉地の検定として、地元講師陣によるセミナー「検定直前温泉合宿」を旅館において開催し、温泉街の街歩きや入浴など、温泉を満喫しながら検定を受けることができる

②意見・感想

・当方の検定は、各地で既に実施されている「観光ガイド検定試験」の枠を超えたものであり、「ひとづくり」はもとより「まちづくり」や「地域を誇る文化の醸成」を組み込んだプログラムにより、地域の歴史や文化などに対する幅広い知識を有し、地域に誇りを抱く市民や産業人の育成を目指していくものである

・当方の検定は「おもてなし」と「ホスピタリティ」に力を入れており、他のご当地検定とは違うと認識している

・地域内で一通り希望者が検定に受かってしまうと受験人数の減少により運営が厳しくなると思われる

・実施に先立ち県をはじめ関係団体に支援、協力要請を願ったが門前払いだった

・本格的なテキストの販売の拡充により経費を黒字化したい

・小規模な自治体では出題、受験者ともに限りがあり、継続して実施するのは困難な状況となっている

・受験者減少傾向の対策が課題となっており、他の検定の対策を知りたい

# 第２章　事例調査

（5）その他、意見・感想

問21　その他、ご当地検定の特徴のある取り組みや、ご意見、ご感想などございましたら、ご記入ください。

その他、意見・感想については、53 件の回答があった。特徴のあるものとしては 次のようなものがある。

①特徴的な取り組み

・当方の検定では、最終的に中心市街地の活性を目的としているが、地域の達人や地域名をキーワードとすることで、広く周辺地域の関連団体等と連携して行うことができている

・県内観光施設や文化施設[illegible]を対象にスタンプラリーを実施し、その後の検定の受験に結びつける

・試験のみではなく、現地をバスツアーでめぐりながら受験してもらっている

・Yahoo!みんなの検定」にオフィシャル認定として掲載している

・有償ボランティアとしてまちづくりで企画、運営し、正答率なら検定だけではなく実地検定まで実施し、その結果が行政の施策・運営に直接反映される検定となっており、マスコミ等にも評価されている

・商業地の検定として、地元商店街によるセミナー「検定試験直前の会」を実施において開催し、商業街の活性化や人材など、意見を聴取しながら助言を受けることができる

②意見・感想

・当方の検定は、全国で既に実施されている「観光ガイド検定試験」の枠を超えたものであり、「のとづくり」はもとより「まちづくり」や「地域を舞う文化の構成」を組み込んだプログラムにより、地域の歴史や文化などに対する幅広い知識を有し、地域に誇りを抱く市民や観光人の育成を目指していくものである

・当方の検定は「おもてなし」と「ホスピタリティ」に力を入れており、他のご当地検定とは違うと認識している

・地域内で一通り有識者が検定に受かってしまうと受験人数の減少により運営が厳しくなると思われる

・実施に先立ち県をはじめ関係団体に支援、協力要請を願ったが門前払いだった

・本格的なテキストの販売の拡充により経費を圧縮化したい

・小規模な自治体では出題、受験者ともに限りがあり、継続して実施するのは困難な状況となっている

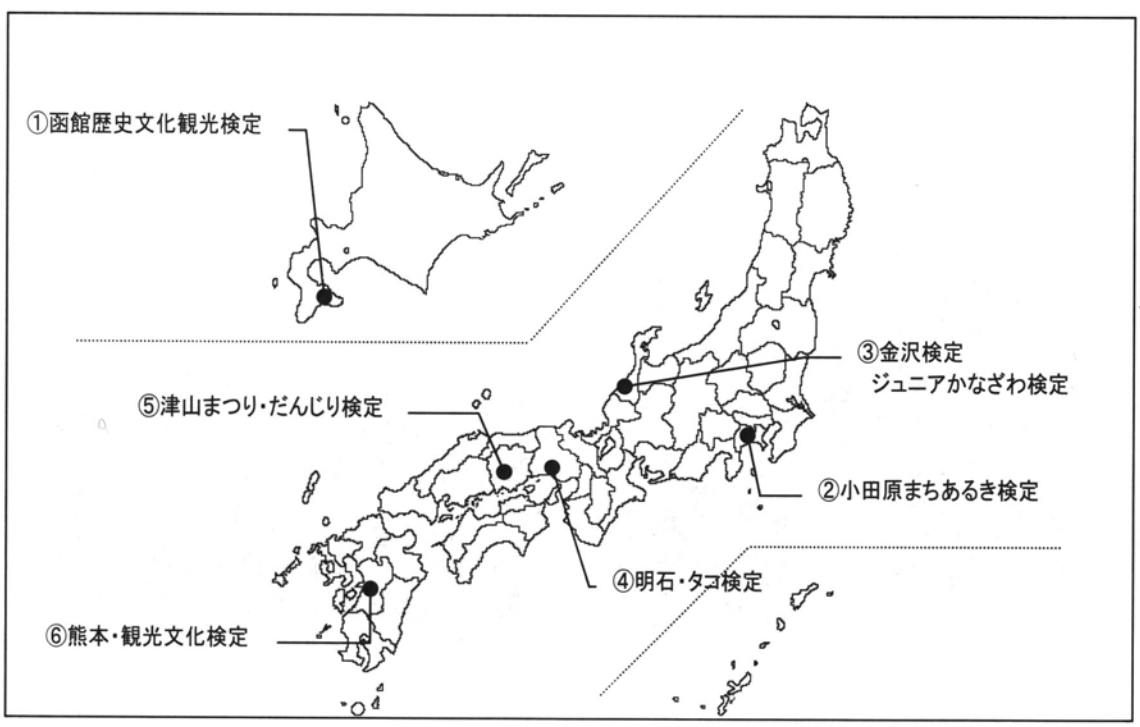
・受験者減少傾向の対策が課題となっており、他の検定の対策を知りたい

## 1　事例調査の実施概要

### （1）調査目的

事例調査については、アンケート結果等により、先進的な取り組みをしている次の6つの検定を調査した。

| No | ご当地検定名 | 主催者 | 地域 |
|---|---|---|---|
| ① | 函館歴史文化観光検定 | 函館商工会議所 | 北海道函館市 |
| ② | 小田原まちあるき検定 | 小田原まちあるき検定協議会 | 神奈川県小田原市 |
| ③ | 金沢検定 | 社団法人金沢経済同友会 | 金沢市 |
| | ジュニアかなざわ検定 | ジュニアかなざわ検定実行委員会 | |
| ④ | 明石・タコ検定 | 明石・タコ検定委員会、明石中心市街地まちづくり推進会議、明石商工会議所 | 兵庫県明石市 |
| ⑤ | 津山まつり・だんじり検定 | 津山だんじり保存会館 | 岡山県津山市 |
| ⑥ | 熊本・観光文化検定 | 熊本商工会議所 | 熊本市 |



## 函館歴史文化観光検定（はこだて検定）

### －ご当地検定の概要－

1．概要
　函館の街に関する歴史・文化・産業・地理・人々の暮らしなどの学習を通じて街への愛着や誇りを再認識して頂き、函館の魅力を観光客や全国の方々へおもてなしの心をもって紹介できる人材を育成することを目指して実施している。

2．主催団体
　函館商工会議所

3．協力団体
　函館市、社団法人函館国際観光コンベンション協会

4．開始年月日
　平成19年3月

5．試験区分
　2区分（初級、上級）

6．受験料
　初級3,000円、上級5,000円

7．公式テキスト
　はこだて検定公式テキストブック2,100円

8．実施状況

| 初級実施年月 | 実施回 | 受験者数（人） | 合格者数（人） | 合格率（%） |
|---|---|---|---|---|
| 平成19年3月 | 第1回 | 907 | 722 | 79.6 |
| 平成19年11月 | 第2回 | 297 | 83 | 27.9 |
| 平成20年11月 | 第3回 | 480 | 132 | 27.5 |

| 上級実施年月 | 実施回 | 受験者数（人） | 合格者数（人） | 合格率（%） |
|---|---|---|---|---|
| 平成19年11月 | 第2回 | 219 | 5 | 2.3 |
| 平成20年11月 | 第3回 | 75 | 16 | 21.3 |



【取材協力】函館商工会議所地域振興課
　左から永澤　大樹さん、黒川　宣之さん



検定風景

## －共催・後援等の自治体について－




北海道函館市

面　　積　677.92ｋ㎡
人　　口　294,264 人
（平成 17 年度国勢調査）

1．北海道函館市の概要

函館市は、渡島半島の南東部に位置し、東・南・北の三方を太平洋・津軽海峡に囲まれ、西は北斗市・七飯町・鹿部町と接している。

観光客の入込み数は年間 4,818 千人（平成 19 年度）にも達するなど、全国でも屈指の観光都市である。また、認知度や魅力度など全 63 項目から評価された地域ブランド調査（株式会社ブランド総合研究所）においても、平成 20 年度には全国第 2 位の都市に選ばれている。

2．所管課

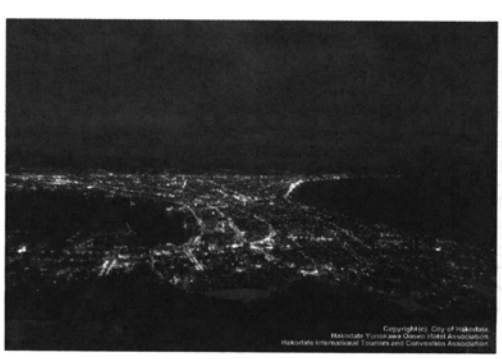
函館市観光コンベンション部観光振興課

3．地域資源

・観光資源：函館山からの夜景、湯の川温泉、特別史跡五稜郭跡　など
・農林水産物：イカ、ウニ、ガゴメ、ゴッコ、ドンコ　など

4．地域振興事業

函館開港 150 周年記念事業など



函館山からの夜景



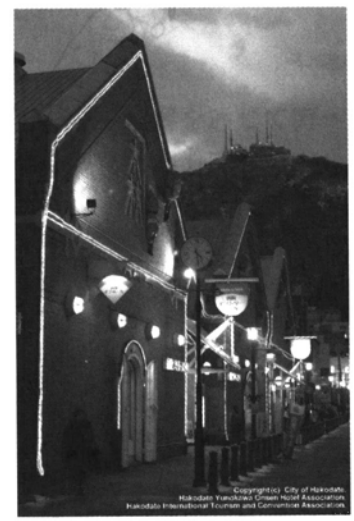
函館のイカ

## 1　函館歴史文化観光検定のはじまり

### （1）ホスピタリティの向上に向けて

「平成15年頃、商工会議所にできたばかりの青年部が中心となって、今後の函館に必要なことは何か、どうしていけばいいのかといったことをソフトとハードの両面から日々活発な議論をしていた。」と当時を振り返るのは、函館商工会議所の黒川氏と永澤氏だ。

当時の函館市は、接客サービス業者の応対マナーの悪さが指摘され、あわせて観光客の減少も危惧されているところであった。青年部の会長が旅館の経営者であったこともあり、地域のホスピタリティの向上が重要であるとの認識で一致し、業者の接客サービスの向上や改善に効果のある対策を模索することとなっていく。



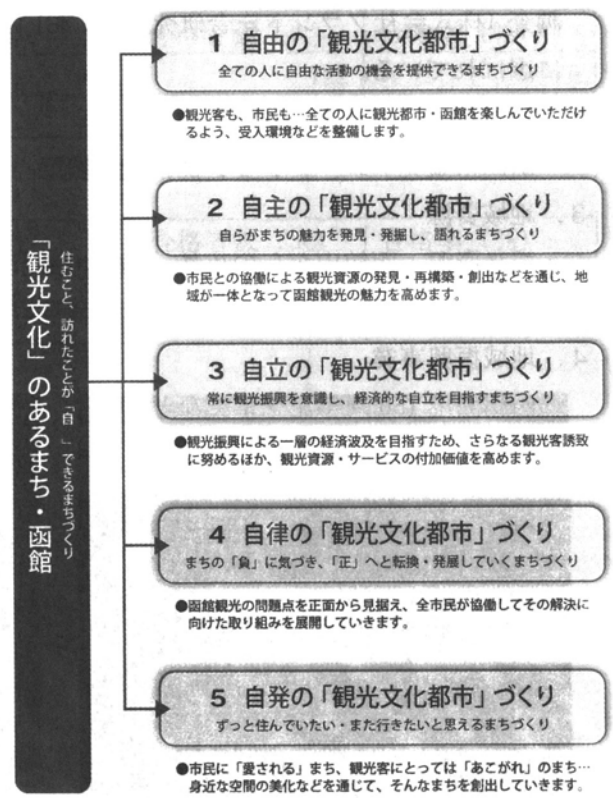
赤レンガ倉庫群

そんな頃、同じくホスピタリティの向上に取り組もうとしていた函館市が観光基本計画を策定し、経済界と行政の双方で検定の実施に向けた話が一気に盛り上がり、平成18年度の実施に向けて動き始めることとなった。また同時に、商工会議所では、笑顔のある地域づくりやおもてなし向上を目的としたスマイルキャンペーン運動も開始している。地域の事業所を巻き込んだこの活動は、現在でも続けている。

このように、函館歴史文化観光検定は、商工会議所を始めとする経済界側の熱意と市の後押しによって実施されることとなった。

### （2）観光基本計画とは

函館市では、平成16年から10年間の計画である函館市観光基本計画を策定している。観光振興はもちろんのこと全ての人々が函館を楽しむことができるまちづくりを目指すものであり、「観光文化のあるまち・函館～住むこと、訪れたことが自慢できるまちづくり」を基本理念として、5つの基本方



函館市観光基本計画－5つの基本方針－

針を設定し、基本方針達成のために施策の基本方向が決められている。

基本方針のうちの一つが『自発の「観光文化都市」づくり』であり、施策の基本方向をホスピタリティとサービスの向上とし、すべての市民がガイドとなっておもてなしが出来る様なまちづくりを目指す市民総ガイド化計画に取り組んでいる。

## 2　検定の運営

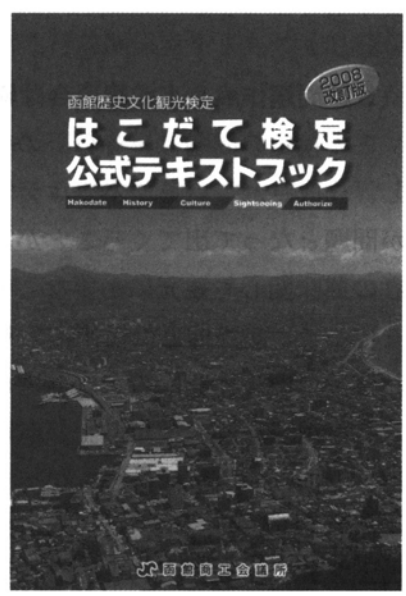
### （1）商工会議所が主催者、市と観光協会が協力団体

函館市の観光振興については、市役所や社団法人函館国際観光コンベンション協会（以下、観光協会という。）に商工会議所を加えた3者が一体となって行っている。当初、検定試験の運営方法については、協議会形式が良いのではないかという意見が出されるなど議論が交わされたが、最終的には商工会議所が主催者となり、リスクを負担する代わりに運営の収入を得るということで決着することとなった。年間に数多くの検定試験を運営し、ノウハウを持っている商工会議所が運営すれば、新しく組織を立ち上げるよりもスムーズに実現出来るのではないかという意見が大勢を占めたからでもある。ここで問題となってくるのが、観光業者以外の商工会議所の会員である。一見、ホスピタリティの向上を目的とし、観光を中心とした検定を主催することに異論も出そうなものであるが、観光都市であるという下地もあって異論なく進めることができたとのことだ。

現在この検定に関わっているスタッフは、兼務の担当者が1人とテキストの販売等の庶務の担当者だけである。立上げの時には多くの時間を要し、問題作成や採点、集計等を外注しておらず、他の検定よりも余分に時間を要しているのではないかとはいうものの、既に3回実施したこともあり、実働日数は、年間30〜40日程度と大きな負担となっていないとのことだ。

また、はこだて検定＝商工会議所ということで、商工会議所の活動がこれまで縁のなかった一般市民にまで広まり、地域との距離が今まで以上に近くなったなどのメリットもあった。

函館市や観光協会は、公式テキストの作成の際に負担金を出し、検定の実施の前後で開催する協力機関連絡会議に参加し、意見を出し合うことなどで協力している。



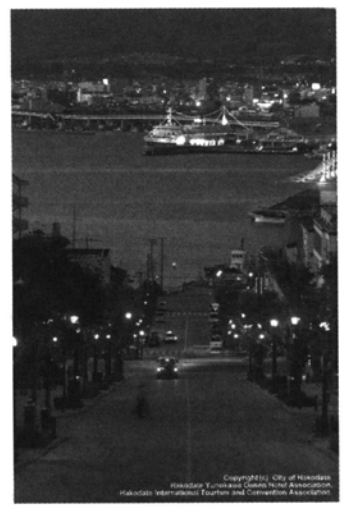
はこだて検定公式テキストブック

### （2）持続可能な検定運営を目指して

今回当センターで実施したアンケート調査では、ご当地検定の受験者数は受験回数が進むにつれて減少している検定が多く、受験者数の確保を課題として上げている検定が多い

という結果であった。

この検定でも初回から第 2 回にかけて受験者数が大幅に減少している。この結果に、主催者としては、当初から想定していたことであるという。マーケットが地域に限定されている中で、持続可能な検定にしていくことを当初から考えており、初級の第 2 回から第 3 回では、297 人から 480 人と増加に転じている。これは、市立函館高校の 1 年生が北海道の教育委員会に認定された函館学という地域を学ぶ授業の集大成として受験することとなったためで、青少年の郷土教育にも活用して欲しいと考えていた主催者が高校側と連携体制を取り、受験料の割引やテキストの寄贈といった優遇措置を設けるなど、受験しやすい仕組みをつくった結果である。また、合格カードに合格回数を表示し顕彰する「合格回数積算表示制度」を実施し、受験者数の 1 割程度のリピーターの確保にも成功している。


Copyright(c) City of Hakodate
Hakodate Yunokawa Onsen Hotel Association
Hakodate International Tourism and Convention Association
八幡坂

公式テキストは市内の多くの書店で販売されている。これまでに 6,000 冊以上も売れており、検定の実施は収益事業となっているが、赤字運営に転落しないように経費節減にも取り組んでいる。また、テキストの販売数からマーケットは十分にあることが分かっており、販売数がこれまでの受験者数よりも多いため、受験者予備軍が多数いるのではないかと主催者は考え、受験者の更なる掘り起こしに取り組むこととしている。

### （3）問題作成や事前講習会は難しい

この検定の問題は、各分野の先生からなる作問委員会から出された素案を主催者で編集し、作成されている。バラエティに富んだ分野、先生が多いため、時には先生の想い入れが問題となって出てくることがあるのだといい、先生にとっての常識と一般の常識、受験者の興味関心や観光に必要なことと先生が知っておいて欲しいレベルについて、バランスを取ることが主催者の役割であり、難しいことであるという。事実、合格率が 2.3%という超難関であった初回の上級試験の際には、あんなに難しいものを受けても仕方がないとの意見が多くあり、翌年の上級試験の際には、受験者数が大幅に減少する結果を招いたことは、その後の反省材料ともなっている。

出題する分野でも、様々な問題点がある。受験者にとっては、観光に関する検定との意識が強いが、検定名のとおり歴史や文化も含め、幅広く函館を学ぶことや、自分自身の価値向上を図ることで、もって地域の価値を上げようという提案をしている検定であるため、観光関連企業の従事者が検定を受けた際に、「仕事に関係ない問題が多いのではないか。」との苦情が寄せられることもあった。苦情に対しては、聞き入れるべき妥当な意見は取り入れないといけないと思っているが、検定の本質に関わる部分では毅然とした対応も取らなくてはいけないと主催者では考えている。

また、初回の検定試験の前には、商工会議所主催の講習会も実施した。講習会は検定問題の出題傾向を教えるものではなかったため、募集の際にもそう謳っていたのだが、講習内容に対する苦情が多く寄せられた。この理由を検定と講習会の主催者が同じであるからだと考え、2年目はＮＰＯに委託し、開催したが、苦情の内容は同じであった。また、受験者が想定を超える 1,000 名以上となった初級の第 1 回検定では、講習会の定員がオーバーし、受講できなかった人からも苦情を受けることとなった。「試験対策と銘打てば、受講出来ない人から不利ではないかと文句が出る。試験対策ではないと銘打てば、受講内容が試験内容と関係しないため、受講の意味がなかったと文句が出る。主催者が何のために講習会を行うのか、コンセプトを明確にし、十分な説明をする責務があるのだろう。」と主催者では考えている。

### （4）合格すれば

検定を初めて実施した際には、検定に合格してもメリットがないとの批判が多く寄せられた。現在では、合格者認定グッズの購入権の付与などの特典が用意されており、今後も博物館など、社会教育施設での割引や優待などが検討されている。主催者としては、当初から用意できれば良かったとの考えもあるが、単に優待割引制度を設けるだけでお茶を濁したくないと思っていたという。

今年度からは、主に合格者を対象とした「観光ホスピタリティ講演会」を市と観光協会との 3 者で実施しており、検定試験と連動し、更に観光ホスピタリティについての造詣を深めることができることとなっている。また、観光に関する行政関係者やまちづくり関係者との交流や上級者同士の交流を目的として上級合格者の集いを開催するなど、上級合格者をピラミッドの頂点として、上級合格を目指している人や初級合格者といったカテゴリー別にどのようなサービスやインセンティブを提供していくことが有効なのか考えていくこととしている。

## 3　検定実施後

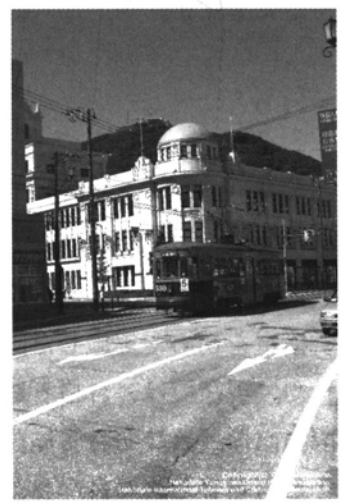
### （1）3回実施して

全国のご当地検定の中には、ある程度収益を上げれば良いと考えて実施している検定もあると聞いているが、この検定では、当初から観光基本計画や自分たちのまちづくりを今後どのようにしていくかをベースにする検定であるため、3年や5年で終わらせるようなことは考えていないのだと主催者では考えているという。

最近では、合格者の自主的な活動が広がりつつあり、合格したタクシードライバーを紹介したタクシー会社のホームページの出現や、銀行で順番待ちをする際の呼び出しカードへの検定問題の掲載、超難関であった初回上級試験合格者によるハイレベルな模擬試験の

実施、北海道教育大学のゼミにおける小学生向けのワークショップの題材としての利用など、主催者でアプローチをしなくても、色々なところからアイディアが寄せられている。これは、主催者が検定問題の利用希望があれば、原則として認める方針であることが一つの要因であると考えられる。

一方、検定を始めて 3 年目となった今日では、話題づくりとしての部分では随分落ち着いてきている。地元新聞社などからは、検定の広告を出さないかという問い合わせがあるそうだが、平成 19 年度からは路面電車の中吊りに検定問題を出すなど、毎年 1 つは新たな取り組みをし、それを記事にしてもらうことで広告費をかけないＰＲ方法をとるなどの工夫も始めている。



路面電車

主催者にとっては、検定を通して、これまで関わりのなかった人々と交流することととなり、これまでに受けたことのない種類の苦情を受けるなどの苦労もあったが、それらの人々との接点ができるなど、得るものも大きかったのだという。知識が豊富な年配者の場合は、本人自体が検定問題というべき方もいたとのことだが、充実感もあったという。また、ご当地検定は、主催者が日々行っている日本商工会議所等がシステマティックに行っている検定と違い、地域独自のノウハウを蓄積することができ、この経験は他の事業でも生かせるものとなっているとのことである。

### （2）交流の手段として

主催者である商工会議所としては、青函地域での連携を更に促進していきたいと考えている。まずは、検定の合格者の相互乗り入れの制度に関する検討するため、青森・函館地区を主体に東北・北海道地区の検定組織による連絡会議を開催したいと考えている。

また、企画段階とのことではあるが、平成 21 年度は函館開港 150 周年であり、同じく開港 150 周年の横浜で、記念事業として試験会場を設けたいと考えている。これは、横浜での開催を望む方からのメールによって企画されたことであり、横浜で開催すれば、首都圏からのニーズは十分にあると主催者では考えている。

### （3）今後の課題

主催者は、検定によって地域を学んだ人々をどうにか地域のエネルギーに変えていければと思っている。意欲のある人達が活躍するための次のステップ作りが課題となっている。

また、今後持続的な仕組みとしていくためには、人事異動等による後任問題がある。担当者が変わらず関わっていくことはできないため、どのようにノウハウを引き継いでいくか、難易度の調整をはじめとする品質保証をしていくかが課題である。いずれも、3 回やっ

て初めて見えてきたところでもあるため、担当が変わっても維持していけるものとしていかなければならない。また、現在の検定制度は、担当者の人脈により創り上げられた部分も大きいため、今後、例えば作問の先生方との関わりについて、担当が変わっても安定して運営できる仕組みづくりも課題となっている。

## 小田原まちあるき検定

### －ご当地検定の概要－

1．概要

小田原を目で、耳で、舌で学ぶ体験型の検定である。午前は、ガイドの解説付で小田原の老舗・名所旧跡をまちあるき。お昼は小田原のご当地グルメを賞味し、午後はまちあるきしたからこそ分かる検定問題で腕試をし、最後にご当地のお土産を持ち帰るという、楽しみながら地域を学ぶことを目的に実施している。

2．主催団体

小田原まちあるき検定協議会（小田原箱根商工会議所・ＮＰＯ法人小田原まちづくり応援団・ＮＰＯ法人小田原ガイド協会）

3．開始年月日

平成 19 年 11 月

4．試験区分

特になし（ただし、試験後の成績評価は 3 区分で表彰する。）

5．受験料

3,500 円（検定まちあるきツアー料金・検定受験料・テキスト代・保険料を含む。但しテキスト不要の場合は 2,500 円）

6．公式テキスト

小田原まちあるき検定指南帖（ガイドブック）2,000 円

7．実施状況

| 実施年月 | 実施回 | 受験者数（人） | 合格者数（人） |
|---|---|---|---|
| 平成 19 年 11 月 | 第 1 回 | 46 | 合否判定せず |
| 平成 20 年 3 月 | 第 2 回 | 84 | 〃 |
| 平成 20 年 5 月 | 第 3 回 | 72 | 〃 |
| 平成 20 年 10 月 | 第 4 回 | 49 | 〃 |



【取材協力】小田原箱根商工会議所

左から山田　洋子さん、小林　大悟さん



検定風景

## －共催・後援等の自治体について－




神奈川県小田原市

面　　積　114.06ｋ㎡
人　　口　198,741 人
（平成 17 年国勢調査）

1．神奈川県小田原市の概要

小田原市は、東京から約 85Km、神奈川県の南西部、相模湾に面した足柄平野に位置し、西側の箱根山塊と東側の曽我丘陵に包まれた地形にある。相模湾に面する南部では、小田原漁港を拠点として水産業が盛んである。観光客数では、平成 4 年の 542 万人をピークに減少していたが、近年増加傾向にある。

2．関係所管課

小田原市企画部企画政策課

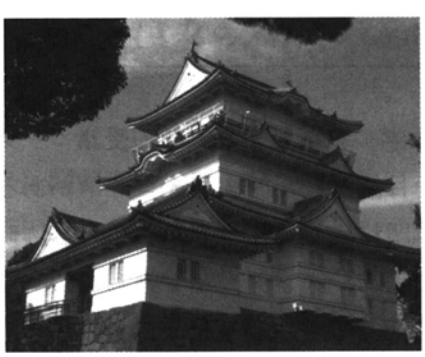
3．自治体内にある地域資源

【名所・旧跡】小田原城址公園、石垣山一夜城歴史公園、二宮尊徳生家　など

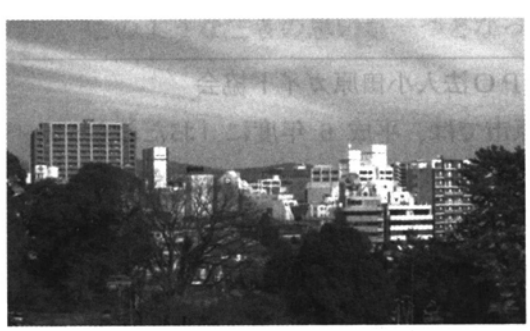
【特産・地酒】かまぼこ、ひもの、梅干し、寄木細工、漆器、清酒智恵袋　など

4．地域振興策とご当地検定

総合計画「ビジョン 21 おだわら」（H10）では、「明日の 1000 年都市」をキャッチフレーズに、未来に生きる子孫に夢と希望あふれる小田原を残すための具体的な政策提言のためのシンクタンク「小田原市政策総合研究所」を平成 12 年に発足。市民参加型の手法をとりいれ、その年の研究活動がきっかけとなり、NPO の発足、「小田原まちあるき検定」の誕生へと続く。



小田原城



小田原市街

## 1　小田原まちあるき検定のはじまり

### （1）検定のきっかけ

小田原まちあるき検定は、小田原箱根商工会議所・ＮＰＯ法人小田原まちづくり応援団・ＮＰＯ法人小田原ガイド協会の三者による小田原まちあるき検定協議会で運営している。

ＮＰＯ法人小田原まちづくり応援団（※１）は、主要なメンバーが東海道小田原宿千年蔵構想に携わり、フィールドワーク・地域資源に精通していた。平成17年度に、神奈川県の相模湾沿岸地域の魅力を高める構想づくりモデル事業に採択されたことから、地域資源を発信・活用するためのプログラムとして、まちあるきとご当地検定を融合させた「アカデミー」を提案したところ、神奈川県「さがみ湾文化ネットワーク構想」に盛り込まれた。

その結果、平成18年度には、「相模湾アカデミー」事業に採択され、小田原版の事業を「小田原まちあるき検定」と名づけ、検定に必要なガイドブックの作成を進めるとともに、模擬検定を行うなど、ノウハウの蓄積に努めた。その間、平成19年度からの「小田原まちあるき検定」実施を目指し、小田原箱根商工会議所に協力を要請した。同所でもガイドブックの作成を計画していたため、独自に他地域のご当地検定を調査したところ、ご当地検定にまちあるきを組み合わせる事例が無いことから、小田原ならではの独自性が確保できるとの判断から協力することとなった。

また、まちあるきガイドに豊富なノウハウを蓄積している、ＮＰＯ法人小田原ガイド協会（※２）にも協力を呼びかけ、平成19年2月に三者で協議会を設立することで合意、約半年の準備期間を経て、平成19年11月に第1回小田原まちあるき検定を実施した。

※1　ＮＰＯ法人小田原まちづくり応援団

小田原市政策総合研究所の平成 12 年度研究報告に、公募市民研究員が主体的に係わった「東海道小田原宿千年蔵」構想がある。研究は、まちの地域資源を洗い出す緻密なフィールドワークと多様なメンバーとの徹底した意見交換をもって行われた。参加者には、この経験が市民活動参加への一層の弾みとなった。この時の主要なメンバーが、「東海道小田原宿千年蔵」構想を自分達でできる事は自分達でやってみようとする思いから、平成 16 年に「ＮＰＯ小田原まちづくり応援団」を発足させる。

※2　ＮＰＯ法人小田原ガイド協会

小田原市では、平成 6 年度に「おだわらシルバー大学」を創設する。その受講コースには、ボランティアガイドに必要な知識・技術の習得を目的とした歴史観光コースがある。カリキュラムは、履修期間 3 年で、一般教養 29 回・専門科目 91 回併せて 120 回・240 時間と専門性を重視した講義内容となっている。修了後のボランティアガイドとしての活動の場は、平成 18 年に誕生した NPO 法人小田原ガイド協会（登録者は現在約 100 人）が中心となる。NPO 法人小田原ガイド協会では、独自の企画ガイドコースをもって希望者の随行ガイドを実施するほか、「小田原まちあるき検定」のガイドとしても参加協力する。

### （2）実施主体の概要



午前の市内めぐり

運営の基本は三者の合議によるものであるが、大まかな役割分担を説明する。まず、「小田原まちあるき検定」の社会的信用を強化する意味で、協議会の事務局を小田原箱根商工会議所が担当するとともに、検定事業の収支管理、昼食や土産物の調達調整、試験会場の提供を行っている。ＮＰＯ法人小田原まちづくり応援団は、ガイドブック「小田原まちあるき指南帖」の作成、地域資源の洗い出しやルート設計、検定当日の進行管理などを担当。ＮＰＯ法人小田原ガイド協会は、当然ながら検定の重要な役割であるガイドであり、地域資源の洗い出しやルート設計である。

商工会議所では取材協力いただいた小林氏・山田氏のお二人で連絡調整、参加受付、マスコミ対応、予算管理など全てを対応している。小林氏は「予算が無いので苦労もするが、参加者・リピーターとの出会いなど回を重ねるごとに楽しみもある。集合場所で参加者の皆様を待っていると、突然知らない方から小林さーんて声をかけられたりするのですが、実はリピーターの方だったりとびっくりさせられることもしばしば」と喜びを語る。

## 2　検定の運営管理・特徴

### （1）主催者の思いが一つ

実施にいたったきっかけは前述のとおりであるが、根本には自分達の町を知ってもらいたいとする共通の意識がうかがえる。商工会議所は、消費者にまちを知ってもらいたい。ＮＰＯ法人小田原まちづくり応援団は、フィールドワークにより再認識した地域資源の素晴らしさを多くの市民と共有し活用していきたい。ＮＰＯ法人小田原ガイド協会は、歴史あふれる郷土を多くの人に知ってもらいたい。このような三者の思いが一つとなって検定を成功に導いている

### （2）問題やテキストの作成方法。

小田原まちあるき検定の問題やテキストは、前述のとおり三者の合議により決定する。地域資源の豊富な情報を有するＮＰＯ法人小田原まちづくり応援団と、郷土史とまちあるきのガイド経験豊富なＮＰＯ法人小田原ガイド協会のノウハウ、そして関係各機関との調整役である小田原箱根商工会議所が、過去の参加者の意向なども参考にしつつルート設定、回覧ポイントの説明内容、昼食メニューの選定、土産物等それぞれが得意とする分野の情

報を出し合い協議により取り決めている。

テキストとなる「小田原まちあるき指南帖」は、第1号「海岸・宿場界隈の巻」、第2号「板橋・西海子界隈の巻」まで発行している。作成目的は、これを片手に街中を散策してもらう事である。そのため、背広の内ポケットやGパンの尻ポケット、鞄やリュックのサイドポケットなどでの携行を考えてスリムなA4 縦 2つ折の異形サイズとなっている。紙面上段1／4に地図、残りを問題3問が均等に配置され、裏面に同じレイアウトで回答が紹介されている。地域資源を見間違わないように極力写真等が添付されており、一人歩きでも問題はなさそうだ。第2号「板橋・西海子界隈の巻」（本文68頁）では、板橋界隈コース、早川から西海子界隈コースが紹介され、それぞれに45の設問が記載されている。

実際の検定参加にあたってテキストの購入は自由だが、ガイドもこのテキストを基に説明するため殆どの参加者が購入するとのこと。余談であるが、地元のタクシー会社からも、観光客を乗せた際にガイドブックを見せるだけでも喜ばれると隠れた評判となっており、そこそこに引き合いがあるとのことだ。



テキスト第2号

### （3）検定の実施方法

何といっても特徴は、五感で楽しむ検定方法である。この検定は概ね4〜5時間を要するものであり、流れとしては、次のとおりだ。

参加者は指定の場所で現地集合
→10 人程度のグループに分かれてテキスト片手にガイドさんの解説を聞きながら2時間程度のまちなか見学（時には地元住民によるサプライズイベントも）
→地元ならではのグルメと関係するミニ講習会で昼食・休憩
→午後に検定試験を実施、3択50問、問題はテキストばかりでなく、当日のガイドの説明や昼食、昼食時のミニ講習会からも出題


保存会＆松原神社総代の木遣り歌（サプライズイベント）

→その場で採点・検定認定バッチの贈呈（その日の成績上位者10%に“二宮尊徳級（黄色）”、続く10%に“北原白秋級（青色）”、そのほか全員に“弥次喜多級（白色）”）
→参加者全員に当たる土産抽選会後、解散となる。



弥次喜多級検定バッチ

### （4）予算

事業は、参加者収入の範囲で遣り繰りしているとのこと。これは、関係者の多くが無報酬で、商工会議所の協力により事務局経費も無料であるため、当該イベント実施に要した経費は、ほとんど参加者負担金で賄われたということである。なお、まちづくり活動への理解もあり、食材や土産物も関係者の協力でコストは随分と抑えられている。つまり、小田原まちあるき検定は、関係者の理解、協力なくして成り立たない事業である。

### （5）検定のＰＲ方法

前述のとおり予算が少ないため、関係機関の協力が主となる。小田原市の広報誌、地元新聞やタウン誌のほか効果的なのがコミュニティＦＭの利用である。第2回目の検定でＦＭヨコハマが、第3回ではＦＭおだわら・ＦＭ湘南ナパサのレポーターによる参加者の声など検定の様子を紹介したことで、視聴者からの問い合わせが増加するという効果があった。第4回ではコミュニティＦＭにかかるプレスリリース範囲を広げた結果ＦＭ5局、うち1局は静岡県下の放送局の協力を得ることができた。実際に静岡の視聴者の参加もあったという。

### （6）受験者

受験者数は、第1回46人、第2回84人、第3回72人、第4回49人と推移している。4回目の落ち込みは、毎回大口で参加する地元企業が最終的に日程の都合が付かず参加をあきらめた結果と要因がはっきりしており、事務局は定着してきたと判断している。受験者の特徴をみると、市内、域外の参加比率は概ね5対5、男女比はやや男性が多く、中高年者の参加が目立つ。一般的な検定とは異なり、まち歩きツアーの要素が強くリピーターの参加が目立つ。第3回の参加者の約40%が、第4回目では脅威の80%がリピーターであった。受験者のタイプは、やはり小田原をもっと知りたいといったアウトドア系探求者が多くなる。

## 3　検定継続のために

初回は、手探り状態で開催したところ、参加者のアンケートから昼食の提供の要望が多

く寄せられた。このため、2 回目では、昼食は地元食材を活かした小田原おでんを提供している。また、ミニ講演会の開催やまちあるきの途中で地元民とのふれあい交流の場を設けるなどで好評を得た。

3 回目では、小田原駅弁の老舗店の全面協力で検定特製弁当と駅弁にまつわる歴史解説のミニ講演会が好評を得る。

4 回目では、フィールドスタート地点を小田原駅から早川駅に変更し、小田原漁港をめぐるルートとした。老舗店による特製つみれ汁の昼食が大変好評。



検定特製弁当

企画に当たって重視してきた点は、常に参加者本位にたちどうしたら喜んでもらえるか念頭においている。人気の秘密は、何を見せてくれるのだろう、何を賞味させてくれるのだろうという参加者に期待を抱かせ裏切らない、参加者の心をくすぐる仕掛けが重要である。

小田原まちあるき検定も回を重ねリピーターも多く定着してきたということで、次回からは事務局をＮＰＯ法人小田原まちづくり応援団に移管する。小田原まちあるき検定のリピーターは、ある意味で小田原市の応援団予備軍ともいえる。この応援団予備軍が、今後の小田原市のまちづくりにどうかかわってもらえるかが次の課題である。

## 金沢検定

**－ご当地検定の概要－**

1．概要

金沢に関する歴史、文化、経済、産業、風習、文学など、さまざまな分野から出題し、「金沢通」の度合いを認定。あわせて金沢の魅力を内外に発信し、ブランド力を高めることを目的に実施している。

2．主催団体

社団法人金沢経済同友会

3．協力団体

◇共催　金沢商工会議所、(社)金沢青年会議所、(財)北國総合研究所　◇後援　石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、「石川県に世界遺産を」推進会議◇協力　金沢大学、北陸先端科学技術大学院大学、石川県立看護大学、石川県立大学、金沢美術工芸大学、金沢工業大学、金沢星陵大学、金沢医科大学、北陸大学、金沢学院大学、金城大学、北陸学院大学

4．開始年月日

平成17年11月20日

5．試験区分

3区分（初級、中級、上級＝中級合格が受験資格）

6．受験料

初級1,000円、中級1,500円、上級2,000円

7．公式テキスト

公式テキストはなし（他団体が出版した予想問題集等はある。）

8．実施状況

| 初級実施年月 | 実施回 | 受験者数（人） | 合格者数（人） | 合格率（%） |
|---|---|---|---|---|
| 平成18年11月 | 第2回 | 2,396 | 333 | 13.9 |
| 平成19年11月 | 第3回 | 2,015 | 401 | 19.9 |
| 平成20年11月 | 第4回 | 2,462 | 228 | 9.3 |

| 中級実施年月 | 実施回 | 受験者数（人） | 合格者数（人） | 合格率（%） |
|---|---|---|---|---|
| 平成18年11月 | 第2回 | 325 | 61 | 18.8 |
| 平成19年11月 | 第3回 | 366 | 113 | 30.9 |
| 平成20年11月 | 第4回 | 482 | 148 | 30.7 |

| 上級実施年月 | 実施回 | 受験者数（人） | 合格者数（人） | 合格率（%） |
|---|---|---|---|---|
| 平成18年11月 | 第1回 | 15 | 2 | 13.3 |
| 平成19年11月 | 第2回 | 47 | 2 | 4.3 |
| 平成20年11月 | 第3回 | 107 | 3 | 2.8 |

## －共催・後援等の自治体について－




金沢市

面　　積　467.77ｋ㎡
人　　口　454,607 人
（平成 17 年度国勢調査）

1．金沢市の概要

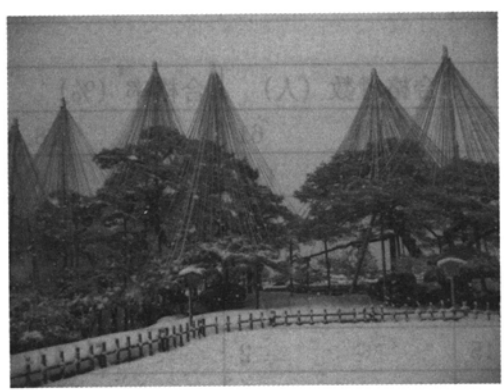
金沢市は、石川県の中央よりやや南寄りに位置し、東は白山山系、砺波丘陵をはさんで富山県小矢部市・南砺市と接しており、西は日本海に面し、北は内灘町、津幡町と、南は白山市・野々市町とそれぞれ接している。

市の東部から南部にかけては白山山系と砺波丘陵の山地により構成され、西部から北部にかけては沖積平地となって金沢平野の北部を占めており、市内には犀川・浅野川という２本の河川が流れるなど自然条件に恵まれた都市である。

かつては、加賀藩百万石の城下町であり、戦災を逃れたことから国内でも数少ない典型的な城下町の面影が市内の至る所に残り、貴重な観光資源にもなっている。

2．地域資源

・観光資源　：　兼六園、長町武家屋敷界隈、茶屋街　など
・工芸品　　：　九谷焼、加賀友禅、漆器、金箔　など
・農林水産物：　アマエビ、ズワイガニ、ブリ、加賀野菜　など



名勝　兼六園



長町武家屋敷界隈

## 1　金沢検定のはじまり

### （1）はじまりは「ふるさと教育」の推進から

「ふるさとのありように心を砕く」、これは、金沢検定の主催者である金沢経済同友会の活動理念である。金沢経済同友会（昭和32年設立）は、石川県内に所在する法人の役員や幹部職員の個人参加で構成される社団法人であり、経済人の立場から地域の自主性、独自性を大切にしながら、地域経済の発展を図るとともに、「ふるさと」に誇りと自信を持つことのできる地域社会づくりを目指して様々な活動を行っている。


金沢城橋爪門

今から10年前の平成11年、金沢経済同友会は、「ふるさと教育の推進」を同会の主要事業の柱にすえ、行政当局や学校現場に「ふるさと教育」の実施を呼びかけたり、「ふるさと塾」という会員を対象にした「ふるさと教育」の研修会を実施したりするなどの活動を始めた。平成14年、ＮＨＫで放映された大河ドラマ「利家とまつ～加賀百万石物語～」は、ふるさとの歴史の大きなひとこまを、多くの人に知ってもらおうと、金沢経済同友会が大河ドラマ誘致の特別提言を行い、率先して誘致運動を展開した成果だった。平成16年度には、ふるさとの文化遺産に誇りを持ち、後世に伝えようと、「城下町金沢」と「霊峰白山」の世界文化遺産登録を目指した運動を立ち上げ、行政や関係団体を巻き込んだ「石川県に世界遺産を」推進会議を組織し、住民への啓発を中心に運動を牽引してきた。また、平成13年からは、金沢の新たな魅力を創造する試みとして、金沢創造都市会議、金沢学会を毎年交互に開催してきた。


ひがし茶屋街のまちなみ

こうした活動によって、総合学習の時間などを利用した「ふるさと教育」が石川県の教育現場に次第に広がるなど効果が見え出してきた。そうした中、「子どもにふるさとを学ぼうと呼び掛ける以上、大人にもふるさとを学んでもらうことが必要」という話が持ち上がってくる。平成16年に「第1回京都検定」が実施されたことも刺激となって、「金沢でもふるさと検定をやろう」という声が上がり、こういった一連の経緯を受けて平成17年に第1回金沢検定は実施されることとなった。

### （2）第1回実施までの経緯

金沢検定の実施を金沢経済同友会が考え始めた平成16年当時、京都検定と同種の検定を

行なおうと考えた機関が他にもあったようだが、実行には至らなかったという。同友会が金沢検定を実施にまでもっていくことができたのは、会の志である「どんな高遠な識見でも、実行に移さないでは一椀の汁にも劣る」（幕末の陽明学者・吉田松陰の言葉）に則り、提言するだけでなく自ら実行するという強い実行力によるところが大きいようである。

実際、同友会内で金沢検定の実施が決定して以降は一直線に翌年に実施ということで準備を進めていったという。「ふるさと教育の推進」を主要事業の柱に据えたころから同会では、議決機関である理事会で意思決定されれば、トップである代表幹事のリーダーシップのもとに、会員が一丸となって実行に移して行くという体制が整えられてきた。金沢検定では、ただちに会内に副代表幹事の 1 人を実行委員長とする金沢検定試験実行委員会が置かれ、多くの会員の協力で、特に際立った障害もなく、検定の実施を実行へと移していったようである。

こういった経緯もあり、第 1 回金沢検定を実施した当時から検定の運営は、事務局の事務作業を一部担当している（財）北國総合研究所を除けば、金沢経済同友会が中心となって行っている。実行委員会を、他の団体も加えた協同組織にすると、「もたれあい」が生じる可能性があり、責任を持った執行態勢で臨むには同友会のみで行うのがベストという考えのようである。この体制は当初から変わっていないとのことである。

## 2　検定の運営について

### （1）問題の作成について

今回のアンケート調査では、問題作成を負担と考える実施団体が多いという結果が出ている。金沢検定の場合、第 1 回は初級と中級で各 100 問、第 2 回以降は初級、中級、上級で計 300 問、毎年異なる問題を作成している。問題作成に関しては、金沢検定の場合も相応の苦労があるようである。


尾山神社

金沢検定の問題作成過程を詳細に報告することは出来ないが、概略としては、大学などの研究者や各分野の専門家数十人に出題を依頼し、集まった問題を、実行委員会とは別に置かれた特別チームが取捨選択したりしながら、最終的に初級・中級・上級のレベルに合わせて各 100 問ずつを作成するという。問題作成に協力してくれる多くのブレーンを持っていることが、毎年違う内容で 300 問もの問題を作成できる要因のようである。しかし、多岐に渡る問題を整理し、初級・中級・上級のレベルを毎回一定にそろえることなど、特別チームの作業の困難さは想像に難くないところだ。


近江町市場

金沢検定の問題は金沢の歴史、文化、経済、産業、風習、文学など様々な分野から出題されているが、出題に当たっては非常に気をつかう部分もあるようである。例えば、金沢検定は四者択一方式の問題であるが、歴史分野の場合、定説とは別の解釈があったりすることも多いし、風習などの分野では、学説と、世間一般に定着していることが異なっていることもある。このため、出題に当たっては、問題の内容を入念にチェックし、複数の回答が出るような問題は出さないように気をつけているとのことである。

### （2）問題の難易度について

初級 9.3%、中級 30.7%、上級 2.8%。これは平成 20 年度に実施された第 4 回金沢検定の合格率である。この合格率の数字が物語るように、金沢検定の特徴は全国でもトップクラスと思われる難易度の高さにあるといえる。

なぜ、高難易度の検定にしたのか。その理由もまた、この検定が「ふるさと教育」活動の一環として始まったことにある。「幅広い年代、大人の層にもふるさとを学んでもらい、誇りと自信を持ってもらうというところに力点があり、テキストを 1 冊読んで、それで合格するような検定なら意味がない。自分で調べて勉強して身についた知識だからこそ意味がある」という方針を同友会が貫いていることが、金沢検定を全国屈指の高難易度の検定にしているのである。

### （3）検定当日の実施体制

金沢検定は、受験者数が毎回 2,500 人を超える大規模なものであり、共催・協力団体の商工会議所や青年会議所は人的支援をしている。過去最高となった平成 20 年度に実施した第 4 回目の検定では、金沢市内 8 ヶ所計 63 室の試験会場で 3,000 人を超える受験者が集まり、試験に必要な人員も 150 人に上っている。8 カ所の会場ごとに総括責任者を置き、その下に試験監督を行う会場責任者、その下にアルバイトの補助員という形で会場ごとの実施体制を組み、マニュアルに沿って事前の説明会を開催するなど、入念な事前打合せをし、検定を実施している。

検定の実施日は、円滑に試験会場を確保するためにも、他の大きい規模の試験とバッティングしないように工夫している。平成 19 年度の第 3 回までは 11 月の第 3 日曜日に実施していたが、日商簿記や英検といった様々な試験の実施日と重なっており、試験会場の大半を金沢市の郊外にある大学に分散せざるを得なかったため、第 4 回からは 11 月の第 2 日曜日としている。この結果、同市中心部の会場で 2,000 席近くを確保でき、郊外の会場は 2 ヶ所だけとすることできた。一方で、検定の翌日の月曜日が全国的な新聞の休刊日である

ため、翌日の新聞に検定の模様が載らないという新たな悩みも出てきているようである。

主催者としては「金沢市の中心街に出てきて試験を受けた後、食事や買い物をする」というように検定を街のにぎわいに繋げたいと考えており、今後も市内中心部の会場を増やしていきたいとの意向である。21年度の第5回も11月の第2日曜日の実施で固まったそうだ。新聞休刊日という悩みを抱えながら、前倒しすることも、先送りすることも難しいようだ。

### （4）受験者数増加に向けた取り組みについて

金沢検定の受験者数は、2回目、3回目と少しずつ減少が見られたため、第4回の実施に当たり、金沢市内の企業を中心に、団体受験を働きかける取り組みを行っている。また、平成19年、金沢経済同友会では、「企業も地域を構成する市民の一員として、地域の発展に貢献しよう」という趣旨の「企業市民宣言」を提唱し、これに賛同する1,200社超の企業や法人によって「企業市民宣言の会」を設立した。同会のアクションプランの中に「金沢検定をみんなで受けよう」という項目を入れ、企業市民宣言の会に入っている企業や法人にも受験を呼びかけたりもした。第4回の検定では、こうした取り組みや知名度の向上による個人の受験者が増加によって、初めて3000人の大台超えが実現した。

団体受験をおこなう企業や法人では、ホテル業界が顕著である。お客さんに対応するための知識の拡充やレベルアップ等のために、従業員から受験者を募って団体で受験するケースが増加している。一方、必ずしも観光関連業界に限ったものではない。寧ろ、検定が実施される11月は観光業界が忙しい時期であり、タクシー会社業界などでは、まとまって受験することは難しいようである。一般の企業でも、地域に根付く企業として地域のことを知ることは大事という空気が醸成されてきており、県外に本社のある企業の出先機関でも、転勤族の支社長や支店長が率先垂範して金沢検定を受験するケースが増えている。

金沢市では、5年後の2014年度に北陸新幹線の開業を控えており、それに向けた取り組みが、市内の各方面で始まっている。もともと金沢は北陸では「もてなし力」のレベルが高い地域とされているが、北陸新幹線の金沢開業を前に、それをもっと向上させようというのが行政や観光関連業界の大きなテーマになっているようである。ストロー現象に負けない地域づくりのためである。

金沢経済同友会によると、地域の「もてなし力」の底力は、多くの人が自分の住んでいる地域を、いかに誇りを持って語れるか、というところにあるのだという。このため、地元の様々な知識について幅広く学ぶ機会となり、難易度も高く深い知識を得られる機会となると認識されてきたことも、受験者数が増えてきた要因の一つなのかもしれない。

### （5）受験者の年代について

受験者の年齢は、下は9歳から上は80歳まで幅広い年代に亘っているが、社会人の受験者が比較的多いということが特徴である。30代や40代の受験者数が一番多く、20代や50

代の人が続く。幅広い年代、大人の層にふるさとを学んでもらうという検定の狙いは実現しているものと思われる。

また、中級や上級の試験になると60代前後の人が多くなる。これは、定年退職などで生活にゆとりが生まれ、この機会に自分の住んでいる地域のことをより深く知りたいという人が多いのかもしれないとのことであった。

金沢検定には公式テキストがない。地元の北國新聞社や出版会社などから多くの参考図書が出ているが、中級や上級の合格を目指す人の場合、参考図書だけでなく、自分で見て歩くなど幅広く勉強する必要があり、時間的余裕のあるこの世代の受験者が多いのかもしれないとのことである。受験者の中には学生もおり、中学校や高校でまとまって受験に来るケースも相次いでいる。これまで各学校にふるさとのことを学ぼうと働きかけてきたことが浸透してきたことが、結びついているのではないかとのことであった。

### （6）検定の合格者について

金沢検定の合格者に対しては、各級ごとに認定証、合格証、合格バッジを贈っているが、主催者としては、合格者を活用した取り組みはしていないとのことだ。一方、合格者自身の活動は様々なところで広がっている。ボランテイアガイドは勿論、金沢市内のあるホテルでは、検定の合格者が考えた見学コースを設定してお客さんに勧めるといった活動を始めている。タクシー会社の中には、運転手全員が受検し、合格証明書をタクシーに乗せ、自社のホームページで合格した運転手を紹介するなどのＰＲをしているところも出てきている。

この背景には、金沢検定が難しいということが知れ渡ったことで、上級はもとより中級の合格者でも凄いという評価が広まったことにあるようである。検定が一つのブランドになりつつあることで、検定に合格したことが一種のステータスになっていることが様々な合格者の活動、活用に繋がっているようである。

## 3　検定を実施してみて

金沢検定が始まった翌年の平成18年には、金沢市の教育委員会が小・中学生を対象にしたジュニアかなざわ検定を実施し、平成20年度で3回目を迎えた。この高得点合格者が、金沢検定に挑戦してくるケースも目だっている。金沢検定が始まった後、これに触発された形で石川県内や隣県の富山県内にも様々なご当地検定が誕生しているほか、金沢大学でも平成18年度から、全学の新入生を対象とした単位取得ができる「金沢学」の授業をスタートさせており、金沢検定がきっかけとなって、地域のことを知るための活動やそれを通じて地元への愛着を持とうという運動が広まっていったようである。

金沢検定主催者の金沢経済同友会は今、会の活動の照準を2014年度に予定される北陸新

幹線金沢開業に合わせ、ストロー現象に負けない魅力的な地域づくり目指している。この大きな柱が金沢検定であり、多くの人がふるさとを学び、ふるさとに誇りと自信を持てば、それがひいては地域の活性化につながるという想いは着実に前進している。

## ジュニアかなざわ検定

### －ご当地検定の概要－

1．概要

年1回、小学4年生から中学生を対象に、金沢の歴史や文化、自然、産業、まちづくり、偉人などの分野から択一式で50問出題する。

70点以上にカードを発行（90点以上ゴールドカード、80点以上シルバーカード、70点以上ブロンズカード）。100点満点はジュニアかなざわ博士に認定する。

2．主催団体

ジュニアかなざわ検定実行委員会（事務局：金沢市教育委員会生涯学習課）

3．実施年月日

平成18年11月

4．試験区分

なし

5．受検料

無料

6．公式テキスト

こども金沢市史、のびゆく金沢

7．実施状況

| 実施年月 | 実施回 | 受検者数（人） | 合格者数（人） | 合格率（%） |
|---|---|---|---|---|
| 平成18年11月 | 第1回 | 805 | 195 | 24.2 |
| 平成19年8月 | 第2回 | 1,218 | 102 | 8.4 |
| 平成20年8月 | 第3回 | 1,475 | 453 | 30.7 |

※　制度上、合格・不合格という概念はなく、点数が70点以上の受検者に対して認定カードを発行するという仕組みをとっている。このため合格者数の欄には便宜上、認定カードの発行を受けた者の数を記入してある。



金沢市役所




ジュニアかなざわ検定公式テキスト

## 1　ジュニアかなざわ検定のはじまり

### （1）金沢検定の存在

ジュニアかなざわ検定は平成 18 年に始まった。検定を始めることになったきっかけは、前年の平成 17 年に金沢経済同友会が大人を対象にした「金沢検定」を始めたことが大きかったようである。第 1 回金沢検定が始まった頃、「子ども向けの検定もあればいいのに」という要望が市に寄せられており、これを受けて市役所内で「子ども向けの検定を市の方で実施しよう」という話が持ち上がり、「ジュニアかなざわ検定」は翌平成 18 年度の新たな取り組みとして位置付けられることとなった。

### （2）検討を重ねながら現在の実施体制へ

新規事業として実施することが決まって以降、市役所内では検討を繰り返しながら準備を進め、平成 18 年度に第 1 回の「ジュニアかなざわ検定」は実施された。現在のジュニアかなざわ検定の実施体制は、ジュニアかなざわ検定実行委員会を主体とし、その事務局は教育委員会の生涯学習課に置かれている。実施体制や実施方法は、検定の回数を重ねていく中で、少しずつ見直しを重ねていく過程を経て決まったものである。例えば、第 1 回の検定は 11 月に実施されていたのだが、会場となる小中学校や受検者である小中学生のことを考慮し、第 2 回からは夏休み中の 8 月後半とした。また、第 1 回の事務局は市役所の企画部門である総合調整課に置いていたが、検定の実施に当たり小中学校との連携が重要であり、教育委員会の方が連携を取りやすいとの理由から、第 2 回以降は教育委員会の生涯学習課へ事務局を移している。

実行委員会の構成メンバーは小学校、中学校の校長先生それぞれ 1 名ずつと関係団体の代表者、有識者からなっており、年に 3 回前後開催される実行委員会において検定の実施に係る意志決定を行っている。事務局としては、生涯学習課の職員 2 名が兼務で担当している。

この検定では、共催団体や後援団体は特になく、金沢市教育委員会の生涯学習課がほぼ単独で行っているとのことであった。

## 2　検定の管理運営

### （1）問題の作成について

ジュニアかなざわ検定の問題は、実行委員会とは別に設けられた問題作成委員会の方で作成されている。委員会の構成メンバーは、有識者 1 人に小学校と中学校の社会科の先生が 2 人ずつの計 5 名で、学校の先生については推薦のあった方に任期付きで入ってもらっている。50 問からなる検定問題は、問題作成委員会の中で案を出し合い、協議しながら作

成している。

検定の問題の対象は金沢市の歴史、文化、自然、産業、まちづくり、偉人等である。主催者によると「この検定の最終目標は将来大人になったときに金沢というまちを情報発信できる子どもを育てていくことにあり、そのために金沢に興味を持ってもらい、金沢のことを知ってもらい、学んでもらうためのきっかけづくりとして、検定を実施している。」とのことだ。

**（2）検定の区分について**

ジュニアかなざわ検定は、獲得した得点に応じて、70点以上はブロンズカード、80点以上はシルバーカード、90 点以上はゴールドカードを発行し、100 点満点でジュニアかなざわ博士に認定するという制度を採っており、上級や初級といった受検区分は設けていない。ただ、対象年齢が小学校4年生から中学校3年生までと幅があるため、「小学校と中学校で試験の内容を分けてみてはどうか」との声もあったようであるが、100点満点を目指している子供が多数いるため、今のところ「めざせジュニアかなざわ博士」という現在のやり方を続けていくということで方針を固めているようである。また、繰り返し検定を受けているリピーターが存在していることも受検者が年々増えてきた要因の一つとなっている。

**（3）検定当日の実施体制について**

ジュニアかなざわ検定の受検方式は個人受検と団体受検の 2 種類がある。団体受検は、学校ごとに受検者を取りまとめ、申し込みされており、団体受検の申し込みがあった小中学校を会場に実施していることから、申し込みのあった学校の先生に試験現場での監督や問題用紙の配布・回収といった作業での協力を得ている。また、協力してもらう先生には事前に試験監督のマニュアルを配布しており、それに沿って検定を実施してくれるように依頼している。

個人受検については第3回の場合だと市の施設2ヵ所に会場を設けて実施されており、こちらの方は生涯学習課の職員が試験現場での監督や問題用紙の配布・回収作業を行っている。

**（4）検定のＰＲ活動について**

検定のＰＲについては、対象者が小学校 4 年生から中学生であることから学校を中心に行っており、校舎内にポスターを貼ってもらったり、学校の方からパンフレットや要項を受検の対象者全員に配布してもらったり、学校の先生に団体受検の申し込みをお願いしたりといった活動が中心である。また、大きなイベントがあればブースを設けて検定のＰＲを行ったり、募集案内を市の広報に載せたり、パンフレットや要項を市役所の窓口に置いて来庁者に配布したり、マスコミへの投げ込みを行ったりもしている。受検者の数も回を重ねるごとに順調に増えてきている。一方で、主催者としてはこの検定を金沢について学

んでもらうきっかけづくりにするという目的から、今後、一層の周知をしていくためにＰＲ方法の検討が課題になっているとのことである。

### ３　今後の取り組みについて

主催者としては、現在の検定を発展させる方向で、今後の取り組みを考えているという。具体的には、検定の多様化を検討しており、例えば、対象者を限らず、もしくは低学年向けに簡易版のような形で気軽に挑戦できるようなものを作ることなど、様々な検討をしている。

また、出席率についても課題となっている。例えば、第３回の申し込み者数は 1,600 人を越えていたが、実際の受検者数は 1,475 人と欠席者数が多くなっており、出席率の向上策を考える必要に迫られている。「実施時期が夏休み中ということもあり、色々な用事が入ることもあるとは思うのだが、少しでも出席率を上げるのが今後の課題である。」と主催者では考えている。

検定実施日は学校とも相談し、出来る限り他の学校行事と重ならない日にして欠席者が少なくなるようにしているが、今後の方向性は検討中とのことであった。

「ジュニアかなざわ検定を広く一般に知ってもらいたい。そして受検者が今よりももっと増えてほしい。」、これが主催者にとっては一番の願いのようである。開始から３回を重ね「ジュニアかなざわ検定」の受検者は増えてきており、確実に検定は浸透してきていると思われる。「より多くの人に金沢を学んでもらうきっかけに」という目標に向けて今後も「ジュニアかなざわ検定」は続いていくのだろう。

# 明石・タコ検定

## －ご当地検定の概要－

1．概要

「魚を楽しむまち明石」が実施する“おさかな通”度を図る検定である。明石で獲れる魚（タコ、鯛、あなご、イカナゴ）に関する生態・産業・食文化・歴史全般から出題し、明石の魚を多くの方に知ってもらうために実施している。

2．主催団体

明石・タコ検定委員会、明石・中心市街地まちづくり推進会議（明石地域振興開発株式会社）、明石商工会議所

3．協力団体

明石市、明石市教育委員会、明石市商店街連合会、明石観光協会、神戸学院大学、神戸新聞社、明石魚の棚東商店街振興組合、明石魚の棚西商店街振興組合、明石浦漁業協同組合、兵庫県漁業協同組合連合会、兵庫県立農林水産技術総合センター、神戸市立須磨海浜水族園

4．開始年月日

平成 18 年 3 月

5．試験区分

1 区分

6．受験料

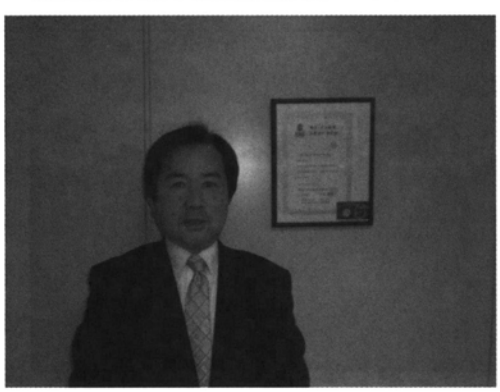
3,000 円

7．公式テキスト

明石・タコ検定公式テキストブック 1,000 円

8．実施状況

| 実施年月 | 実施回 | 受験者数（人） | 合格者数（人） | 合格率（%） |
|---|---|---|---|---|
| 平成 18 年 3 月 | 第 1 回 | 530 | 442 | 83.4 |
| 平成 18 年 7 月 | 第 2 回 | 580 | 199 | 34.3 |
| 平成 19 年 7 月 | 第 3 回 | 272 | 171 | 62.9 |
| 平成 20 年 7 月 | 第 4 回 | 196 | 108 | 55.1 |



【取材協力】明石地域振興開発株式会社
上田　博さん



明石市役所

## －共催・後援等の自治体について－




兵庫県明石市

面　　積　49.25ｋ㎡
人　　口　291,027 人
（平成 17 年度国勢調査）

1．兵庫県明石市の概要

明石市は、兵庫県の南側、瀬戸内海に面しており、東経 135 度の日本標準時子午線上に位置している。市の東は神戸市と接し、東西に 15.6ｋｍ（海岸線は 15.9ｋｍ）、南北で 9.4ｋｍあり、東西に細長いまちを形成している。また、明石海峡をはさんで淡路島を望むことができる。

2．所管課

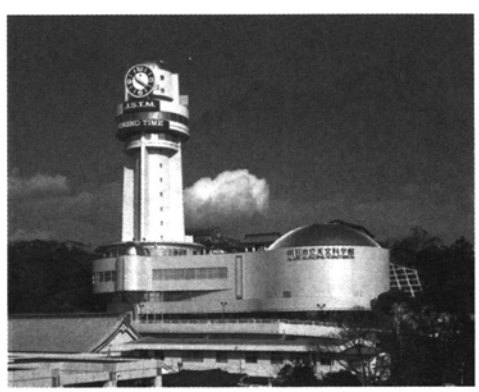
産業振興部商工労政課

3．地域資源

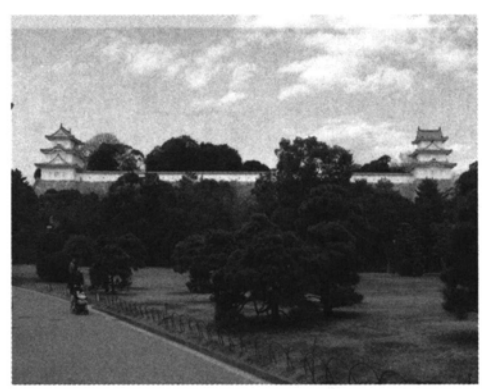
・観光資源：子午線日本標準時のまち、魚の棚商店街、天文科学館　など
・農林水産物：タコ、鯛、アナゴ、海苔、イカナゴ、玉子焼き（明石焼）　など

4．地域振興事業

・春旬祭（3 月）など



明石市立天文科学館



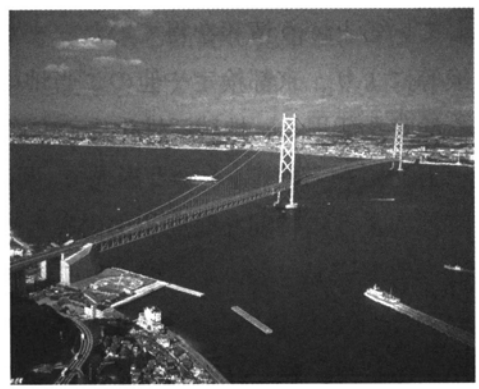
明石城

## 1　明石・タコ検定

### （1）魚を楽しむまち明石

明石市には、明石海峡や播磨灘の恵まれた海の幸が水揚げされる明石港があり、そこにある「魚の棚商店街」には、明石鯛、明石ダコなど、全国でも有名な鮮魚や海産物を取り扱う商店が並んでいる。「魚の棚」というの名称は大きな板を軒先にずらりと並べ、鮮度を保つために並べた魚に水を流していた様子から名づけられたのものである。江戸時代、沿岸沿いの城下町にはどこでも魚の棚という通称をもつ町があったが、現在ではほとんどなくなり、今も名の残る魚の棚と言えば、魚の棚商店街となっている。ちなみに、地元では「うおんたな」と発音する。

このように今も昔も魚の名産地として全国に知られている明石では、地域活性化のために明石・中心市街地まちづくり推進会議を組織するとともに、「魚を楽しむまち」を宣言し、「魚を買うまち」からもっと幅広く発展することを考えている。



明石海峡大橋



魚の棚

「魚を楽しむまち・明石」宣言文

『魚をおいしく食べられるまち』として発展してきた特性を生かし、これからの明石を『魚を楽しむまち』として育てていくことを宣言します。

平成15年2月宣言

### （2）明石・タコ検定のはじまり

明石・タコ検定の主催者は、明石・タコ検定委員会（以下、検定委員会という。）及び明石・中心市街地まちづくり推進会議（以下、まちづくり推進会議という。）、明石商工会議所である。検定委員会は、まちづくり推進会議のメンバーを中心に県漁連、大学教授等を加えた団体である。まちづくり推進会議は、駅前の中心市街地の活性化やＴＭＯ（ＴＭＯとは、中心市街地の活性化に取り組む「タウンマネージメント機関」の略称ある。）事業の内容等を協議検討する任意団体であり、このメンバーの中心でもある明石地域振興開発㈱は、平成12年に中心市街地活性化基本計画及びＴＭＯ構想に基づくリーディングプロジェ

クトとして中心市街地の活性化に貢献するために設立されたまちづくり会社である。

平成17年の初め、まちづくり推進会議において、平成16年12月にスタートした京都検定について、地元（京都）の旅行会社やタクシードライバーが多数受験し、地域が活性化しているという情報を得ていた。また、同様に商工会議所においても、会議所間の情報交換等により、京都検定や他のご当地検定の評判が良いとの情報を得ていたため、自分たちも検定を活用し、地域活性化につながる事業ができないか検討された。

当初、「明石検定」という形式で、明石の総合的な検定スタイルについても検討されたが、京都のように特別な歴史・文化をもつ地域以外において総合的なスタイルでの検定は、継続して実施できないし、他のエリアの検定と同じ事をしても意味がない（明石らしさが出ない。）との結論に至った。そこで、魚に関する検定という切り口で何か出来ないかと発想が出された。魚やタコをメインにした理由としては、事業発案の中心であるまちづくり推進会議が、そもそも中心市街地の活性化（商業的な活性化）を目的としており、歴史や文化による活性化ではなく地域物産の振興等による活性化に力を入れていたためであり、また、歴史・文化的な素材が他の都市より少ないために、検定としては取り扱いにくいと判断したのからだと言う。また、平成15年には、「魚を楽しむまち」を宣言していることもあり、魚やタコといったユニークな切り口のほうが検定としての印象が強いであろうという結論になった。魚についてなら、検定における素材は多数あり、イカナゴのように、鯛やタコに比べ全国的に知名度は低いものの、検定を活用して普及できる知名度を上げていきたいものもあると考えた。



明石焼き

## 2　検定の運営

### （1）反響の大きかった「タコ検定」

まちづくり推進協議会では、毎年 3 月に官民一体となり、魚をテーマとし、地域活性化に向けた「春旬祭」を開催している。そこで、春旬祭において、検定をイベントの一つとして試行的に行ってみることとなる。

そこで、検定を成功させるために重要となったのが広報活動である。基本的には、行政の広報誌や商工会議所の会報を活用し、報道関係では、各新聞社の広告ではなく、記事として取り扱ってもらう手法とした。また、マスコミ（ＴＶ局）については、事務局からＴＶ局の関係者のうち、著名で魚の知識に自信がある人に対して挑戦状を渡すようなことをした結果、ラジオ局のアナウンサーが受験することになり、ラジオでも報道されることと

なる。

しかし、実際のところは、第1回の開催の約2ヶ月前の平成18年1月中旬に市役所で検定の実施を発表した際、ご当地検定がブームとなりつつある時であり、マスコミの関心が高く、翌日の朝刊に大々的に取り上げられている。そして、ある新聞の記事が、インターネットの検索サイトのトップページに掲載されたことにより、ＴＶ局各局から取材の申込みが相次ぎ、大きな宣伝につながったと言う。特にインターネットでは、1日に約5万件以上のホームページへのアクセスがあり、事務局のサーバーがパンク状態になったこともあったそうだ。

このような中、平成18年3月に開催した第1回の検定においては、当初、受験定員は250人と設定していたが、申込みが殺到し、募集期間が始まってすぐに 500 人以上の申込みとなった。事務局としては、第 1 回目ということもあり、検定運営に対するノウハウが少なく（検定慣れしている商工会議所でも、参加者がこれほど多い検定は経験していなかった。）、十分な会場を借りることができなかったため、予定していた募集期間を途中で打ち切ることになった。

あまりも反響が大きかったために、当初予定していなかった 2 回目の検定を年内に急遽実施することととなった。そこでも事務局の工夫があった。試験日を 7 月 2 日の「タコの日」近日としたことである。それは、タコが旬な時期に検定を実施しつつ、地域の活性化にもつなげるためであった。その時期に実施すれば、検定を受けに来た市外の人も、旬のタコを見てるだけでなく、食べることができ、地域の活性化につながると考えられたのである。

第 2 回においても、第 1 回の開催の様子が、ＴＶなどの報道機関がニュースとして取り扱ったため反響は大きく、受験者は増加した。このため、第2回では、試験会場を5ヶ所、定員を 500 名としたところ、結果として、試験会場までの交通の案内、試験会場への事務局の移動など、非常に運営コストがかかってしまった。

平成19年度の3回以降は、それまでの開催により検定運営のノウハウを得たため、運営コストを見直し、より質の高い検定にしようとした。年 1 回（同様に 7 月頃）として固定し、受験定員をあえて 250 名、試験会場も 2 ヵ所とすることで、検定運営を堅実なものとし、この事業を軌道に乗せようと主催者は考えた。



第4回開催チラシ

### （2）地域活性化のための事業の運営

検定を主催する検定委員会は、明石商工会議所と明石地域振興開発㈱が事務局を担当する。事務的な取りまとめは商工会議所が実施し、財政部門は明石地域振興開発㈱が担当している。つまり費用のかかるものは、すべて明石地域振興開発㈱で行うこととしている。例えば、募集のチラシや、

テキストブックの印刷発注・支払いなどである。ただし、株式会社なので、検定料やテキスト代等における収益は、明石地域振興開発㈱で受け取る仕組みとしている。行政や商工会議所ではなく、収益を上げられるため、コスト重視の運営ができるのであろう。しかし、あくまで、費用のかかる事務を管理しているだけであり、事業内容（定員や期日）を決定するのは、検定委員会である。なお、第 1 回目は、経済産業省からの助成を受け実施したが、第 2 回目以降は明石市の助成を受けて実施している。しかし、明石市からの助成は、検定に対する助成ではなく、中心市街地の活性化を目的としたまちづくり推進会議が行う一体の事業に対する助成であり、あくまで、地域活性化の施策としているところに特徴がある。

### （3）検定問題ができるまで

問題の作成については、検定委員会の中で、問題作成チームを立ち上げ、明石浦漁業協同組合の職員を中心に、商工会議所の検定に関する知識を加えて、素案を作成している。元々、明石浦漁業協同組合には、明石のタコや鯛に関する様々な問いあわせや、子どもたちの社会科見学にも利用されていたため、その質疑応答により、問題の素材は多かったのである。例えば、「イカナゴをどのように炊けばおいしいのか？」「いつ解禁するのか？」「タコを生で購入した場合、どのように調理すればよいのか？」「年間のタコの水揚げはどれくらいか？」など、地元の子どもから県外の大人の方まで幅広く質問が蓄積されていた。それを少しづつ整理したものを、検定の素材として、問題に加工している。



公式テキストブック

また、検定を始めようとした際にも、誰がどのようにして問題を作成するのかが、課題であった。しかし、まちづくり推進会議の別事業で、地元の魚を使った料理教室を開催するなど、明石浦漁業協同組合の職員で明石の魚に関する知識が非常に深い人物がおり、その方に協力していただくことができたため、課題は解決することができた。

次に課題となったのは、問題作成チームには、水産の研究者などがいないため、学術的に否定されてしまう可能性である。例えば 4 択で、Aが正解として設定していたが、文献をみるとBも説としてありうる場合である。この場合、必ずAが正解になる必要がある。そのためには、設問の条件として、明石・タコ検定ではと付けることとした。そうすることにより、複数の正しい説があった場合でも、明石での説を正解とすることとできるのである。課題を逆手にとって、明石での考えを学んでもらうこととしている。

## 3　検定の今後

合格者には、認定証やピンバッジが送られる。当初、その外に、市内ホテルや飲食店への優待サービスなども考えてはいたのだが、優待サービスを目的にされるのは、明石の魚の知識を得てもらいたいという本来の趣旨と違うため、採用しなかったとのことだが、将来的には実施したいと主催者は考えている。

しかし、開催実績 4 回を経て、合格者は約 900 人に及び、合格者からは様々な要望がある。例えば、上位クラスの検定の設定だ。現在の普通クラスの合格者を対象とした上級者編を実施すれば、検定全体の受験者の増加や新たな事業展開ができるのではないかと主催者では考えている。



認定証（カード）

この検定では、受験者にアンケート調査を行っている。平成 20 年 7 月に開催された第 4 回での調査結果によると、受験者の年齢層は、20 代で 26%、30 代で 27%、40 代で 20%と、これらの年代で約 7 割を占めている。この割合は、第 1 回から大きく変わっていないとのことであり、幅広い世代に受験して欲しいという主催者の考えと合致したものとなっている。



認定証（ピンバッチ）

まちづくり推進会議が、中心市街地の活性化のために行った様々な調査によって、「魚を楽しむまち・明石」でも、若者の魚離れが広がる傾向にあるようだ。主催者としては、明石で生まれ育った子供たちには、「最低でも明石の魚を知ってもらいたい。また、明石の小学校を卒業したら、誰でも魚をさばけるぐらいにしたい。」と考えている。第 3 回には小学校 1 年生の受験者もいたということであるが、今後は、若い世代にもこの検定を受験して欲しいと考えている。また、市内の小学校に対しては、空いた時間で検定を活用してもらうよう働きかけ、小学校側からも一定の理解を得ているようだが、現実的には、授業のカリキュラムの中に組み入れることは厳しいという。小学生には、歴史・文化のように難しく考えるのではなく、お魚というユニークな視点から、明石の魚を楽しく学んでもらうため、公式テキストブックを小学校ごとに一冊ずつ寄贈した。

この検定の根底にあるのは、地域の活性化である。検定というツールを活用して、地元の特産品の振興に繋げることとしている。そして、主催者としては、検定を契機に、「親子で明石の魚を学んでもらって、好きになってもらいたい。そして、子どもが大きくなったときに、明石の魚を説明できるようになってもらいたい。」と語った。

## 津山まつり・だんじり検定

**－ご当地検定の概要－**

1．概要

岡山県津山市では、毎年10月に「津山まつり」が開催されている。城下町の成立とともに始まり、400 年の歴史を持つ祭の知識を問う検定である。祭の歴史や参加するだんじり48臺に関するものなど祭に関する様々な問題が出題されている。

2．主催団体

津山だんじり保存会館

3．開始年月日

平成19年3月

4．試験区分

2区分（1級、2級）

5．受験料

無料（1級、2級）

6．公式テキスト

なし（ホームページがテキストとなっている。）

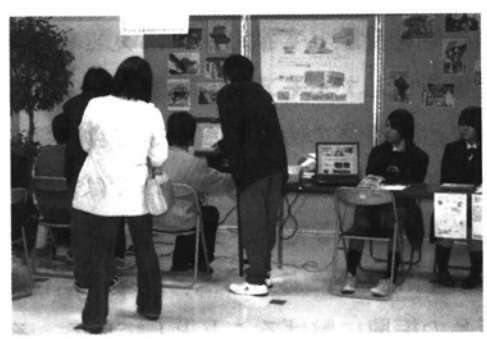
7．実施状況

| 1級実施年月 | 実施回 | 受験者数（人） | 合格者数（人） | 合格率（%） |
|---|---|---|---|---|
| 平成20年8月 | 第18回 | 287 | 109 | 38.0 |
| 平成20年9月 | 第19回 | 304 | 103 | 33.9 |
| 平成20年10月 | 第20回 | 566 | 226 | 39.9 |

| 2級実施年月 | 実施回 | 受験者数（人） | 合格者数（人） | 合格率（%） |
|---|---|---|---|---|
| 平成20年8月 | 第8回 | 166 | 129 | 77.7 |
| 平成20年9月 | 第9回 | 184 | 137 | 74.5 |
| 平成20年10月 | 第10回 | 341 | 239 | 70.1 |

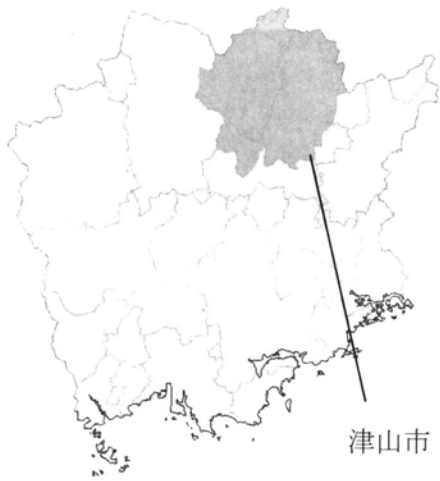


【取材協力】津山だんじり保存会館
延原　誠さん



検定風景

## －開催地の概要について－




岡山県津山市

面　　積　506.36ｋ㎡
人　　口　110,569人
（平成17年度国勢調査）

津山市は、岡山県北東部に位置し、北は中国山地で鳥取県との県境をなし、南は中部吉備高原に接する、都市と自然が融合する表情豊かな地域である。

古くから、美作地区の政治、経済の中心地、出雲街道・吉井川水運などの交通拠点として栄えてきたところである。1603年に森忠政の入国によって築かれた強固な城下町は今でもその面影を色濃く残している。美しく積み上げられた石垣がほぼ完全な形で残る津山城跡を中心に、近代的城下町の中に風情を漂わせる旧出雲街道沿いには、閑静なたたずまいをみせる武家屋敷、神社、仏閣が多く、街には清流が流れ「西の小京都」と呼ばれる美しい城下町がある。

## 1　津山まつりだんじり検定のはじまり

### （1）津山まつりとは

津山まつりとは、東の大隅神社、中央の徳守神社、西の高野神社の秋祭りを総称したものである。400年の歴史を持ち、各町内で守り受け継いできた県指定重要有形民俗文化財のだんじりが27臺と、飾り山車と呼ばれる昭和になって新造されただんじりの合計約50臺が祭を盛り上げる。津山のだんじりの最大の特徴は、「工匠は黙して語らず。だんじりにして、語らしめる。」との精神で当時の工匠たちが技と精根込めて彫り上げた躍動感溢れる彫り物と社寺建築を小規模化してそ



大隅神社本祭

の技を詰め込んだ、だんじりそのものにある。

### （2）津山だんじり保存会館の誕生

「津山市が津山祭の歴史を研究したのは平成に入ってからだ。」と延原氏は当時を振り返る。教育委員会が文化庁の職員を招き、1年をかけて研究し、報告書をまとめた。しかし、その時既に、口伝えに伝えられてきたお年寄り達が亡くなっていたため、現在に至るまでの祭りの歴史の一部が失われたのだと延原氏は悔しがる。研究結果は、現在では知られていないことが含まれるなど、出来上がりは上々であったものの、市民にとっては違和感のある点も多くあったと延原氏は言う。このため、昭和50年頃から独自に行ってきた資料収集、研究を本格化させた。




津山だんじり保存会館（ホームページ）

同じ頃、市民には見慣れた津山まつりが他の地域にはない大規模な祭であるにも関わらず、県外はおろか、岡山市でもあまり知られていないことに気づいた延原氏は、もっと津山まつりをＰＲしていこうと考えた。平成18年には、岡山県の重要文化財に指定されている28臺のだんじりをバーチャルで展示するためのホームページ「津山だんじり保存会館」（以下、保存会館という。）を立ち上げ、代表を務めている。

また、平成20年5月には、文化財以外の祭に参加するだんじりも併せて見られるタッチパネル式のデータベースを市内2ヶ所に設置している。最近では、まずは県内で祭をＰＲするために、簡易版のデータベースを岡山県立図書館の電子図書システム内の郷土情報データベースでも利用できるようにしている。



徳守神社だんじり

### （3）正しい歴史を知るために検定を実施

現在では祇園祭の山車と同じ様に引かれている津山だんじりも、明治時代までは担がれ

ていたのだが、祭の変遷など、その歴史すら知らない市民が多くなっている。また、提灯を灯し、彫り物をライトアップするための発電機がだんじりに備えられていることで、津山のだんじりはすべて自走式であると誤った説明をする観光ガイドが多数いることを延原氏は知った。このため、延原氏は、津山まつりへの正しい知識と理解を更に深めてもらうため、平成19年3月に保存会館が主催者となり、「津山まつり・だんじり検定」を始めることになった。



津山城

## 2 検定の運営・管理

### （1）検定の実施方法

この検定は、インターネット上で実施されており、誰もが無料で、好きな時間、場所で、保存会館のホームページから受験できる。検定問題は、1級と2級をあわせて1万問以上の問題を蓄積し、データベース化しており、受験する毎にその中からランダムに出題される。同じ問題が出題されないように、出題比率にも違いを設け、新たに蓄積された問題が出題されやすいシステムとなっている。

公式テキストはない。保存会館のホームページ自体がテキストだと主催者がいうとおり、ホームページを見れば、答えか、少なくともヒントが見つかるようになっている。これは、調べられることでないと出題しても意味がないと考えからだという。祭以外でも、津山市民であれば常識として知っていると思われる地域の偉人や行政に関する問題もあるが、比率的には低いものであり、あくまでも祭の検定である。

いずれの級でも出題される問題は10問であり、4者択一式である。インターネットでの検定であるため、採点は自動的に行われ、得点には回答の正否に加え、回答に要した時間も加算や減点対象として、合否判定がなされる。合格書の交付も直ちにできるものとなっている。また、毎月の受験者のうち、得点が上位10位以内となれば、保存会館のホームページで顕彰される。

地域のイベントでも検定を実施している。インターネットに繋がった端末があれば実施できるこの検定は、一定規模の会場や多数の試験官などを必要とする他の多くの検定とは異なり、手軽に実施できるという利点がある。

### （2）問題の作成について

検定問題は、全て地域のボランティアの協力により作成されている。1級の問題は、青壮年連合会の協力により作成されている。青壮年連合会とは、だんじりの総代でもある各町

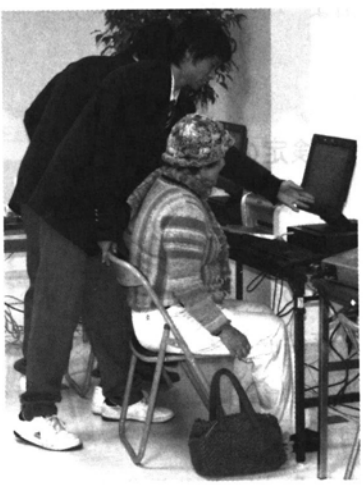
内会の青壮年団の団長からなる組織であり、各町内・だんじりの歴史や伝統などを主催者に伝え、主催者が問題として利用している。

検定の開始時には、受験級は1級だけであった。しかし、平成19年、岡山県の美作地域で開催されていた高校生や大学生など幅広い年代を集めた合同文化祭での出し物として津山商業高校が目を付け、主催者に提案したことにより、2級が創設された。このため、2級の問題は高校生が作成している。高校生が神社の神主や町内の長老などを取材し、作成しているものであり、他の地域の大人達と交流することともなっている。現在では、コンピューター部とワープロ部が部活動の一環として関わっており、現在の部員が卒業しても継続していくことができる体制となっている。



取材先について話しあう高校生

また、高校生は、地域のイベントなどで検定を実施する際にも協力しており、イベント会場に並べた端末1台に1人がつき、操作方法の説明や検定の受験、合格書の発行までサポートしている。



お年寄りをサポートする高校生

**（3）受験者を増やす秘策**

この検定の受験者数は、少ない月でも300人程度であり、受験者数が多くなる10月の祭の間近ともなれば、ひと月で1,000人にも上る。保存会館のホームページへのアクセス数にいたっては、9月頃から一日あたり3,000件となり、祭り間近となれば、一日10,000件に迫ることもあるそうだ。

これほど受験者数が多くなったのは、単に実施回数を重ねてきたからではなく、主として2つの仕掛けがあるからだ。一つ目が、すべての受験者に対して祭囃子の携帯用着信メロディをプレゼントするという特典を用意していることだ。また、鐘や太鼓の違いから町内ごとに祭囃子は異なるものとなっており、検定の得点が一定の基準を超えないと欲しいものが貰えないとすることで、繰り返し受験し、合格を目指すこととともなっている。最近では、祭のシーズン間近ともなれば、津山市民の携帯着信メロディは祭囃子一色になるそうであり、市民にこの検定が広く認知されてきている。

二つ目が、平成19年から実施しているだんじりの人気ランキングである。このランキングでは、上位5位のだんじりを常時、保存会のホームページで公表し、年間1位のだんじりにはペナントを授与している。大きく目立つこのペナントは、祭の際にだんじりに取り付けられ、他の町内の羨望の的となっており、検定で月間トップとなった人のいる町内のだんじりには、この人気ランキングにボーナス得点を加えることでも、受験者の増加に繋

がっている。

この他、地域のイベントなどで検定を実施する場合には、合格者が出た際、関係者総勢20 名以上で拍手することや、会場で祭囃子を大音量で流すことで市民を多く集め、受験させるような工夫もしている。主催者としては、これまで順調な検定運営が出来てきており、懸案となっている課題や問題はないそうだ。

### 3　検定の実施によって

開始から約 2 年となった今日では、だんじり運行の中心的な役割を果たす青壮年団などからの働きかけもあり、強制的なものではないものの、だんじりを説明する観光ガイドは合格レベルまで達することが望ましいと認知されつつあるといい、検定の目的に一定の効果があった。また、取材に協力している高校生には、祭の歴史を学ぶことが導入部分となり、町全体のことを知りたいと考える人が増えてきており、強制ではなく、楽しみながら町の歴史を勉強することに繋がっているのだとも延原氏は言う。

さらに、検定の主催者である保存会館がラジオ番組への出演や新聞社、ＴＶ局への祭の売り込みに力を入れたこともあり、平成 21 年度の祭りでは 1 時間の特集番組を地元放送局が制作・放映することが決まっており、祭のＰＲに大きな効果が期待できるものとなっているそうだ。

# 熊本・観光文化検定

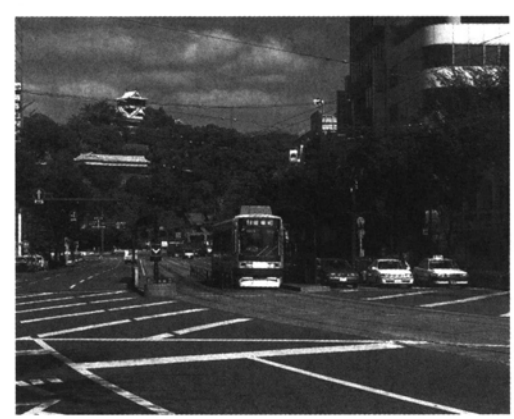
## －ご当地検定の概要－

1．概要
　熊本県では、平成23年度に九州新幹線全線開通を控えており、熊本城本丸御殿の落成が平成20年4月に行われる等、今後、熊本県を訪れる観光客の増加が期待されている。そこで、県民を中心に郷土熊本について学び、その魅力に気づき、おもてなしに役立てることを目的として検定を実施している。
2．主催団体
　熊本商工会議所
3．協力団体
　熊本県、熊本市、熊本経済同友会、熊本県商工会議所連合会、（社）熊本県観光連盟、（財）熊本国際観光コンベンション協会、「熊本城400年と熊本ルネッサンス」県民運動本部
4．開始年月日
　平成19年2月
5．試験区分
　3区分（1級、2級、3級）
6．受験料
　1級6,300円、2級4,200円、3級3,150円
7．公式テキストブック
　熊本・観光文化検定テキスト（本編）2,100円
　熊本・観光文化検定テキスト（続編）1,995円
8．実施状況
（総数）

| 実施年月 | 実施回 | 受験者数（人） | 合格者数（人） | 合格率（%） |
|---|---|---|---|---|
| 平成19年2月 | 第1回 | 2,523 | 2,345 | 92.9 |
| 平成19年9月 | 第2回 | 2,007 | 1,017 | 50.7 |
| 平成20年2月 | 第3回 | 858 | 623 | 72.6 |
| 平成20年9月 | 第4回 | 489 | 162 | 33.1 |



【取材協力】熊本商工会議所
橘　健治さん



熊本市内（画像提供：熊本県）

## －共催・後援等の自治体について－




| 熊本県 | |
|---|---|
| 面　　積 | 7404.83ｋ㎡ |
| 人　　口 | 1,842,233 人 |
| | （平成 17 年度国勢調査） |

1．熊本県の概要

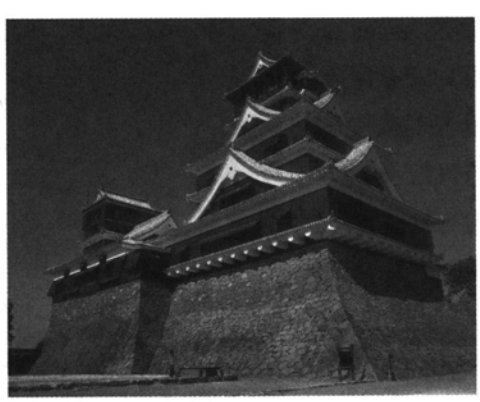
熊本県は、九州のほぼ中央に位置し、古くから九州の経済、文化、交通の拠点として発展してきた。飛行機で東京から約 1 時間 30 分のところに位置し、14 市・25 町・8 村（平成 22 年 2 月 1 日現在）で構成され、人口約 183 万人、面積約 7,404k ㎡の福岡県に次ぐ九州第 2 の県である。

2．所管課

熊本県観光物産総室

3．地域資源

熊本城、阿蘇くじゅう国立公園、雲仙天草国立公園　など



熊本城（画像提供：熊本県）



天草四郎像（画像提供：熊本県）

## 1　熊本・観光文化検定のはじまり



阿蘇（画像提供：熊本県）

熊本・観光文化検定は、平成19年2月から始まり、年2回の開催で平成22年1月現在で、計4回実施された。1級から3級まで受験者数約5,800人、合格者数約4,100人と非常に人気の高いご当地検定である。

主催者は、熊本商工会議所だ。この検定が始まる1年前の平成18年の初め、九州では福岡県の「博多っ子検定」がスタートしており、熊本商工会議所では、この検定が地域活性化に役立っているとの情報を得ていた。同じ頃、熊本商工会議所では、民間でも地域振興に役立てる事業を実施したいと考えており、観光振興委員会においてその手法を検討していた。当時、熊本では、平成19年に築城400年を迎えた熊本城を舞台に「熊本城築城400年祭」の開催や平成23年の九州新幹線の全線開通が予定されており、全国からの観光客の増加を期待していた。そこで、熊本を訪れる観光客へのおもてなしに役立てることを目的に熊本に関するご当地検定を実施すべきとなり、本格的な調査・検討が始まったものである。

約1年間の調査・検討を経た平成19年2月に第1回の熊本・観光文化検定が実施された。第1回については、熊本会場と天草会場の2ヶ所で開催され、3級のみの実施であったが、受験者数2,523人、合格者2,345人（合格率92.9%）と大盛況であった。

## 2　検定の運営

### （1）問題の作成

公式テキストの編集・製作は、民間企業の編集者に委託している。検定問題も熊本県に造詣が深く、豊富な知識を持ったその編集者が素案を作成し、これをもとに主催者が調整している。問題を作成するのにあたり、最も気を付けたのは、問題の難易度である。簿記検定のような資格試験とは異なり、ご当地検定は生涯学習的な要素が高いものであるため、落とすための試験とするのは好ましくないと主催者は考えた。また、簡単すぎても検定としての価値が下がると考えている。なお、作成期間はおよそ1ヶ月半もかかるのだと言う。




公式テキストブック

### （2）実施結果

このようにスタートした熊本・観光文化検定の受験者や合格者の詳細は次のとおりである。

区分:1級

| 実施日 | 実施回 | 受験者数(人) | 合格者数(人) | 合格率(%) | 合格基準 |
|---|---|---|---|---|---|
| H19.2 | − | − | − | − | − |
| H19.9 | − | − | − | − | − |
| H20.2 | 第1回 | 207 | 201 | 97.1 | 正解率80%以上 |
| H20.9 | 第2回 | 142 | 34 | 23.9 | 〃 |
| 合計 | | 349 | 235 | 67.3 | |

区分:2級

| 実施日 | 実施回 | 受験者数(人) | 合格者数(人) | 合格率(%) | 合格基準 |
|---|---|---|---|---|---|
| H19.2 | − | − | − | − | − |
| H19.9 | 第1回 | 1,027 | 339 | 33.0 | 正解率80%以上 |
| H20.2 | 第2回 | 445 | 279 | 62.7 | 〃 |
| H20.9 | 第3回 | 163 | 53 | 32.5 | 〃 |
| 合計 | | 1,635 | 671 | 41.0 | |

区分:3級

| 実施日 | 実施回 | 受験者数(人) | 合格者数(人) | 合格率(%) | 合格基準 |
|---|---|---|---|---|---|
| H19.2 | 第1回 | 2,523 | 2,345 | 92.9 | 正解率70%以上 |
| H19.9 | 第2回 | 980 | 678 | 69.2 | 〃 |
| H20.2 | 第3回 | 206 | 143 | 69.4 | 〃 |
| H20.9 | 第4回 | 184 | 75 | 40.8 | 〃 |
| 合計 | | 3,893 | 3,241 | 83.3 | |

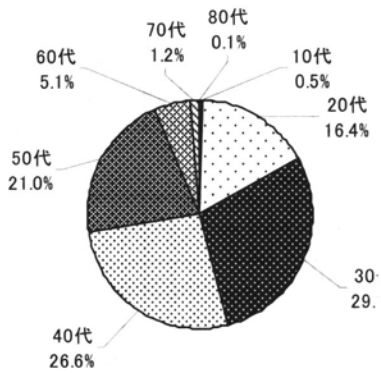
| 合計 | 5,877 | 4,147 | 70.6 | − |
|---|---|---|---|---|

検定がスタートした平成19年2月には、3級だけであった。2級は同年9月に始め、1級は平成20年2月からである。これは、段階を踏まえ受験してもらうために、計画的に行ったものである。なお、2級からの受験、2級及び3級の同日受験は可能としているが、1級については、2級合格者のみを受験資格者としている。

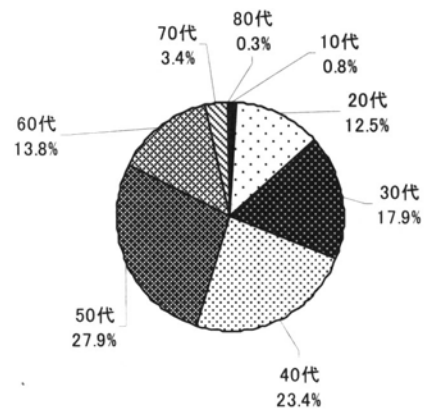
平成19年2月の3級受験者は、受験者数も多く、合格率も高い。これは、検定の初回ということもあり、受験者の関心の高さや、意気込みが表れているものと思われる。そして、平成19年9月については、3級の受験者は減少したが、それでも980名と関心の高さがうかがえる。しかし、合格率が、69.2%と大きく低下している。同日に行われた、2級についても合格率は33.0%となっており、かなり受験者は苦戦している。これは、初回の3級の合格率の高さから、受験者が検定の合格を安易に考えていたのではないかと主催者では考えているという。また、平成20年2月に初めて実施された1級の検定の合格率が97.1%と高くなっているのは、初回から高い関心をもって検定に臨んでいた方々が受験資格を有していたからであったのではないかと考えているという。平成20年9月については、1級、2級、3級と全て合格率は低いが、これは、問題のマンネリ化を防ぐために、大きく問題の内容を見直したためだ。

受験者数については、毎年減少傾向にある。これは、全国のご当地検定に言えることである。初回と 2 回目までは、関心の高さや、日程の都合で初回に受験できなかった人がいたため、受験者数は比較的多いが、3 回目以降になると、当初から関心の高い人は既に合格しているため、受験者が減少していく傾向がみられる。

次に申込者の年代別構成比についてである。




平成 19 年 2 月開催
※最年少 11 歳　最年長 82 歳




平成 20 年 2 月開催
※最年少 19 歳　最年長 83 歳

初回の平成 19 年 2 月開催と平成 20 年 2 月開催の年代別構成比をみると、両者とも 30 代～50 代が大きな割合を占めている。大きく変わったところはないが、60 代が 5.1%から 13.8%へ、50 代が 21.0%から 27.9%と増加傾向にある。

最後に申込者の男女の構成比についてである。

| 性別 | 平成 19 年 2 月 | 平成 19 年 9 月 | 平成 20 年 2 月 | 平成 20 年 9 月 |
|---|---|---|---|---|
| 男性 | 1,889 人 | 1,462 人 | 656 人 | 335 人 |
| | 70.4% | 67.0% | 70.2% | 62.4% |
| 女性 | 794 人 | 720 人 | 279 人 | 202 人 |
| | 29.6% | 33.0% | 29.8% | 37.6% |

男女別構成比は、初回から男性が約 70%、女性が約 30%である。。

## 3．検定の今後

受験者数は年々減少する傾向にあるが、合格者は約 4,100 人（延べ人数）と多数おり、当初の目的である築城 400 年を迎えた熊本城や平成 23 年の九州新幹線の全線開通による観

光客へのもてなしの向上のための役割は十分に果たしている。

県内での知名度も高くなり、地元のＦＭ局が地域活性化のイベントとして行っている「クイズラリー」の問題に、熊本・観光文化検定で過去に出題された問題を活用するなど、タイアップを図っている。また、「今後、更に上級の検定を受験したい」「故郷の見識を深め故郷に対する愛情や誇りを持てた」「合格したので地域振興の役に立ちたい」などの合格者の声も多く寄せられている。

このように、熊本・観光文化検定は、当初見込んでいた効果以上のものは、一定程度あげられたと考えることができる。一方で、今後も継続して実施していくためには、課題も多い。一番の課題は、受験者数である。前述のとおり、受験者数は減少傾向にあるため、主催者としては、その対策は必要なものと考えている。主催者が地域経済総合団体という商工会議所の特色を生かし、地元企業への一層の働きかけをするとともに、県内でも、都市ベースで今後、新たに検定を実施する動きもあるため、広報活動など何らかの連携をしていくことや10代の受験者が少ないこともあり、新たな受験者を獲得するに、学生の受験者を増やすことも一手であると考えているという。また、商工会議所が主催し、実施している検定でもあり、簿記検定などと同等の社会的な評価を高めていきたいとも考えている。

# 第３章　地域の魅力を発信するご当地検定

# 第３章　地域の魅力を発信するご当地検定

## 1　ご当地検定について

いま、多くの地域で「ご当地検定」が行われている。そもそも「検定」というのは、特定の資格に必要な技術や学力の検査をして、その合否や等級を認定すること。この定義ではご当地検定も合致している。しかし、その目的を考えたとき、ご当地検定は通常の検定とは異なっている。つまり、ご当地検定の目的は以下の６つが考えられる。

1.　地域の認識度向上
2.　地域や地域資源（産業・特産品）のＰＲ
3.　地域への愛着や誇りの再認識
4.　地域の歴史・文化の伝承
5.　地域のホスピタリティの向上
6.　観光振興等に係る人材育成

一般的な検定は、ある業務等に必要な知識や技術を身につけているかを検査するもの、すなわち上記の 5. 地域のホスピタリティの向上が中心である。ところがご当地検定の場合は、その他に５つもの目的を持っている。特に 1. 地域の認識度向上や 6. 地域や地域資源のＰＲなどは、ご当地検定にしかない特別な目的といえるだろう。

つまり、通常の検定は受験者の学力を評価し、振り分けることが目的であるのに対して、ご当地検定というのは、合格者と不合格者を切り分けることではなく、検定によってその地域資源に対して興味を持ってもらうことを主眼としているのだ。それがご当地検定と、従来からある資格を与えることを目的としている検定との違いである。

## 2　検定で地域の魅力を伝える

ご当地検定の出題のテーマになっているものは、その地域に関する歴史や技術、人物、エピソードなどが多い。これらを出題することで、受験者に認識度を高めてもらおうという狙いだ。

受験慣れした消費者にとっては、「検定」という言葉に知的好奇心がくすぐられ、そこに興味が沸く。アンケート調査の結果で、「地域の認識度向上」を目的に実施する検定のうち効果があったと実感している検定が 78.9%に上ることからも、この意図は多くの地域で達成できているようだ。さらに、「検定を実施した効果」と「今後の方向性」の因果関係をみると、「地域の認識度向上」に効果があったとした検定は、今後の検定の方向性として、「新たな企画、開発は行わず、既存の検定のさらなる発展、活性化を目指す」とするものが多く、検定そのものの継続化が見込まれているという傾向もみられた。

認識度を向上させるために、受験者用のガイドブック（参考書）を発行するなどの工夫も見られる。事例調査を実施したすべての検定に、公式テキストブックや予想問題集など、参考となるものがあった。

それらを通して、受験者はご当地検定の出題の対象となった観光資源や、あるいはその地域にある資源（産業や特産品など）に対して理解度を高めることになる。さらに、地元新聞やタウン誌、地域密着型のローカルマスコミであるコミュニティＦＭを利用している「小田原まちあるき検定」のようにテレビや新聞、雑誌、インターネットなどのメディアで検定が紹介されることにより、受験者以外にもその地域のＰＲ効果が生まれることが期待される。

しかし、検定自体が興味を引いたとしても、その対象となっているものへの興味・理解が深まらなければ目的を達成したとはいえない。ご当地検定のブームがあるだけに、テーマさえ良ければ受験生はそれなりに集まる可能性はある。しかし、重要なのは受験者が検定を通して、その地域への興味を深め、心の豊かさと娯楽性を感じることだ。参加者本位に立ち、「どうしたら喜んでもらえるか」を念頭に活動している「小田原まちあるき検定」は、良い例ではないだろうか。

また、幅広い年代、大人の層にもふるさとを学んでもらい、誇りと自信を持ってもらうというところに力点を置いている「金沢検定」のように、ご当地検定の場合は、検定がゴールではなく、それがきっかけとなって、地域そのものや、その地域の様々な地域資源に対して興味を持つことが目的だろう。そうした工夫をすることも重要なのではないだろうか。

### ３　地域住民への効果も大きい

ご当地検定は地域内の住民の意識を高めるための効果も高い。これは、アンケート調査の結果で、「地域への愛着や誇りの再認識」を目的に実施している検定のうち効果があったと実感している検定が 72.4%であったことからもうかがい知ることができる。しかし、もっとも効果があるのは、実は受験者ではなくそれを運営する人々であるということだ。つまり、検定を実施するにあたり、その設問を考える際に、その担当者や関係者はその対象となっているものについて徹底的に知ることが必要になる。

歴史を紐解き、現地で徹底的に調べる。中には調べた結果を公式ガイドブックと称して一冊の本にして出版する。検定を行って受験者の興味を引く前に、自分たちがその資源に対して興味を抱くことが必要条件になる。「津山まつり・だんじり検定」のように、検定問題の作成を通して祭の歴史を学び、これをきっかけに町全体の歴史を知りたいと思う高校生が増えたということも面白いのではないか。

今回の調査の対象としたご当地検定のほかにも、インターネットで個人が企画した検定が数多く存在している。それは出題者自身がもっとも得意な分野に対して、それをクイズ形式にして公表するものだ。出題することによる楽しさ、出題によって多くの人が興味を持ってもらい、その知識を受験者と共有することによる喜びを出題者自身が感じているわけだ。

つまり、ご当地検定とは出題者と受験者とが共通の情報や知識を持つことにより、お互いが満足するものなのだ。

ご当地検定のもうひとつ大きな効果は、地域に関する歴史や文化の伝承という面である。かつては年長者が若者に対して、様々な情報を伝えてきた。年長者が語り部となり、歴史や魅力を伝えてきたわけだ。こうして歴史は伝えられ、知識が伝承されてきた。

ご当地検定は、形は変われども、歴史や文化などの地域の魅力を伝えるためのコミュニケーション手段となっているという面もある。

## 4　ご当地検定の課題

このように、ご当地検定には多くの効果が期待される一方で、アンケート調査の結果や事例調査から検定の現状を分析すると、実施者にはその実施や運営に当たり多くの課題も残されている。

最も多いのは、アンケート調査で 56.2%が課題とした合格者の活用方法である。人材発掘の効果がある一方で、それらを有効に活用できるような仕組みが構築できていない場合が多い。何百人もの合格者が誕生したときに、その合格者を組織化し、活用することは容易なことではない。しかし、ご当地検定が持続的な活動となり、地域の活性化につながるものとするためには、合格者の活用の検討は不可欠な要素となるだろう。

51%が課題とした検定のＰＲ方法や 32.7%が課題とした受験者数に対しての悩みも比較的多いようだ。第１回目の検定は話題性も合って多くの受験者を集めたが、２回目、３回目と回を追うごとに受験者数が低迷してしまうというケースも少なくない。その原因を「広告・宣伝不足」と言い切る担当者もいるようだが、広告や宣伝を行ってもなかなか受験者が増えないケースもある。これは検定が単なる話題性だけになってしまっているということではないだろうか。受験する楽しさ、テーマの魅力、そして受験後のフォロー、これらがなければ検定は持続的な人気を保つことはできない。

また、「運営上の課題」と「今後の方向性」の因果関係をみると、「問題作成が負担」としている検定は、今後の検定の方向性として、「新たな企画、開発は行わず、既存の検定のさらなる発展、活性化を目指す」ではなく、「既存の検定の中止、廃止を検討している」とするものが多いという傾向がみえてくる。

## 5　検定を運営するに当たって留意すべきこと

全国のご当地検定が抱える課題を考察すると、検定を上手に運営・管理し、地域活性化に貢献するためには４つのポイントがあることがわかる。

１つ目が、目的を明確にすることだ。検定の実施目的としては「１　ご当地検定について」で紹介したように、主に 6 つがある。周囲からの要望に対して、妥当な意見は取り入れる

が、検定の本質に関わる部分では毅然とした対応も取るとしている「函館歴史文化観光検定（はこだて検定）」や実施目的を観光客へのもてなしの向上と明確にしている「熊本・観光文化検定」のように、検定を行う上で、何を主目的とするのかを明確にした上で、運営の方針や目標を定めることが重要である。

まだスタートして間もない検定の場合は、特に一過性のブームに終わらせず、地域の活性化に寄与するためには、なぜ検定を実施するのかといった検定の目的や合格者の活用方法などをもう一度きちんと見直して、そして周囲の関係者を巻き込んでいくことが必要であると考えられる。

2つ目が、伝達手段を考えることだ。検定の認識度向上や集客を、広告や宣伝に依存しすぎると費用がかかり、また費用が削減した瞬間に集客力がなくなってしまう。「はこだて検定」や「明石・タコ検定」のように、広告を出すのではなく、記事として掲載されるように工夫するほか、ホームページや広報媒体、そして口コミやブログ（インターネット上での日記）などをうまく活用して、小さな予算で、かつ継続的な手段を活用することが重要である。このためには、主催者以外の外部の方々、例えばマスコミ関係者や、高校生等のボランティアといった方々を巻き込んで、魅力を日ごろの広報活動や住民活動を通じてＰＲしていくことが重要である。

3つ目が、持続的な取り組みとなるような仕組みを作ることだ。受験者の減少対策としては、合格者に明確な特権を与えることであり、「はこだて検定」のように受験料の割引や合格カードに合格回数を表示し顕彰する「合格回数積算表示制度」を創設すること、「金沢検定」のように市内の企業に団体受験を働きかけるなども有効ではないだろうか。

また、合格者にはその地域に愛着が強く、知識も豊富な人が多く含まれる。こうした人材をその地域や業界の活性化のために活用することが出来れば、その本人にもまた地域にも大きなメリットになり得る。それが、持続的な取り組みとして成功するための近道であるだろう。

最後の 4 つ目が、地域全体の取り組みにすることだ。ご当地検定は、その地域の魅力を凝縮したもの。つまり、地元のＦＭ局が地域活性化イベントとして行う「クイズラリー」に検定問題が利用されている「熊本・観光文化検定」のように、行政や各種団体などが単独で行うのではなく、地域住民や事業者、他団体の関係者などを幅広く取り込み、地域全体の取り組みとして実施することが望ましい。

また、収支的な状況を考慮すれば、6 事例すべてで見られるように地域住民にボランティアとして協力してもらうことも必要であろう。そのためにも運営組織もこうした関係者から幅広く参加できるような構造にしておくようにしたほうが良い。

地域の中で盛り上がりがない検定に関しては、受験者の興味も半減してしまう。いかに地域全体の取り組みにするかが重要であり、これらのポイントをクリアしていくことが、ご当地検定の効果を最大限に引き出すことにつながるのだろう。

株式会社ブランド総合研究所　代表取締役社長　田中　章雄

## 6　指導教官の紹介

田中　章雄　氏

昭和34年、福井県生まれ。東京工業大学理学部を卒業後、日経ＢＰ社に入社し、雑誌記者、新雑誌の企画、新事業開発などを担当。開発部次長、調査部次長、日経BPコンサルティング調査部長、日本ブランド戦略研究所代表取締役社長などを経て、2005年11月に地域ブランドおよび企業ブランドの戦略立案、調査、PR、商品開発などに総合的に取り組む「ブランド総合研究所」を新たに設立し、代表取締役社長に就任した。

地域ブランドアドバイザー、地域中小企業サポーターのほか、地域食品ブランド確立総合検討委員会委員、知的財産と普及活動研究会委員、岐阜県、埼玉県、栃木県などのブランド戦略関連委員に就任。「地域ブランド調査」、「地域ブランドNEWS」、「地域食とものづくり総合展」などでも各地のブランド戦略をサポートしている。

2008年に地域ブランドと地域団体商標の普及促進・発展への功績が認められて知財功労賞経済産業大臣表彰を受賞した。

主な著書として「事例で学ぶ！ 地域ブランドの成功法則33」（光文社ペーパーバックス）などがある。

# 資料編

地活センター発第３５８号
平成２０年１１月１４日

（ご当地検定実施団体名）　様

財団法人地域活性化センター
理事長　石田直裕
（公印省略）

「ご当地検定」に関するアンケート調査について（依頼）

拝啓　貴団体におかれましては、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

私どもは、「活力あふれ個性豊かな地域社会を実現するため、まちづくり、地域産業おこし等、地域社会の活性化のための諸活動を支援し、地域振興の推進に寄与する」ことを目的に、すべての都道府県及び市区町村（以下、全地方公共団体という。）と多くの民間企業が会員となり、昭和60年に設立された総務省認可の財団法人です。

さて、当センターでは、毎年、地域活性化に向けた有効施策を調査研究しており、今年度は、「地域の魅力を発信するご当地検定」をテーマに、近年急激に増加し、地域振興や観光振興など様々な目的で実施され、観光案内人の育成や学校の授業教材など様々な場面で活用されているご当地検定が、真に地域活性化を推進するものとなるために必要な方法等について調査を進めているところです。

そこで、ご当地検定の運営等に関わっておられる皆様にアンケート調査へのご協力をお願いし、全国で展開されている検定の現状を把握したいと考えております。調査報告書は当センターのホームページ上で公開するとともに、全地方公共団体等へ配布し、地域の活性化の推進のために役立てていただくこととしております。

つきましては、ご多忙の折、誠に恐縮ではありますが、本調査の趣旨をご理解いただきご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた内容については、調査報告書の作成の目的でのみ利用します。

敬具

※このアンケート調査については、株式会社ブランド総合研究所に委託して実施しております。このため、調査に関するお問い合わせは当センターまたは同社までお願いします。

（実施主体）
〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4
日本橋プラザビル13階
財団法人地域活性化センター
担当：渡部
TEL　03-5202-6138
HP　http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp/

（委託先）
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-5

株式会社ブランド総合研究所
担当：関口・永野
TEL　03-3539-3011
HP　http://tiiki.jp

＜ご記入にあたっての注意事項＞

■はじめに
・このアンケート調査は、ご当地検定の実施団体を対象に実施しています。なお、実施団体とは、ご当地検定の事務局を担われている団体とさせていただきました。
・調査ならびに分析結果は、後日、ご回答いただいた団体にお送りすることとしております。また、当センターのHP「地域づくり百科」で公表するとともに全地方公共団体等へも配布いたします。
・ご回答いただいた内容については、当該調査報告書の作成の目的でのみ利用します。

■ご回答方法
・ご回答は、平成20年11月1日現在でご記入下さい。
・特に断りのない限り、該当する番号を ○ で囲んでください。
・「その他」を選ばれた場合は、（　）内に具体的内容などをご記入下さい。
　なお、（　）に書ききれない場合は、調査票の欄外や別紙を添付してください。
・日付は、すべて和暦（昭和・平成等）にて記入してください。

■調査票の返信方法
　11月26日（水）までに同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函いただくか、メールにてご回答いただきますようお願いします。（調査票は次のURLよりダウンロードいただけます。）また、よろしければ、ご当地検定の試験問題やパンフレット、チラシなどを同封いただきますようお願いします。
　なお、回答は、株式会社ブランド総合研究所宛にお願いします。

＜回答先＞
株式会社ブランド総合研究所　担当：関口・永野
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-5
TEL:03-3539-3011
E-mail：nagano@tiiki.jp

＜ご当地検定調査票ダウンロード専用URL＞
http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp/7_consult/kenkyu/chosa.html

# ご当地検定に関するアンケート

実施している検定の名称と概要、実施団体の概要について、ご記入ください。

＜検定の概要＞

| | |
|---|---|
| 検定の名称 | |
| 検定の概要 | |

＜実施団体＞

| | | |
|---|---|---|
| 実施団体名称 | | |
| 連絡先 | 住所 | |
| | Tel | |
| | Fax | |
| | E-mail | |
| ご担当者 | 役職 | |
| | 氏名 | |
| ご当地検定URL | | 左記掲載 |

※ご当地検定のURLは、当センターHPで一覧表として掲載させていただく予定としておりますので、掲載を希望されない場合は、×をご記入ください。

＜アンケート調査＞

## [検定の概要について]

問1　「昭和」か「平成」をお選びいただき、検定の開始年月をご記入ください。

昭和・平成（　　）年（　　）月から

問2　検定の実施頻度について、該当する番号をお選びいただき、具体的な実施月などをご記入ください。

1．年1回（具体的に:　　）
2．年2回（具体的に:　　）
3．年3回以上（具体的に:　　）
4．不定期（具体的に:　　）

問3　検定の受験対象者の制限について、該当する番号をお選びください。（複数回答可）

1．特になし
2．年齢要件を満たす者のみ　：（　　）歳以上・以下　、（　　）歳～（　　）歳
3．地域在住者のみ・在勤者のみ・在学者のみ
4．資格を有する者のみ　：（資格名:　　）
5．その他
（具体的に）

問4　検定の目的について、該当する番号をお選びください。（複数回答可）

1．地域の認識度向上
2．地域への愛着や誇りの再認識
3．地域の歴史・文化の伝承
4．地域のホスピタリティの向上
5．観光振興に係る人材育成
6．地域や地域資源（産業・特産品）のPR
7．その他
（具体的に）

問5　検定の難易度等による区分（上級・中級・初級等）について、該当する番号をお選びください。
また、1を選択した場合は、何区分に分かれているかもご記入ください。

1．している（　　）区分　　2．していない

問6　検定試験問題の出題形式について、該当する番号をお選びください。（複数回答可）

1．選択式
2．記述式
3．面接式
4．論文式
5．研修会等を受講すれば合格
6．その他
（具体的に）

☆問6　で1～4、6と回答された方にお伺いします。（5と回答された方のみ問8へお進みください。）

問7　過去3回以内の検定の受験者数、合格者数、合格率及び合格基準をご記入ください。
※合格基準の欄には、正解率（○○%、○問中○問）や合格者数を受験者のうち100名と定めているなどとご記入ください。
また区分（　）級のない場合は、一番上の表にご記入ください。

区分（　　）級

| 実施年月 | 実施回（第○回） | 受験者数（人） | 合格者数（人） | 合格率（%） | 合格基準 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

区分（　　）級

| 実施年月 | 実施回（第○回） | 受験者数（人） | 合格者数（人） | 合格率（%） | 合格基準 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

区分（　　）級

| 実施年月 | 実施回（第○回） | 受験者数（人） | 合格者数（人） | 合格率（%） | 合格基準 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

問8　検定の受験費用について、該当する番号をお選びください。

1．有料　　2．無料

SQ1　1．有料　を選んだ方に伺います。
検定料はいくらですか。受験級によって異なる場合はそれぞれの費用をご記入ください。

1．検定料は一律　　（　　）円
2．受験級ごとに費用は異なる　（　　）級　（　　）円
（　　）級　（　　）円
（　　）級　（　　）円

問9　検定の共催、後援、協賛団体について、該当する番号をお選びください。（複数回答可）

1．特になし
2．自治体
3．一部事務組合等
4．商工会議所等
5．観光協会等
6．NPOや住民団体等
7．民間企業
8．大学等の教育機関
9．その他
（具体的に）

[検定問題について]

問10 検定試験問題の作成に関わっている方について、該当する番号をお選びください。(複数回答可)

1．主催者
2．大学等の教育機関
3．住民等からの募集(公募)
4．民間企業(業者)への委託
5．その他
(具体的に)

問11 検定試験問題の内容について、該当する番号をお選びください。

1．毎回同じ内容である
2．一部分を年度によって変更している
3．毎回違う内容である
4．複数の内容を使い分けている
5．その他
(具体的に)

問12 検定試験の実施場所について、該当する番号をお選びください。(複数回答可)
※現地会場とは、検定内容の対象地域にある会場と定義します。

1．現地会場
2．他都市会場(都市名:　　)
3．インターネット上
4．その他
(具体的に)

問13 検定を受けるにあたって事前に準備するための問題集、参考書や受験対策として実施しているサービスがある場合は、該当する番号をお選びください。(複数回答可) また、有償の場合は、それぞれの料金を記入ください。

1．公式テキストがある　(　　円)
2．事前の公式セミナー・講習会がある　(　　円)
3．当日、現地での講習がある　(　　円)
4．通信教育課程がある　(　　円)
5．その他
(具体的に)

問14 検定の試験問題・解答の公表の有無について、それぞれ該当する番号をお選びください。

試験問題 ( 1. 公表する　2. 公表しない)
試験解答 ( 1. 公表する　2. 公表しない)

[検定合格者について]

問15 検定合格者への特典について、該当する番号をお選びください。(複数回答可)

1．認定証、カード、バッチ等の発行・配布
2．観光施設や飲食店での優待・割引や特産品や商品券等の授与
3．フォローアップセミナーや合格者懇談会などへの参加
4．資格認定されたガイドとして従事できる
5．その他
(具体的に)

SQ1 検定合格者への特典について、今後導入しようと考えていることがあれば、具体的にご記入ください。
なお、その特典が問15の1～4番のものであれば、該当する番号をご記入ください。

(具体的に)

---

---

---

---

問16 検定合格者を活用した取り組みをご記入ください。（例：観光ガイドとして活用しているなど ）

（具体的に）

---

---

---

[検定の今後について]

問17 検定を実施した効果について、問4でお選びいただいた目的ごとに効果の有無をお選びください。
また、効果を実感した具体的な内容をご記入ください。（複数回答可）

| 検定の効果（問4の項目と同じ） | 効果の有無 | 具体的な内容 |
|---|---|---|
| 1. 地域の認識度向上 | 1. 有 2. 無 | |
| 2. 地域への愛着や誇りの再認識 | 1. 有 2. 無 | |
| 3. 地域の歴史・文化の伝承 | 1. 有 2. 無 | |
| 4. 地域のホスピタリティの向上 | 1. 有 2. 無 | |
| 5. 観光振興に係る人材育成 | 1. 有 2. 無 | |
| 6. 地域や地域資源のPR | 1. 有 2. 無 | |
| 7. その他 | | |

問18 検定の運営にあたっての年間総事業費（人件費を除く。）をご記入ください。なお、金額は概算で結構です。

昭和・平成（　　）年実施分　　年間事業費（　　千円）

SQ1 事業費の財源の内訳のうち次の4つをご記入ください。なお、金額は概算で結構です。

受験料収入（　　千円）　　実施団体の負担金（　　千円）
講習会やテキスト収入（　　千円）　　共催団体等の負担金（　　千円）

問19 検定の実施や運営にあたっての問題・課題について、該当する番号をお選びください。（複数回答可）

1．運営面での人手不足
2．予算がない
3．会場の確保が困難
4．受験者数が伸び悩みや質の低下
5．合格者の活用方法
6．検定のPR手法
7．問題作成が負担
8．その他
（具体的に）

問20 今後の取り組みの方向性について、該当する番号をお選びください。

1．新たな検定の企画、開発を行っていく予定
2．新たな企画、開発は行わず、既存の検定のさらなる発展、活性化を目指す
3．これまでどおり実施していく
4．既存の検定の見直し、改革（改善）を行う
5．既存の検定の中止、廃止を検討している
6．その他
（具体的に）

問21 その他、ご当地検定の特徴的な取り組みやご意見、ご感想などございましたら、ご記入ください。

（具体的に）

---

---

---

ご協力いただきありがとうございました。

# ご当地検定一覧

| No | 検定名称 | 主催者 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 団体名 | 所在地 | |
| 1 | 札幌シティガイド検定試験 | 札幌商工会議所 | 北海道 | 札幌市 |
| 2 | 函館歴史文化観光検定 | 函館商工会議所 | 北海道 | 函館市 |
| 3 | 函館イカマイスター認定制度 | 函館水産物マイスター養成協議会 | 北海道 | 函館市 |
| 4 | おたる案内人検定試験 | 小樽観光大学校 | 北海道 | 小樽市 |
| 5 | 旭川大雪観光文化検定 | 旭川大雪観光文化検定運営協議会 | 北海道 | 旭川市 |
| 6 | 稚内観光マイスター検定 | 稚内観光マイスター推進委員会 | 北海道 | 稚内市 |
| 7 | 風蓮湖・春国岱自然バッチ検定 | 根室ワイズユースの会 | 北海道 | 根室市 |
| 8 | 「ぐるっと羊蹄まちしるべ」検定試験 | 真狩村商工会（羊蹄山麓商工会広域連携協議会） | 北海道 | 真狩村 |
| 9 | はぼろ検定 | はぼろ学講座実行委員会 | 北海道 | 羽幌町 |
| 10 | 十勝ワインバイザー認定試験 | 池田町ブドウ・ブドウ酒研究所 | 北海道 | 池田町 |
| 11 | 中標津町体験観光ガイド初級資格認定講座・試験 | 中標津町体験観光連絡協議会 | 北海道 | 中標津町 |
| 12 | あおもり検定 | 青森県商工会議所連合会 | 青森県 | 青森市 |
| 13 | 下北検定 | 下北検定実行委員会（青森県下北地域県民局） | 青森県 | 青森市 |
| 14 | 津軽ひろさき歴史文化観光検定 | 社団法人弘前観光コンベンション協会 | 青森県 | 弘前市 |
| 15 | 太宰治検定 | 特定非営利活動法人おおまち第２集客施設整備推進協議会 | 青森県 | 五所川原市 |
| 16 | 盛岡もの識り検定試験 | 盛岡商工会議所 | 岩手県 | 盛岡市 |
| 17 | みやこもてなし観光文化ひとつ星検定 | 社団法人宮古観光協会 | 岩手県 | 宮古市 |
| 18 | 奥州おもしろ学検定 | 特定非営利活動法人奥州おもしろ学 | 岩手県 | 奥州市 |
| 19 | 青葉区検定クイズラリー | 財団法人仙台ひと・まち交流財団、青葉区中央市民センター | 宮城県 | 仙台市 |
| 20 | だてな仙台検定 | だてな仙台検定運営委員会 | 宮城県 | 仙台市 |
| 21 | 宮城マスター検定 | 宮城県 | 宮城県 | 仙台市 |
| 22 | ふるさと石巻観光検定 | 石巻商工会議所 | 宮城県 | 石巻市 |
| 23 | 港まち気仙沼おもてなし検定 | 気仙沼市おもてなしのまちづくり推進協議会 | 宮城県 | 気仙沼市 |
| 24 | SHIROISHIマイスター「白石ものしり博士」検定試験 | 白石市 | 宮城県 | 白石市 |
| 25 | ナマハゲ伝導士認定試験 | 社団法人男鹿市観光協会 | 秋田県 | 男鹿市 |
| 26 | 花火鑑賞士認定試験 | 特定非営利活動法人大曲花火倶楽部 | 秋田県 | 大仙市 |
| 27 | 最上川検定 | 最上川検定実行委員会 | 山形県 | 山形市 |
| 28 | 庄内ガイドライバー認証検定 | 庄内ガイドライバー協議会 | 山形県 | 三川町 |
| 29 | ふくしま検定・福島検定Ⅱ | 株式会社テレビユー福島 | 福島県 | 福島市 |
| 30 | 会津ものしり検定 | 特定非営利活動法人会津の文化づくり | 福島県 | 会津若松市 |
| 31 | 須賀川ふるさと検定 | 特定非営利活動法人チャチャチャ21 | 福島県 | 須賀川市 |
| 32 | ふるさと日立検定 | 日立商工会議所 | 茨城県 | 日立市 |
| 33 | 常陸太田の黄門様検定 | 常陸太田の黄門様検定会 | 茨城県 | 常陸太田市 |
| 34 | 宮のもの知り達人検定 | 宮のもの知り達人検定実行委員会 | 栃木県 | 宇都宮市 |
| 35 | さいたま市けんてー | さいたま市 | 埼玉県 | さいたま市 |
| 36 | 小江戸川越検定試験 | 小江戸川越検定委員会 | 埼玉県 | 川越市 |
| 37 | ちちぶ学検定 | 秩父市・秩父商工会議所 | 埼玉県 | 秩父市 |
| 38 | のすっこ検定 | のすっこの会 | 埼玉県 | 鴻巣市 |
| 39 | 和光市検定 | 和光市職員自主研修グループ和光市検定研究会 | 埼玉県 | 和光市 |
| 40 | 吉川検定 | 吉川一店逸品カタログワーキング委員会 | 埼玉県 | 吉川市 |
| 41 | 房総（千葉）学検定 | 特定非営利活動法人ふるさと文化研究会 | 千葉県 | 千葉市 |
| 42 | JIMBOUニスト認定クイズ | 東京商工会議所千代田支部 | 東京都 | 千代田区 |
| 43 | 中央区観光検定 | 中央区観光協会 | 東京都 | 中央区 |
| 44 | 東京シティガイド検定 | 財団法人東京観光財団 | 東京都 | 文京区 |
| 45 | 知のミュージアム多摩・武蔵野検定 | 社団法人学術・文化・産業ネットーワーク多摩 | 東京都 | 立川市 |

# ご当地検定一覧

| No | 検定名称 | 主催者 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 団体名 | 所在地 | |
| 46 | かながわ検定 | かながわ検定協議会 | 神奈川県 | 横浜市 |
| 47 | 川崎産業観光検定 | 川崎商工会議所 | 神奈川県 | 川崎市 |
| 48 | 鎌倉観光文化検定 | 鎌倉商工会議所 | 神奈川県 | 鎌倉市 |
| 49 | 小田原まちあるき検定 | 小田原まちあるき検定協議会 | 神奈川県 | 小田原市 |
| 50 | ふるさと秦野検定 | 秦野市教育委員会教育研究所 | 神奈川県 | 秦野市 |
| 51 | 新潟清酒達人検定 | 新潟清酒達人検定協会 | 新潟県 | 新潟市 |
| 52 | 新潟市観光・文化検定 | 新潟市観光・文化検定実行委員会 | 新潟県 | 新潟市 |
| 53 | 上越市「謙信・兼続」検定 | 上越市「謙信・兼続」検定実行委員会 | 新潟県 | 上越市 |
| 54 | 湯沢町観光・文化検定 | 特定非営利活動法人ゆ | 新潟県 | 湯沢町 |
| 55 | 越中富山ふるさとチャレンジ | 越中富山ふるさとチャレンジ実行委員会 | 富山県 | 富山市 |
| 56 | 黒部マチヂカラ検定 | 黒部商工会議所 | 富山県 | 黒部市 |
| 57 | 射水ふるさとチャレンジ検定 | 射水市 | 富山県 | 射水市 |
| 58 | 金沢検定 | 社団法人金沢経済同友会 | 石川県 | 金沢市 |
| 59 | ジュニアかなざわ検定 | ジュニアかなざわ検定実行委員会 | 石川県 | 金沢市 |
| 60 | ふるさと七尾学検定＝七尾城検定＝ | 能登畠山家創立600年事業実行委員会 | 石川県 | 七尾市 |
| 61 | 津幡ふるさと検定 | 津幡町観光協会 | 石川県 | 津幡町 |
| 62 | 考福学検定 | 「考福学」推進協議会 | 福井県 | 福井市 |
| 63 | 敦賀みなと歴史検定 | 敦賀港みなと観光交流促進協議会 | 福井県 | 敦賀市 |
| 64 | 御食国若狭おばま検定 | 若狭おばま観光協会 | 福井県 | 小浜市 |
| 65 | 富士河口湖町公認ネイチャーガイド | 富士河口湖町 | 山梨県 | 富士河口湖町 |
| 66 | 松本検定 | 松本検定実行委員会 | 長野県 | 松本市 |
| 67 | 飯田線検定 | 東海旅客鉄道株式会社飯田支店 | 長野県 | 飯田市 |
| 68 | すわこおもてなしアカデミー検定 | 諏訪湖エリアおもてなし向上推進会議 | 長野県 | 諏訪市 |
| 69 | 飯山ふるさと検定 | 飯山市総合学習センター | 長野県 | 飯山市 |
| 70 | 御柱・原村検定 | 原村生涯学習推進委員会「御柱・原村検定」専門部会 | 長野県 | 原村 |
| 71 | 王滝検定 | 王滝村 | 長野県 | 王滝村 |
| 72 | ぎふ飛騨・美濃じまん検定 | 岐阜県 | 岐阜県 | 岐阜市 |
| 73 | 岐阜市まちなか博士認定試験 | 岐阜市 | 岐阜県 | 岐阜市 |
| 74 | 中山道中津川かいわい認定試験 | 中津川商工会議所地域認定試験実行委員会 | 岐阜県 | 中津川市 |
| 75 | 兼山歴史検定 | 可児市兼山公民館 | 岐阜県 | 可児市 |
| 76 | 下呂検定 | 下呂検定実行委員会 | 岐阜県 | 下呂市 |
| 77 | 静岡学検定 | 静岡市 | 静岡県 | 静岡市 |
| 78 | 熱海ふれあい検定 | 熱海市社会福祉協議会、第2次ふれあいのまちづくり推進会 | 静岡県 | 熱海市 |
| 79 | いただきます検定 | 富士宮市市民協働食育検定実行委員会 | 静岡県 | 富士宮市 |
| 80 | いわた検定 | いわた検定実行委員会 | 静岡県 | 磐田市 |
| 81 | やってみっか　やいづ検定 | 焼津商工会議所　女性会 | 静岡県 | 焼津市 |
| 82 | 中部9県観光検定 | 中部広域観光推進協議会 | 愛知県 | 名古屋市 |
| 83 | なごや四百年時代検定 | なごや四百年時代検定実行委員会 | 愛知県 | 名古屋市 |
| 84 | いつきてもホッ！「ほの国検定」～バスで巡る渥美半島編～ | 愛知県東三河広域観光協議会 | 愛知県 | 豊橋市 |
| 85 | おおはま検定 | チームへきなん検定 | 愛知県 | 碧南市 |
| 86 | 蒲郡観光交流おもてなしコンシェルジュ検定 | 蒲郡観光ビジョン推進委員会 | 愛知県 | 蒲郡市 |
| 87 | 田原市検定 | 田原市教育委員会、特定非営利活動法人たはら本舗 | 愛知県 | 田原市 |
| 88 | きらのまち歴史検定 | 吉良町教育委員会 | 愛知県 | 吉良町 |
| 89 | 検定『お伊勢さん』 | 伊勢商工会議所 | 三重県 | 伊勢市 |
| 90 | 桑名ふるさと検定 | 桑名ふるさと検定実行委員会 | 三重県 | 桑名市 |

# ご当地検定一覧

| No | 検定名称 | 主催者 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 団体名 | 所在地 | |
| 91 | 亀山検定 | 亀山商工会議所 | 三重県 | 亀山市 |
| 92 | 伊賀学検定 | 伊賀学検定実施委員会 | 三重県 | 伊賀市 |
| 93 | びわ湖検定 | びわ湖検定実行委員会 | 滋賀県 | 大津市 |
| 94 | 歴史の道　東海道検定 | 特定非営利活動法人歴史の道東海道宿駅会議 | 滋賀県 | 甲賀市 |
| 95 | 花と観音の里歴史文化検定試験 | 特定非営利活動法人花と観音の里 | 滋賀県 | 高月町 |
| 96 | 京町家検定 | 株式会社八清京町家検定委員会 | 京都府 | 京都市 |
| 97 | 京都・観光文化検定試験 | 京都商工会議所 | 京都府 | 京都市 |
| 98 | 京野菜検定 | 社団法人京のふるさと産品価格流通安定協会 | 京都府 | 京都市 |
| 99 | 大江山鬼検定 | 世界鬼学会 | 京都府 | 福知山市 |
| 100 | かめおか・ふるさと検定 | かめおか・ふるさと検定委員会 | 京都府 | 亀岡市 |
| 101 | 北京都丹後ふるさと検定 | 丹後広域観光キャンペーン協議会 | 京都府 | 京丹後市 |
| 102 | 大阪検定（仮称） | 大阪商工会議所 | 大阪府 | 大阪市 |
| 103 | Sakai検定、Kids Sakai検定 | 内川・土居川まつり実行委員会 | 大阪府 | 堺市 |
| 104 | 池田学検定 | 池田市、池田市教育委員会 | 大阪府 | 池田市 |
| 105 | だいとう検定 | 特定非営利活動法人大東夢づくりコミュニティ | 大阪府 | 大東市 |
| 106 | 古市古墳群検定 | フィールドミュージアムトーク史遊会 | 大阪府 | 羽曳野市 |
| 107 | せっつ検定 | 摂津異業種交流研究会 | 大阪府 | 摂津市 |
| 108 | さやま検定 | 狭山池まつり実行委員会「さやま検定委員会」 | 大阪府 | 大阪狭山市 |
| 109 | 神戸学検定 | 神戸商工会議所 | 兵庫県 | 神戸市 |
| 110 | 龍馬検定・神戸編 | 神戸高知県人土陽会 | 兵庫県 | 神戸市 |
| 111 | 姫路観光文化検定試験 | 姫路商工会議所 | 兵庫県 | 姫路市 |
| 112 | 明石・タコ検定 | 明石・タコ検定委員会 | 兵庫県 | 明石市 |
| 113 | 西宮検定 | 西宮市、関西学院大学、西宮検定学生実行委員会 | 兵庫県 | 西宮市 |
| 114 | 芦屋検定 | 芦屋市商工会 | 兵庫県 | 芦屋市 |
| 115 | いたみ学検定試験 | 伊丹商工会議所 | 兵庫県 | 伊丹市 |
| 116 | 但馬検定 | 財団法人但馬ふるさとづくり協会 | 兵庫県 | 豊岡市 |
| 117 | かこがわ検定 | 加古川観光協会 | 兵庫県 | 加古川市 |
| 118 | にしわき15（いちご）検定 | 西脇市教育委員会 | 兵庫県 | 西脇市 |
| 119 | おの検定 | 小野市教育委員会 | 兵庫県 | 小野市 |
| 120 | 三田米ミニ検定 | さんだ農業まつり実行委員会 | 兵庫県 | 三田市 |
| 121 | うりぼう師範検定 | 篠山市教育委員会 | 兵庫県 | 篠山市 |
| 122 | 丹波篠山黒まめ検定 | 丹波篠山黒まめ検定委員会 | 兵庫県 | 篠山市 |
| 123 | 丹波市検定 | 丹波市商工会青年部 | 兵庫県 | 丹波市 |
| 124 | 香住！カニ検定 | 香住！カニ検定実行委員会 | 兵庫県 | 香美町 |
| 125 | 奈良まほろばソムリエ検定 | 奈良商工会議所 | 奈良県 | 奈良市 |
| 126 | 紀州みなべ検定 | 紀州みなべ検定実行委員会 | 和歌山県 | みなべ町 |
| 127 | 日本ナシ検定 | 特定非営利活動法人よなご知財活用支援センター | 鳥取県 | 米子市 |
| 128 | 境港妖怪検定 | 境港商工会議所、境港市観光協会 | 鳥取県 | 境港市 |
| 129 | 岡山文化観光検定試験 | 岡山商工会議所 | 岡山県 | 岡山市 |
| 130 | 津山まつり・だんじり検定 | 津山だんじり保存会館 | 岡山県 | 岡山市 |
| 131 | 検定－晴れの国おかやまの食－ | 岡山県食の安全・食育推進協議会、岡山県 | 岡山県 | 岡山市 |
| 132 | 倉敷検定 | ネイティブ倉敷実行委員会 | 岡山県 | 倉敷市 |
| 133 | まにわっこ検定「まに★けん」 | 真庭市 | 岡山県 | 真庭市 |
| 134 | 「ひろしま通」認定試験 | 「ひろしま通」認定試験実行委員会 | 広島県 | 広島市 |
| 135 | 尾道検定 | 広島県立尾道商業高等学校 | 広島県 | 尾道市 |

# ご当地検定一覧

| No | 検定名称 | 主催者 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 団体名 | 所在地 | |
| 136 | 福山知っとる検定 | 福山知っとる検定実行委員会 | 広島県 | 福山市 |
| 137 | 宮島検定 | 廿日市商工会議所 | 広島県 | 廿日市市 |
| 138 | 太田川通検定大会 | 安芸太田町 | 広島県 | 安芸太田町 |
| 139 | やまぐち歴史・文化・自然検定 | 山口商工会議所やまぐち歴史・文化・自然検定実行委員会 | 山口県 | 山口市 |
| 140 | 萩ものしり博士検定 | 萩ものしり博士検定実行委員会 | 山口県 | 萩市 |
| 141 | ほら吹き検定 | 上勝自然体験学習研究会 | 徳島県 | 上勝町 |
| 142 | 山彦認定士試験 | 上勝自然体験学習研究会 | 徳島県 | 上勝町 |
| 143 | 小豆島オリーブ検定 | オリーブ植栽100周年記念事業実行委員会 | 香川県 | 小豆島町 |
| 144 | 四国鉄道ぽっぽや検定 | 「四国鉄道ぽっぽや検定」実行委員会 | 愛媛県 | 松山市 |
| 145 | 松山観光文化コンシェルジェ検定 | 松山商工会議所 | 愛媛県 | 松山市 |
| 146 | いまばり博士 | 今治商工会議所 | 愛媛県 | 今治市 |
| 147 | タオルソムリエ資格試験 | 今治商工会議所 | 愛媛県 | 今治市 |
| 148 | とっておきの新居浜検定 | 新居浜検定事業運営協議会 | 愛媛県 | 新居浜市 |
| 149 | 山内資料館江戸時代検定 | 財団法人土佐山内家宝物資料館 | 高知県 | 高知市 |
| 150 | 北九州市環境首都検定 | 北九州市 | 福岡県 | 北九州市 |
| 151 | 九州観光マスター検定 | 福岡商工会議所 | 福岡県 | 福岡市 |
| 152 | ほとめき人検定 | 財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会 | 福岡県 | 久留米市 |
| 153 | 太宰府検定問題 | 財団法人古都大宰府保存協会 | 福岡県 | 太宰府市 |
| 154 | 伊都検定 | 前原市 | 福岡県 | 前原市 |
| 155 | 唐津・呼子イカ検定 | 唐津・呼子イカ検定実行委員会 | 佐賀県 | 唐津市 |
| 156 | 伊万里市歴史と文化のコンシェルジェ検定 | 伊万里を感じる街並みづくり実行委員会 | 佐賀県 | 伊万里市 |
| 157 | 有工ふるさと検定 | 佐賀県立有田工業高等学校 | 佐賀県 | 有田町 |
| 158 | 長崎歴史文化観光検定 | 長崎商工会議所 | 長崎県 | 長崎市 |
| 159 | ながよ検定 | 長与町教育委員会 | 長崎県 | 長与町 |
| 160 | 熊本・観光文化検定 | 熊本商工会議所 | 熊本県 | 熊本市 |
| 161 | みやざき観光・文化検定 | 宮崎商工会議所 | 宮崎県 | 宮崎市 |
| 162 | かどがわクイズ | 門川町 | 宮崎県 | 門川町 |
| 163 | 高千穂観光ガイド検定 | 高千穂町観光協会 | 宮崎県 | 高千穂町 |
| 164 | かごしま検定～鹿児島観光・文化検定 | 鹿児島商工会議所 | 鹿児島県 | 鹿児島市 |
| 165 | 奄美大島検定 | 奄美大島体験受入連絡協議会 | 鹿児島県 | 奄美市 |
| 166 | ぱいぬ島検定ひんぷん級 | 竹富町観光協会 | 沖縄県 | 石垣市 |

1 検定名 札幌シティガイド検定試験 検定URL http://www.sapporo-cci.or.jp/info/20041029kanko.html
実施団体名 札幌商工会議所 住所 北海道札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済ｾﾝﾀｰﾋﾞﾙ

札幌のことを多くの方々が学び、観光で訪れた人々や、未来を担う子供達にその魅力を伝えるための検定。札幌の歴史や文化、自然環境や観光名所などを総合的に学ぶことで、札幌の魅力を自信を持って案内できる人材育成を目指す。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成16年10月

共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 1,890円

事前の公式セミナー・講習会 8,400円

自治体 観光協会 民間企業 教育機関

2 検定名 函館歴史文化観光検定 検定URL http://www.hakodate.cci.or.jp/
実施団体名 函館商工会議所 住所 北海道函館市若松町15-7-61

街への愛着や誇りを再認識し、函館の魅力を全国の方々へおもてなしの心をもって紹介できる人材を育成。
特色 1)割引制度の種類を多く用意 2)「合格回数積算表示制度」を実施、リピーターを一定規模確保。
3)市立高校1年生の郷土学講座(必修科目)の集大成として当試験を採用。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年3月

共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 2,100円

自治体 観光協会

3 検定名 函館イカマイスター認定制度 検定URL http://www.hakodate.cci.or.jp
実施団体名 函館水産物マイスター養成協議会 住所 北海道函館市若松町15-7-61函館商工会議所

函館の代表的な水産物で、「市の魚」でもあるイカについて熟知する「函館イカマイスター」を養成、認定することで、食育、魚食普及、また地域ブランドの強化とPRに努め、正しいイカの理解と消費を促進し、函館の水産業，流通加工業，魚介類小売業および観光業の活性化と地域の振興に貢献しようというもの。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年1月

共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 無料

事前の公式セミナー・講習会 無料

自治体 商工会議所 その他

4 検定名 おたる案内人検定試験 検定URL http://www.otaru-kd.com
実施団体名 小樽観光大学校 住所 北海道小樽市色内1丁目6番32号 小樽商工会議所内

各地で実施されている「観光ガイド検定試験」の枠を超えたものであり、「ひとづくり」はもとより「まちづくり」や「地域を誇る文化の醸成」を組み込んだプログラムで、小樽に対する幅広い知識を有した地域に誇りを抱く市民や産業人の育成を目指していくもの。1級は5講座受験が条件、マイスター級は1級取得者が条件と本格的。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年1月

共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 2,100円

事前の公式セミナー・講習会 5,000円 (2級用 任意)

事前の公式セミナー・講習会 15,000円 (ﾏｲｽﾀｰ用、1級、全5回 必須)

通信教育課程 20,290円

自治体 観光協会 民間企業 教育機関

5 検定名 旭川大雪観光文化検定 検定URL
実施団体名 旭川大雪観光文化検定運営協議会 住所 北海道旭川市常盤通1丁目 旭川商工会議所内

旭川地域の魅力度を高める決定的役割を担うのは、地域住民一人一人であると考え、旭川と大雪圏域の魅力を自信を持って案内できる人材の育成を目指すことを目的に創設。旭川・大雪圏域を総合的に学ぶことで、おもてなしの心を磨き、観光都市として発展を目指す。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成21年3月

共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 2,100円

事前の公式セミナー・講習会 5,000円

自治体 観光協会 教育機関 その他

6 検定名 稚内観光マイスター検定 検定URL http://www.city.wakkanai.hokkaido.jp/section/main/suisan.kanko/meistar-top.htm
実施団体名 稚内観光マイスター推進委員会 住所 北海道稚内市中央3丁目13番15号

稚内市民一人一人に「わが町を知る」ための学習機会を提供するとともに、稚内の街に誇りを持ち、胸を張って「わが町を語る」ガイド役となってもらうために、稚内が認める「ガイドの達人」として認証、登録し、稚内観光振興に寄与するための制度として位置づける。

〈検定概要〉

検定開始年月 平成19年3月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 検定料に含む
商工会議所 観光協会
事前の公式セミナー・講習会 無料

7 検定名 風蓮湖・春国岱自然バッチ検定 検定URL
実施団体名 根室ワイズユースの会 住所 ー

風蓮湖、春国岱の自然に関する知識や認識の習熟度・理解度について試験を実施し、正解率に応じ、上級、中級、初級にランク付けしバッチを交付する。

〈検定概要〉

検定開始年月 平成18年10月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 当日現地講習 その他
その他

8 検定名 「ぐるっと羊蹄まちしるべ」検定試験 検定URL http://www.36guide-ikusei.net/
実施団体名 真狩村商工会(羊蹄山麓商工会広域連携協議会) 住所 北海道虻田郡真狩村字真狩35番地

羊蹄山麓の歴史や自然、文化、産業のほか、各地のイベントなどの知識を持った観光ガイド育成を目指す。より知識を高めるため次年度以降は上級試験も実施。

〈検定概要〉

検定開始年月 平成19年12月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 無料
自治体 商工会議所 観光協会 NPOなど
事前の公式セミナー・講習会 1,000円(中級用)
民間企業

9 検定名 はぼろ検定 検定URL
実施団体名 はぼろ学講座実行委員会 住所 北海道苫前郡羽幌町北4条2丁目

羽幌の魅力を紹介できる人材育成が目的。北海道じゃらん編集長による特別講座からはじまったはぼろ学講座。その卒業試験として行われている。合格者は「はぼろガイド」として観光協会に登録され、研修を重ねた後、観光バスなどの要請により有料でガイドを行うことができる。

〈検定概要〉

検定開始年月 平成19年3月
共催・協力・協賛団体
事前準備 事前公式セミナー・講習会
特になし

10 検定名 十勝ワインバイザー認定試験 検定URL http://www.tokachi-wine.com
実施団体名 池田町ブドウ・ブドウ酒研究所 住所 北海道中川郡池田町字清見83番地

国内のワインメーカーとして初めて独自に認定するワインの呼称資格。本資格はあくまで十勝ワインに限定した有識者のための資格。合格者は各種イベント手伝い、共催、協賛ワイン会への参加、新商品開発に伴う企画の提供、ラベルコンペの参加などができる。

〈検定概要〉

検定開始年月 平成16年11月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 当日現地講習
特になし

11 検定名 中標津町体験観光ガイド初級資格認定講座・試験 検定URL
実施団体名 中標津町体験観光連絡協議会 住所 北海道標津郡中標津町丸山2-22(中標津町役場経済振興課内)

平成20年2月に第一回が実施され、合格者は現在研修中。一部個人的にNPO団体としてガイド業務を行なっているものもいる。内容は「1.概論」「2.なかしべつ学／北海道学」「3.ガイド技術」「4.自然」「5.景観／格子状防風林」「6.リスク」。

〈検定概要〉

検定開始年月 平成20年2月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 4,000円
自治体 観光協会
当日現地講習 1,000円

12 検定名 あおもり検定 検定URL http://www.acci.or.jp/kentei/
実施団体名 青森県商工会議所連合会 住所 青森県青森市橋本2-2-17

多分野にわたり、青森通を認定する検定試験。観光関連事業者をはじめ、県民ひとりひとりが青森県の魅力を再認識していただき、本県を訪れるお客様に「もてなしの心」を持って、本県の魅力を積極的に伝えられる人材の育成と、青森を正しく理解し、次世代に語り継いでいくことを目的に実施。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年8月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 1,785円 商工会議所 民間企業
事前の公式セミナー・講習会 無料(講座), 1500円(セミナー)

13 検定名 下北検定 検定URL http://shimokita-karuta.cocolog-nifty.com/
実施団体名 下北検定実行委員会(青森県下北地域県民局) 住所 青森県青森市中央1-1-8

「下北カルタ」を教材とした「下北検定」。下北の歴史・文化・自然などの魅力をかるたにしたもの。合格者は観光ガイドとしての活用も検討されている。合格率は35%と難易度高め。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年2月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 自治体 商工会議所

14 検定名 津軽ひろさき歴史文化観光検定 検定URL http://www.hirosaki.co.jp/
実施団体名 社団法人弘前観光コンベンション協会 住所 青森県弘前市下白銀町2-1

弘前を中心とした周辺地域に関する歴史・文化・産業・地理・人々の暮らしなどの学習を通じて地域に対する愛着や誇りを再認識、再発見するとともに弘前の魅力を全国に発信することのできる人材を育成することを目的に実施している。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年3月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 自治体 商工会議所 NPOなど 民間企業
教育機関

15 検定名 太宰治検定 検定URL http://www.oomachidai2.com
実施団体名 特定非営利活動法人おおまち第2集客施設整備推進協議会 住所 青森県五所川原市大町15番地

太宰治を通して、当地出身の大作家太宰治の作品をより多くの方々に読んでいただくこと。また、太宰治に関わる人物、土地、エピソードなどを知ることにより津軽への郷土愛をはぐくむとともに、多くの方々人この地を訪れていただくことを目的とする。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成21年6月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト (H21.1発売予定) 自治体 NPOなど
事前の公式セミナー・講習会 (H21.5発売予定) その他

16 検定名 盛岡もの識り検定試験 検定URL http://www.ccimorioka.or.jp/jinzai/moriken.html
実施団体名 盛岡商工会議所 住所 岩手県盛岡市清水町14-12

盛岡市に関する歴史、文化、産業、観光、自然、風土など多分野にわたり盛岡通度を認定する検定試験。通称『もりけん』。各級、対策講座を開催、また満点合格者に対して記念品を添えて表彰。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成18年12月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 1,800円 自治体 観光協会
事前の公式セミナー・講習会 3,500円

17 検定名 みやこもてなし観光文化ひとつ星検定
実施団体名 社団法人宮古観光協会 住所 岩手県宮古市宮町一丁目1-80

宮古市は、「もてなし交流観光都市」を宣言。「もてなし交流観光都市」宣言のまち「宮古」をつくりあげるため、市民一人一人が観光客を温かく迎え入れられるよう、知識を高め、もてなし意識を向上させること、また、市内外に宮古ファンを増やすことを目的とする。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年2月
共催・協力・協賛団体
事前準備 その他 (宮古市のものしりガイドブックより出題) 自治体

18 検定名 奥州おもしろ学検定 検定URL

実施団体名 特定非営利活動法人奥州おもしろ学 住所 岩手県奥州市水沢区横町2−1 メイプル内

H18年、2市2町1村が合併し奥州市となったことから市全域にわたる歴史、文化、芸術などについて市民が幅広く新市を理解し郷土愛を育むことを目的とした。H18年12月に法人登記。検定に先立ち講座も開催。7割以上の合格者には、認定書のほか、国立天文台などにちなんだ星形バッジを進呈。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年2月

事前準備 公式テキスト 1,000円

事前の公式セミナー・講習会 1,050円（1回あたり）

共催・協力・協賛団体

自治体 商工会議所 観光協会 民間企業

19 検定名 青葉区検定クイズラリー 検定URL http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/aochu/index.html

実施団体名 財団法人仙台ひと・まち交流財団、青葉区中央市民センター 住所 宮城県仙台市青葉区一番町2-4

青葉区中央市民センターが募集した一般市民作成の問題を使った市民による市民のための青葉区検定クイズラリー。「青葉検定クイズラリー」でクイズを解きながら（チェックポイント）検定内容の対象地域を回る。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年8月

事前準備

共催・協力・協賛団体

商工会議所

20 検定名 だてな仙台検定 検定URL http://www.dateken.com

実施団体名 だてな仙台検定運営委員会 住所 ー

仙台に関するあらゆるジャンルから幅広く出題。当面はWeb上でのみ実施し、原則として無料。現在宮城県では仙台・宮城デスティネーションキャンペーンを実施。仙台を愛する姿勢で長く続けて行きたい。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成21年4月

事前準備 その他 （Web上で公開）

共催・協力・協賛団体

特になし

21 検定名 宮城マスター検定 検定URL http://www.pref.miyagi.jp/mm-kentei/

実施団体名 宮城県 住所 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号

県内外に宮城県について広く紹介するもの。生まれ育った地域を知って社会に出てほしいという考えから、次回より小中高校など学校での授業利用した受験を働きかける。3段階で、1級は合格率3%とかなり難問。試験方法は1級は会場試験、2級3級はWebと郵送試験の2種から選択でき、期間中いつでも受験できる。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年11月

事前準備 その他 （県発行のパンフレットを参考に）

共催・協力・協賛団体

特になし

22 検定名 ふるさと石巻観光検定 検定URL

実施団体名 石巻商工会議所 住所 宮城県石巻市立町一丁目5-17

石巻市に関する歴史・文化・産業・自然・暮らし・方言など多岐に渡り石巻の『観光通』度を認定する検定試験。実施済みの1回2回共に合格率100%。合格者には観光ボランティアへの登録呼びかけをしている。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年2月

事前準備 その他 （申込者に練習問題配布）

共催・協力・協賛団体

自治体 観光協会 民間企業

23 検定名 港まち気仙沼おもてなし検定 検定URL

実施団体名 気仙沼市おもてなしのまちづくり推進協議会 住所 宮城県気仙沼市八日町一丁目1番1号

観光振興による地域の活性化を図るため気仙沼市民をはじめ、全国の気仙沼を愛する方に港町気仙沼に関する知識を深め、気仙沼の魅力を再認識していただくとともに気仙沼を訪れたお客様へ「おもてなしの心」を持って気仙沼の魅力を紹介できる人材育成を目的に実施。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年2月

事前準備 その他 （事前に問題集と回答配布）

共催・協力・協賛団体

自治体 商工会議所 観光協会 NPOなど

24 検定名 SHIROISHIﾏｲｽﾀｰ「白石ものしり博士」検定試験 検定URL http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/section/kikaku/meister/kentei.html
実施団体名 白石市 住所 宮城県白石市大手町1番1号

検定試験実施で、市民に地元の魅力を発掘・再認識してもらい、市外在住の方に対しても白石市の魅力を広くPRすることが目的。検定は足軽編(初級)、侍大将編(中級)、家老編(上級)と難易度により3段階に区分し、受験者は足軽編から受験し、合格者のみが次の段階を受験できる。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年7月 共催・協力・協賛団体
事前準備 その他 (ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ 1,050円など) 特になし

---

25 検定名 ナマハゲ伝導士認定試験 検定URL http://www.namahage.ne.jp/ogakk/new/namahage/
実施団体名 社団法人男鹿市観光協会 住所 秋田県男鹿市船川港新浜町1-1

男鹿半島独自の文化、ナマハゲを深く知ることで内外に対して保存伝承意識の高揚とサポーター育成に繋げ男鹿の観光振興を目的として平成16年より実施。試験当日、実際に地域行事に携わる方や造詣が深い方の資料に基づく講義や現地視察を行うため、行事の本質や意味合いを正しく伝えることができる。受験者の半数が県外受験。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成16年11月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 検定料に含む 自治体 民間企業 教育機関 その他
当日現地講習 検定料に含む

---

26 検定名 花火鑑賞士認定試験 検定URL http://www.geocities.jp/omagarihanabiclub/index.html
実施団体名 特定非営利活動法人大曲花火倶楽部 住所 秋田県大仙市大曲須和町1-1-57

花火を知的にかつ楽しく鑑賞するための技術向上を図り、市民レベルでの花火の普及を目的とする。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成15年11月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 検定料に含む その他
事前の公式セミナー・講習会

---

27 検定名 最上川検定 検定URL
実施団体名 最上川検定実行委員会 住所 山形県山形市成沢西四丁目3-55

山形県の母なる川として親しまれている「最上川」。最上川の歴史や環境、舟運によりもたらした文化や治水事業の重要性について、より多くの人に知ってもらう事により関心を深め、最上川への愛着を持った方々を増やしていくためのきっかけとする。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年11月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 無料 自治体 観光協会 NPOなど

---

28 検定名 庄内ガイドライバー認証検定 検定URL http://www.mokkedano.net/guidriver/index.html
実施団体名 庄内ガイドライバー協議会 住所 山形県東田川郡三川町大字横山字袖東19-1(庄内観光ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ協会内)

県ハイヤー協会鶴岡・田川地区協議会、酒田・飽海地区協議会23社及び庄内観光コンベンション協会で組織する「庄内ガイドライバー協議会」が、協議会に所属するタクシー会社乗務員を対象として、庄内地域をガイドできるタクシードライバーを育成するために、計3回の研修を行い、第3回研修修了後に習熟度の確認として検定を実施している。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年10月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 検定料に含む 観光協会

---

29 検定名 ふくしま検定・福島検定Ⅱ 検定URL
実施団体名 株式会社テレビユー福島 住所 福島県福島市西中央1-1

福島県には歴史・文化・自然において他県に自慢できるよいものがあるにもかかわらずPR不足のためかあまり知られていない。福島県のよさを再認識するとともに、このよさを内外にPRし、「福島通」の人たちを作り、交流人口を増やすことを目的にしたテレビ番組。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年3月 共催・協力・協賛団体
事前準備 自治体 商工会議所 教育機関

30 検定名 会津ものしり検定 検定URL http://www.aizumonosiri.com
実施団体名 特定非営利活動法人会津の文化づくり 住所 福島県会津若松市門田町飯寺村西2-29

もっと会津を知ろう。誇りある会津をと全国のご当地検定に参加。会津17市町村をエリアとし、初級、中級、上級を行う。

〈検定概要〉

検定開始年月 平成18年10月
事前準備 公式テキスト 800円，2000円
事前の公式セミナー・講習会 2,000円
共催・協力・協賛団体
自治体 商工会議所 観光協会 民間企業

31 検定名 須賀川ふるさと検定 検定URL
実施団体名 特定非営利活動法人チャチャチャ21 住所 福島県須賀川市本町4番地の1

当法人が設置している「物語ボックス」の中でふるさとの「偉人」を題材とするボックスが17基ある。その17人の偉人に関する問題を50問出題、70点(35問)以上を合格とした。初級、中級、上級の3段階で構成するが、初回の今年は初級のみ実施。

〈検定概要〉

検定開始年月 平成20年11月
事前準備 公式テキスト 検定料に含む
共催・協力・協賛団体
自治体 民間企業

32 検定名 ふるさと日立検定 検定URL http://www.hitachicci.or.jp/hitachikentei/
実施団体名 日立商工会議所 住所 茨城県日立市幸町1－21－2

「ふるさと」には、きらきらと輝くものがあり、誇りをもって紹介できるたくさんの語り伝えたいものがある。「ふるさと日立検定」は、忘れかけようとしていた心を動かす手伝いをしたいと思っている。日立市の成り立ちについてのセミナーもあり。

〈検定概要〉

検定開始年月 平成20年12月
事前準備 公式テキスト 1,000円
事前の公式セミナー・講習会
共催・協力・協賛団体
自治体 観光協会

33 検定名 常陸太田の黄門様検定 検定URL http://www7b.biglobe.ne.jp/~komonsama-kentei/
実施団体名 常陸太田の黄門様検定会 住所 茨城県常陸太田市三才町470－1

常陸太田の西山荘(徳川光圀公隠棲の地)に因む、光圀公について検定を探り学ぶ。

〈検定概要〉

検定開始年月 平成20年1月
事前準備 公式テキスト (青少年200円 一般300円)
共催・協力・協賛団体
自治体 その他

34 検定名 宮のもの知り達人検定 検定URL http://www.u-cci.or.jp/monoshiri03/
実施団体名 宮のもの知り達人検定実行委員会 住所 栃木県宇都宮市旭1丁目1番5号

宇都宮についての理解を深め、身近な観光案内人として宇都宮の魅力を伝える「おもてなし力」の向上を図り、産業や観光の振興につなげることを目的とする。今年度中に小中学校へ公式テキストブックを配布し、検定への取り組みを奨励。また、合格者には観光ボランティアガイド活動への参加を呼びかけている。

〈検定概要〉

検定開始年月 平成19年8月
事前準備 公式テキスト 1,050円
共催・協力・協賛団体
自治体 商工会議所 観光協会 その他

35 検定名 さいたま市けんてー 検定URL http://saitama-kentei.com
実施団体名 さいたま市 住所 埼玉県さいたま市浦和区常盤6-4-4

さいたま市の地域資源のPRを目的として、本市に所在する鉄道博物館の開館1周年に併せ、ウェブサイトを開設。通常のご当地検定とは違い、ウェブ上で実施、ユーザーから自由に問題を投稿できる仕組み。サイトの運営については、さいたま市、さいたま商工会議所が連携して実施。

〈検定概要〉

検定開始年月 平成20年10月
事前準備 その他 (Webサイトに過去問題など公開)
共催・協力・協賛団体
商工会議所 観光協会 民間企業

36 検定名 小江戸川越検定試験 検定URL http://www.kawagoe.or.jp/koedokentei/
実施団体名 小江戸川越検定委員会 住所 埼玉県川越市仲町1-12川越商工会議所内

小江戸川越が持つ様々なジャンルの財産を継承し、「川越大好き人間」を増やしていくことを目的として実施される「川越学」の検定試験。合格者は今後何らかの形で観光振興に貢献できる人材育成を目指したい。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年2月
共催・協力・協賛団体
事前準備 その他 (ガイドブック、問題集はあるが公式ではない)
自治体 観光協会

37 検定名 ちちぶ学検定 検定URL http://www.chichibu-cci.or.jp
実施団体名 秩父市・秩父商工会議所 住所 埼玉県秩父市宮側町1番7号

ちちぶ学検定は、「ちちぶ通」を試して楽しむ「ご当地検定」。秩父の良さの再認識が目的。今後、合格者は資格認定されたガイドとして従事できることも検討。また、平成21年度に中級者向けのテキストを発行し、中級検定を行う予定。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年2月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 2,000円
自治体

38 検定名 のすっこ検定 検定URL
実施団体名 のすっこの会 住所 ー

鴻巣の歴史と今についての検定。主催者の機関紙にて回答および解説掲載、また最高点獲得者を「のすっこ博士」と認定、機関紙にて紹介。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年11月
共催・協力・協賛団体
事前準備 その他 (タウン誌掲載の情報から出題)
特になし

39 検定名 和光市検定 検定URL http://wakoken.web.fc2.com/frame.htm
実施団体名 和光市職員自主研修グループ和光市検定研究会 住所 埼玉県和光市広沢1-5和光市検定研究会

和光市の5つの魅力から出題(和光市に関すること全般)①都心に近く、交通アクセスが便利。②恵まれた自然環境。③古代から育まれてきた文化がある。④未来に続く最先端技術が生まれている。⑤和光市で活躍している人が素晴らしい。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成18年12月
共催・協力・協賛団体
事前準備 その他 (市発行の広報など)
特になし

40 検定名 吉川検定 検定URL
実施団体名 吉川一店一逸カタログワーキング委員会 住所 埼玉県吉川市吉川2-1-1

地域の情報誌で行われる検定。吉川一店一逸カタログワーキング委員会が集めた問題。難問・奇問を広く募集。答えは同誌に掲載されているため合格、受験などの基準は無い。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年11月
共催・協力・協賛団体
事前準備
自治体 商工会議所 観光協会 民間企業

41 検定名 房総(千葉)学検定 検定URL http://www.furusatobunka.jp
実施団体名 特定非営利活動法人ふるさと文化研究会 住所 千葉県千葉市中央区椿森3-6-3

地域学の確立と普及を目指す総合的検定。本格的なテキスト『房総(千葉)学検定』と『房総(千葉)学検定学習帳』の販売の拡充による経費の黒字化を目指す。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成18年7月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 各2,730円 (2冊あり)
特になし
事前の公式セミナー・講習会 11,000円

42 検定名 JIMBOUニスト認定クイズ 検定URL

実施団体名 東京商工会議所千代田支部 住所 東京都千代田区神田神保町1-11DSM神保町ビル3階

本の街・神保町に愛着を持たれ、神保町に精通している人を“JIMBOUニスト”として認定する事業。将来的には仮想コミュニティ「JIMBOU村」を設立し、“JIMBOUニスト”の方々にも村民になっていただき、遊び心満載な試みを計画している。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年11月 共催・協力・協賛団体

事前準備 なし NPOなど その他

43 検定名 中央区観光検定 検定URL http://www.chuoku-kentei.jp

実施団体名 中央区観光協会 住所 東京都中央区築地1-1-1中央区役所内7階

中央区観光協会が中央区の江戸以来培われてきた歴史や文化、まつりや伝統、次代をリードする情報など地域のことを他分野に渡って知ってもらい、今以上に関心を持ち、そして多くの方々に「中央区ファン」になってもらいたいという思いをこめて23区初となる「中央区観光検定」を実施。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成21年2月 共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 2,100円 自治体 商工会議所

44 検定名 東京シティガイド検定 検定URL http://www.tcvb.or.jp/jp/events/temp/tokyo_cityguide/cityguide.html

実施団体名 財団法人東京観光財団 住所 東京都文京区西片1-15-15 春日ビジネスセンタービル10階

東京が全国に先駆けて実施している検定。合格者は当財団とは別法人にてシティガイドクラブを結成し、ボランティアガイド等の自主活動が展開されている。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成15年11月 共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 2,200円 商工会議所

事前の公式セミナー・講習会 20,000円

45 検定名 知のミュージアム多摩・武蔵野検定 検定URL http://www.tamakentei.jp

実施団体名 社団法人学術・文化・産業ネットーワーク多摩 住所 東京都立川市柴崎町2-2-1KSビル3F

産官学連携の活動を通じて地域を知り、地域活性化につながる人材育成と地域に対する愛着と誇りを醸成していくことで「多摩・武蔵野が大好き」といえる人を一人でも多く育てるための検定試験。実施団体は多摩地区各市町の各方面からの人材を集め、多摩地区全体の活性化を目指す。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年10月 共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 2,100円 自治体 商工会議所 観光協会 民間企業

事前の公式セミナー・講習会 8,400円 教育機関

46 検定名 かながわ検定 検定URL

実施団体名 かながわ検定協議会 住所 神奈川県横浜市中区太田町2-23

テレビ神奈川、神奈川新聞社、横浜商工会議所の3者が平成18年7月に設立したかながわ検定協議会が主催。神奈川ライセンスと横浜ライセンスの2本立て。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成18年9月 共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 1,500円 自治体 観光協会 NPOなど 民間企業

事前の公式セミナー・講習会 1,000円～7,000円 教育機関

47 検定名 川崎産業観光検定 検定URL

実施団体名 川崎商工会議所 住所 神奈川県川崎市川崎区駅前本町11-2

市民および多くの人たちに川崎市の産業のもつ幅広さ、奥行きの深さ、魅力について理解を深めていただくために実施。初級試験では川崎の産業観光に関する基本的な知識を、20年度より実施する上級ではより高度で専門的な知識を問う。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年3月 共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 1,680円 自治体 観光協会 その他

事前の公式セミナー・講習会 3,150円

48 検定名 鎌倉観光文化検定 検定URL http://www.kamakura-cci.or.jp/kamaken/
実施団体名 鎌倉商工会議所 住所 神奈川県鎌倉市御成町17-29

鎌倉に関する歴史、文化、観光、自然、暮らしなど多分野にわたり知識の深さを認定し、鎌倉の観光振興に寄与するための検定。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年6月 共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 2,100円 自治体 観光協会 民間企業
事前の公式セミナー・講習会 コースで異なる

49 検定名 小田原まちあるき検定 検定URL http://www.odawara-cci.or.jp
実施団体名 小田原まちあるき検定協議会 住所 小田原市城内1-21

小田原を目で耳で舌で学ぶ観光型ご当地検定。午前はガイドの解説付きで小田原の老舗、名所旧跡をまちあるき。お昼は小田原ご当地グルメを堪能、午後はまちあるきしたからこそわかる検定試験で腕試し、合否判定はなし。ご当地のお土産付き。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年11月 共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 2,000円 自治体
当日現地講習 検定料に含む

50 検定名 ふるさと秦野検定 検定URL http://www.hadano.ed.jp/kenkyu/kentei/kentei.htm
実施団体名 秦野市教育委員会教育研究所 住所 神奈川県秦野市桜町1-3-2

秦野市教育研究所刊行の3種を元に子どもたちにふるさと秦野について知り、さらに秦野を愛する気持ちをはぐくむために実施。難易度により1級より3級がある。1級は市長表彰「はだのっ子アワード」の表彰対象となる。対象は小学校入学時から中学まで在住者。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年1月 共催・協力・協賛団体

事前準備 その他 （出題元となる刊行物を図書館等にて無料で貸し出し） 特になし

51 検定名 新潟清酒達人検定 検定URL
実施団体名 新潟清酒達人検定協会 住所 新潟県新潟市中央区東中通2

新潟清酒、食文化の振興を目指す。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年3月 共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 1,680円 自治体 民間企業

52 検定名 新潟市観光・文化検定 検定URL http://www.niigata-kentei.com
実施団体名 新潟市観光・文化検定実行委員会 住所 新潟県新潟市中央区八千代2-3-1NST内

新潟県観光復興戦略会議提唱のご当地検定制度「ニイガタ検定」の新潟市編として実施するもの。1級から3級の3段階。1級合格者は、各種イベント参加・認定バッチの贈呈などのほか、実行委員会の特別委員として企画運営に参加も可能。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年3月 共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 2,100円 自治体 その他

53 検定名 上越市「謙信・兼続」検定 検定URL http://www.joetsu-kentei.net/
実施団体名 上越市「謙信・兼続」検定実行委員会 住所 新潟県上越市新光町1-10-20上越商工会議所内

上越市ゆかりの偉人である上杉謙信公・上杉景勝公・直江兼続公の遺徳・精神・上越市の観光・文化等を認識し、多くの人に伝え広め、興味、愛着を生み、育むために実施。上越市は平成21年NHK大河ドラマ「天地人」の舞台。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成21年3月 共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 1,000円 自治体 商工会議所 観光協会 NPOなど
民間企業 教育機関

54 検定名 湯沢町観光・文化検定 検定URL http://www.yuzawa.or.jp/kentei/index.html
実施団体名 特定非営利活動法人ゆ 住所 新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢2882-8

湯沢町に住み、働く人たちはもとより、湯沢町を訪れる人たちに、湯沢町の知識を深めてもらい、湯沢町の魅力(自然・歴史・文化)を発見、再発見、認識することによって、湯沢町への興味、愛情を生み育んでもらうための検定。商工会内のNPO法人で実施。合格率4割未満で難易度高め。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年6月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 1,500円
自治体 商工会議所 観光協会

55 検定名 越中富山ふるさとチャレンジ 検定URL http://www.ecchu-challenge.jp
実施団体名 越中富山ふるさとチャレンジ実行委員会 住所 富山県富山市安住町2-14 北日本新聞社営業局内

同時期に県内観光施設や文化施設、地元産品を扱う飲食店や物販店を対象にスタンプラリーを実施。スタンプラリーの得点が検定の得点に加算される。ジュニア級もあり小学生以下でも楽しみながら参加できる検定になっている。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成18年11月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 1,000円
自治体 事務組合 商工会議所 観光協会
その他 (新聞社発行「受験対策特集号タブロイド版」)
民間企業

56 検定名 黒部マチヂカラ検定 検定URL http://www.machijikara.jp/index.html
実施団体名 黒部商工会議所 住所 富山県黒部市植木23-1

黒部商工会議所50周年記念事業の一環として、『マチヂカラ』アップのために実施。富山県黒部市に関する風土、観光、特産品、産業等様々な分野の知識を問う。この検定の発端は地域や特産品等の紹介であり、現地を訪ねる人を増やすこと。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年9月
共催・協力・協賛団体
事前準備
特になし

57 検定名 射水ふるさとチャレンジ検定 検定URL http://imizu-mzmz.jp
実施団体名 射水市 住所 富山県射水市本町2丁目10番30号

市内外の方がインターネットを利用し、射水市の歴史、文化、資源、産物、都市基盤などの知識を深めるとともに、ふるさとへの親しみや愛着を高めることにより交流人口を高めることが目的。年4回程度更新し、何度でも挑戦できる。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年6月
共催・協力・協賛団体
事前準備
特になし

58 検定名 金沢検定 検定URL http://www.kanazawa-kentei.com
実施団体名 社団法人金沢経済同友会 住所 石川県金沢市尾山町9-13 中小企業会館ビル4階

金沢に関する様々な分野から出題し、「金沢通」の度合いを認定。あわせて金沢の魅力を内外に発信し、ブランド力を高めることが狙い。合格させるための簡単な問題とはしない方針を貫いている。そのためか、ボランティアガイドでは検定合格が一種のステイタスになっている。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成17年11月
共催・協力・協賛団体
事前準備 その他 (地元出版社が問題集発行)
自治体 商工会議所 教育機関

59 検定名 ジュニアかなざわ検定 検定URL http://www4.city.kanazawa.lg.jp/39026/j_kentei/index.jsp
実施団体名 ジュニアかなざわ検定実行委員会 住所 石川県金沢市広坂1-1-1

年1回、小学4年生から中学生を対象に、金沢の歴史や文化、自然、産業、まちづくり、偉人などの分野から択一式で50問出題する。70点以上にカードを発行(90点以上ゴールドカード、80点以上シルバーカード、70点以上ブロンズカード)。100点満点はジュニアかなざわ博士に認定する。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成18年11月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 無料
特になし

60 検定名 ふるさと七尾学検定＝七尾城検定＝ 検定URL

実施団体名 能登畠山家創立600年事業実行委員会 住所 石川県七尾市袖ヶ江町イ部25番地文化財課内

まちづくりはまずその地域を知ることから始まる。歴史、文化、産業などを調べ、その地域の素晴らしい宝物を見つけてふるさとの歴史や文化を再認識していただくことを目的に今年度は「能登畠山家創立600年」の節目の年であり、七尾市を代表する史跡「七尾城」および「畠山家」の検定を実施した。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年10月 共催・協力・協賛団体

事前準備 事前公式ｾﾐﾅｰ・講習会 無料 自治体 NPOなど

61 検定名 津幡ふるさと検定 検定URL

実施団体名 津幡町観光協会 住所 石川県河北郡津幡町字加賀爪ニ3番地

津幡町に関する歴史、文化（方言、風習含む）自然、観光（物産含む）産業などさまざまな分野から「つばた通」の度合いを知る検定試験。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年12月 共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 500円 その他

62 検定名 考福学検定 検定URL http://kofukugaku.pref.fukui.jp

実施団体名 「考福学」推進協議会 住所 福井県福井市大手3丁目17番1号

福井県の魅力について県民自身が改めて発見、再認識し、さらに次の世代へと引き継ぐ「考福学」の一環として検定コーナーをポータルサイト内に開設し、常時実施。また、期間限定で行う「考福学チャレンジ検定」を同サイト内で年1回実施し、高得点者に合格証を交付。成績は相撲の番付で表され、解説も充実。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年3月 共催・協力・協賛団体

事前準備 その他 （希望者には小冊子配布） 自治体 事務組合 商工会議所 観光協会 その他

63 検定名 敦賀みなと歴史検定 検定URL

実施団体名 敦賀港みなと観光交流促進協議会 住所 福井県敦賀市中央町2丁目1番1号

敦賀港と鉄道の関わりや国際港として多くのユダヤ難民やポーランド孤児を迎えた史実など敦賀港の歴史に関して他分野にわたる検定試験である。合格者には認定証を授与。またボランティアスタッフ（ガイド）に登録でき「敦賀ムゼウム」（資料館）にて、主に観光客に説明することもできる。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年12月 共催・協力・協賛団体

事前準備 事前公式ｾﾐﾅｰ・講習会 自治体

64 検定名 御食国若狭おばま検定 検定URL http://www.wakasa-obama.jp/

実施団体名 若狭おばま観光協会 住所 福井県小浜市大手町6-3小浜市観光交流課内

小浜の有する観光資源「歴史・文化・自然・食」を中心として小浜に関する幅広い分野から出題される。特典として「特別賞」および「最高得点賞」を設けているほか、第二回（今回）より、検定試験受験者限定寄席（落語会）を行なう。今回は笑福亭三喬氏（他1名）を招く。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年1月 共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 500円 観光協会 NPOなど

65 検定名 富士河口湖町公認ネイチャーガイド 検定URL

実施団体名 富士河口湖町 住所 山梨県南都留郡富士河口湖町船津1700

富士河口湖町が、自然環境にできるだけ負荷をかけずに樹海の魅力を楽しむために、利用者に正確な情報を伝えながら樹海を案内する公認ネイチャーガイド制度を創設。そのネイチャーガイドを公認するための検定。フィールド試験もあり、合格すると公認ツアーガイドとして活躍できる。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成16年3月 共催・協力・協賛団体

事前準備 その他 （検定資格要件の有無後講習会へ参加） 自治体 NPOなど 教育機関

66 検定名 **松本検定** 検定URL http://youkoso.city.matsumoto.nagano.jp
実施団体名 松本検定実行委員会 住所 長野県松本市大手3-8-13-3F観光温泉課内

松本の歴史や文化、観光名所などを総合的に学び、知識を深めることで郷土への愛着を深め、松本を訪れる方をおもてなしの心で向かえる人材育成を目指す検定。ジュニア・基本・上級の3段階。上級は合格率5.5%の難関。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年2月
共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 1,200円
特になし

---

67 検定名 **飯田線検定** 検定URL
実施団体名 東海旅客鉄道株式会社飯田支店 住所 長野県飯田市上飯田5356番地 JR東海飯田支店

飯田線の魅力アピールのため実施。飯田線や飯田線沿線の歴史、文化等に関する50問。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年8月
共催・協力・協賛団体

事前準備
自治体

---

68 検定名 **すわこおもてなしアカデミー検定** 検定URL
実施団体名 諏訪湖エリアおもてなし向上推進会議 住所 長野県諏訪市小和田南14－7

観光ガイドを養成するに当たり、知識レベルの確認の試験として検定を実施。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成18年10月
共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 事前の公式セミナー・講習会 自治体 商工会議所 観光協会
当日現地講習

---

69 検定名 **飯山ふるさと検定** 検定URL
実施団体名 飯山市総合学習センター 住所 長野県飯山市大字飯山1436-1

小学生および一般の部。各50問選択式で出題。一般の部は3段階（初級、上級、マイスター）で各級を合格しないと上位は受けられない。飯山市の自然、文化、歴史を中心に出題。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年10月
共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト
特になし

---

70 検定名 **御柱・原村検定** 検定URL http://www.vill.hara.nagano.jp/indexpages/41/834/16038.html
実施団体名 原村生涯学習推進委員会「御柱・原村検定」専門部会 住所 長野県諏訪郡原村6549番地1原村役場むらづくり戦略推進室

「御柱・原村検定」の問題づくりや編集を通して、原村の良さを共有し、私達自身がもう一度原村を見つめ直すことによって郷土愛を深め、私達が住む原村に誇りを持つことが出来る。平成22年は御柱の年。原村は、諏訪大社上社の山出し出発地点として、沢山のお客様をお迎えするとともに、国内外多くの人に情報を発信し、御柱祭を盛り上げる。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成22年2月
共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 1,000円 自治体 商工会議所 観光協会
事前の公式セミナー・講習会 3,000円

---

71 検定名 **王滝検定** 検定URL
実施団体名 王滝村 住所 長野県木曽郡王滝村3623

Web上でのみ実施。内容は随時更新される。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年1月
共催・協力・協賛団体

事前準備 なし
特になし

72 検定名 ぎふ飛騨・美濃じまん検定 検定URL http://minna.cert.yahoo.co.jp/bwvaq/224729
実施団体名 岐阜県 住所 岐阜県岐阜市薮田南2-1-1

岐阜県では、「飛騨・美濃じまん運動」を推進。インターネットを介し県内外の方々に「飛騨・美濃のじまん」に関する知識を習得し、岐阜に関する理解者を増やすことが目的。また、官公庁では初めてとなる「Yahoo！みんなの検定」のオフィシャル出題者として開設。延べ3,440人の受験で、岐阜県の認知度向上に効果。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年3月 共催・協力・協賛団体
事前準備 その他 （県の観光パンフレットやHPなどから出題。） 特になし

---

73 検定名 岐阜市まちなか博士認定試験 検定URL http://www.city.gifu.lg.jp/c/40113117/40113117.html
実施団体名 岐阜市 住所 岐阜市神田町1-11

岐阜市の地理・風土・歴史・伝統・文化・観光・産業等の知識・教養を有しているかを認定するものであり、岐阜市の魅力をより親切に、より高度に及びより効果的に説明できる人材を育成し、ホスピタリティ（親切なもてなし）の向上を通して、岐阜市を愛する心の醸成を図るものである。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成18年2月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 事前の公式セミナー・講習会 特になし

---

74 検定名 中山道中津川かいわい認定試験 検定URL http://www.cci.nakatsugawa.gifu.jp/nintei/index.htm
実施団体名 中津川商工会議所地域認定試験実行委員会 住所 岐阜県中津川市かやの木町1番20号

地域を知る事業の一環として、中津川の中山道かいわいを中心とした公式テキスト『もっと知ろう中山道中津川』を発刊。更に、中津川を「知ってる度」を確かめるため、テキスト範囲内から出題する『地域認定試験』を企画。これまで3回の認定試験を実施し、多くの人が挑戦した。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年10月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 1,000円 自治体 観光協会 その他

---

75 検定名 兼山歴史検定 検定URL
実施団体名 可児市兼山公民館 住所 岐阜県可児市兼山701-1

可児市の中でも歴史の宝庫といわれている兼山地区の歴史、特に森蘭丸生誕の地として戦国期から商業のまちとして発展した明治期までを題材とした歴史検定。 公民館が、可児市兼山歴史研究同好会の協力を得て、兼山歴史検定を実施。解答用紙を公民館だよりに記載し、それにより提出する方法。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年9月 共催・協力・協賛団体
事前準備 その他

---

76 検定名 下呂検定 検定URL http://www.city.gero.lg.jp/kankou/
実施団体名 下呂検定実行委員会（下呂市観光客特別誘致対策協議会） 住所 岐阜県下呂市森960番地

事前に作成したテキストを元に、「下呂通」になってもらい、市民は下呂へ来るお客様をもてなすために、また、観光客の方にはより下呂を楽しんでもらえるようにといった目的で開催。事前に配布するテキストからおおむね出題。検定にあわせて「検定直前温泉合宿」を開催しているのも特徴。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年2月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 検定料に含む 事務組合
事前の公式セミナー・講習会 8,000円（合宿参加費、テキスト料含む）

---

77 検定名 静岡学検定 検定URL http://www.shizuoka-kentei.jp/
実施団体名 静岡市 住所 静岡県静岡市駿河区曲金三丁目1番10号

静岡なんでも博士を目指すもので、各年にテーマ設定し、平成20年度は「地場産業」をテーマに実施。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成21年1月 共催・協力・協賛団体
事前準備 事前公式セミナー・講習会 特になし

78 検定名 熱海ふれあい検定 検定URL

実施団体名 熱海市社会福祉協議会、第2次ふれあいのまちづくり推進会 住所 静岡県熱海市中央町1-26

地域福祉の第一歩である「地域を知る」ことを目標とした検定を実施。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年10月 共催・協力・協賛団体

事前準備 なし 特になし

79 検定名 いただきます検定 検定URL http://blog.livedoor.jp/itadakimasukentei/

実施団体名 富士宮市市民協働食育検定実行委員会 住所 ー

市民の"食"を見る目を培うことを目的とした、市民の手づくりによる"ご当地検定"。 世に"ご当地検定"なるもの数々あれど、市民が(全くのボランティアとして)手づくりで企画、運営しかつ、単なる筆記検定だけではなく実地検定まで実施し、その結果が行政の政策・施策に(直接)反映される…という稀有な"ご当地検定"であることが、マスコミ等にも評価されている。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成18年4月 共催・協力・協賛団体

事前準備 その他 (Web及びチラシで問題候補公表) 自治体 NPOなど 民間企業

80 検定名 いわた検定 検定URL

実施団体名 いわた検定実行委員会 住所 静岡県磐田市国府台3-1

合否を認定するものではないため、合格証ではなく、参加賞を造営。点数上位者は市のHPで公表。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成21年1月 共催・協力・協賛団体

事前準備 自治体

81 検定名 やってみっか やいづ検定 検定URL http://www.yaizucci.or.jp/news/newsview.asp?id=368

実施団体名 焼津商工会議所女性会 住所 静岡県焼津市焼津4-9-1

焼津の歴史、文化、民俗、人物、建物などジャンルを問わず認識・再認識してもらうことを目的とした自由に楽しんで実施してもらう検定。合否は決めず、愛着度を判定する。スケールも小さく合否判定もしない、誰でも気軽に時間があるときに実施してもらう。ホテルの従業員教育に役立った。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年5月 共催・協力・協賛団体

事前準備 その他 (回答後、解説書を見ながら再認識してもらう) その他

82 検定名 中部9県観光検定 検定URL http://www.kandou10.jp/ja/

実施団体名 中部広域観光推進協議会 住所 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4番12号中経ビル2階

中部9件(富山、石川、福井、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀)を対象とした観光に関する検定で、今回は産業観光をテーマとして出題した。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年12月 共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 1,575円 特になし

事前の公式セミナー・講習会 無料

83 検定名 なごや四百年時代検定 検定URL http://www.nagoya-cci.or.jp/chiiki/kentei.html

実施団体名 なごや四百年時代検定実行委員会 住所 愛知県名古屋市中区栄2-10-19

多くの方に愛知、名古屋の歴史、文化など多角的な知識を学んでいただき、地域への関心や愛着を高めていただくとともに、大交流時代に対応しうるおもてなしの質を向上させることを目的として検定を実施。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年3月 共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 事前の公式セミナー・講習会 自治体 観光協会

84 検定名 いつきてもホッ！「ほの国検定」～バスで巡る渥美半島編～ 検定URL http://www.honokuni.or.jp
実施団体名 愛知県東三河広域観光協議会 住所 愛知県豊橋市花田町石塚42-1豊橋商工会議所8F

愛知県東三河の豊富な観光資源を多くの方に知ってもらい東三河の魅力を再発見してもらうのが目的。参加型検定で渥美半島をバスでめぐり、その後豊橋に戻り、検定試験を受ける。試験のみではなく、現地をバスツアーでめぐり楽しみながら受験できることが参加者に好評。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年11月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 1,000円 特になし

85 検定名 おおはま検定 検定URL
実施団体名 チームへきなん検定 住所 愛知県碧南市松本町28

碧南市大浜地区を題材にした25問で実施。参加者は大浜地区を各自散策しながら解答する。解答が終わったら、本部に提出し、スタッフの採点後点数に応じて粗品をプレゼント。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年10月 共催・協力・協賛団体
事前準備 その他 （自由に散策して回答、無料） 特になし

86 検定名 蒲郡観光交流おもてなしコンシェルジュ検定 検定URL
実施団体名 蒲郡観光ビジョン推進委員会 住所 愛知県蒲郡市旭町17番地1号

蒲郡のことを知り、蒲郡の魅力を誇り、訪れた人をおもてなすことができる方を認定する制度。当方の検定はご当地検定とは違うと認識している。「おもてなし」「ホスピタリティ」に力を入れている。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年9月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 事前の公式セミナー・講習会 自治体 商工会議所 観光協会

87 検定名 田原市検定 検定URL
実施団体名 田原市教育委員会・特定非営利活動法人たはら本舗 住所 愛知県田原市田原町南番場30-1

田原市の自然・文化・産業などを楽しく学んでもらおうと開催。田原市に関する様々な分野から100問を出題。80問以上で合格。第1回となる今年度は初級問題のみで、第2回以降は、中級と上級問題を予定。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年11月 共催・協力・協賛団体
事前準備 事前公式セミナー・講習会 無料 自治体 NPOなど

88 検定名 きらのまち歴史検定 検定URL
実施団体名 吉良町教育委員会 住所 愛知県幡豆郡吉良町大字荻原字大道通14-1

夢とロマンあふれる吉良の歴史に関する問題。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成17年8月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 事前の公式セミナー・講習会 特になし

89 検定名 検定『お伊勢さん』 検定URL
実施団体名 伊勢商工会議所 住所 三重県伊勢市岩渕1丁目7番17号

豊かな自然と温暖な気候に恵まれ、神宮のおひざ元として独特な文化を育んできた伊勢の魅力を広く発信するとともに、市民におもてなしの心を一層高めてもらうことを目的に創設。上級・中級があり、それぞれ神宮編、歴史と文化編、ものづくりとくらし編がある。各編、各級の併願も可能。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成18年11月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 1,365円 自治体
事前の公式セミナー・講習会 各500円

90 検定名 桑名ふるさと検定 検定URL http://www.kuwana.ne.jp/chamber/
実施団体名 桑名ふるさと検定実行委員会 住所 三重県桑名市桑栄町1番地1

恵まれた自然を持ち、多くの観光資源を有する桑名を市民自らが好きになり、市内外に情報発信するとともに、来客に対するおもてなしの心を育み、観光の振興、ひいては桑名市の今後の街づくりに資することが目的。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年3月
共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 1,800円
特になし

事前の公式セミナー・講習会

91 検定名 亀山検定 検定URL http://www.kameyama-cci.or.jp/ifm/
実施団体名 亀山商工会議所 住所 三重県亀山市東御幸町39－8

地域活性化事業の一環として、市民や市内の観光事業関係者が亀山の歴史文化や産業・地域に関する情報を知り、地元身愛着を持つとともに、豊かな地域風土作りを目的として実施。亀山市内のイベント(関宿街道まつり・亀山大市)でもPR活動を行っている。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年3月
共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 1,000円
自治体 観光協会

92 検定名 伊賀学検定 検定URL http://www.iga-ueno.or.jp
実施団体名 伊賀学検定実施委員会 住所 三重県伊賀市上野丸之内36-1

伊賀の歴史や文化が伝承され、また人材の育成に寄与することを目的としている検定。初級・中級・上級の3段階あり、今年実施された上級試験会場の崇廣堂は、全国的にも稀な国の史跡(藩校)。合格率9%とかなりの難易度。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成18年3月
共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 1,000円
自治体 商工会議所 観光協会

事前の公式セミナー・講習会 1,000円

93 検定名 びわ湖検定 検定URL http://www.ohmi.or.jp/kentei/
実施団体名 びわ湖検定実行委員会 住所 滋賀県大津市松本1－2－1(財)淡海環境保全財団内

宝物の再発見をテーマに滋賀の歴史、文化、自然、環境、観光、くらしの各分野についての知識を問う検定。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年11月
共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 1,260円
自治体 商工会議所 NPOなど 教育機関

94 検定名 歴史の道東海道検定 検定URL http://www.tokaido.or.jp
実施団体名 特定非営利活動法人歴史の道東海道宿駅会議 住所 滋賀県甲賀市土山町北土山1701

東海道五十七次に関する基本的な知識を正確に理解し身に付けるための契機をととのえ、またその到達点として検定制度を設けた。内容は東海道53次、57次の歴史に関すること。東海道の宿場町である横浜市、静岡市、名古屋市と滋賀県の草津市にて実施。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年3月
共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト
特になし

95 検定名 花と観音の里歴史文化検定試験 検定URL http://www.hana-kannon.net/kk08.html
実施団体名 特定非営利活動法人花と観音の里 住所 滋賀県伊香郡高月町大字渡岸寺155-1

国宝十一面観音菩薩をはじめとする多くの観音様が点在する高月町は「観音の里」と呼ばれる。通称「観音検定」は観音様に関する知識や「観音の里」の歴史・文化・信仰などを問う検定試験。「検定」を通して「観音の里」を愛する人々の交流を深めることを目的としている。試験時間1時間。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成18年8月
共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 100～300円
自治体 商工会議所 観光協会

その他 (試験持込可)

96 検定名 京町家検定 検定URL http://www.kyomachiya-hachise.jp
実施団体名 株式会社八清京町家検定委員会 住所 京都府京都市下京区東洞院通高辻上ル高橋町619

京都の伝統住宅である「京町家」に関わる歴史・意匠・建築・生活の4分野の知識を認定する検定試験。公的機関が運営しているのではなく、不動産会社が独自で運営している点が最も特徴的。さらに、集客力が弱いことを補うため、WEB上での開催と無料であることも特徴。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成18年3月 共催・協力・協賛団体
事前準備 その他 （参考テキストを紹介・販売） 特になし

97 検定名 京都・観光文化検定試験 検定URL http://www.kyotokentei.ne.jp
実施団体名 京都商工会議所 住所 京都府京都市中京区烏丸通夷川上ル

京都検定は京都に関する歴史、文化、産業、暮らしなど多分野に渡る京都通度を認定する試験。観光関連企業における社内奨励実施報告有。1級合格者には京都産業大学特別客員研究員への応募資格有。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成16年12月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 2,100円 自治体 その他
事前の公式セミナー・講習会 6,000円～24,000円
通信教育課程 17,000円～21,800円

98 検定名 京野菜検定 検定URL http://www.kyo-furusato.jp/
実施団体名 社団法人京のふるさと産品価格流通安定協会 住所 京都府京都市南区東九条西山王町1

京野菜の生産、流通、料理とそれぞれの歴史や京都の歳時、食文化など京都の生活とのかかわりを問うもので、京野菜の範囲を44品目に決めている。出題数は60問、制限時間は90分。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年1月 共催・協力・協賛団体
事前準備 その他 （参考テキストの指定、京野菜ツアー実施(一部講習会)） 自治体 その他

99 検定名 大江山鬼検定 検定URL
実施団体名 世界鬼学会 住所

“大江山鬼検定”は、酒呑童子祭りの一環として、地域と鬼文化の一層の振興を目的に実施。日本の鬼に関する問題を中心に出題。回答時間は60分。100点満点で90点以上は鬼博士、80点以上は鬼学士として認定。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成18年11月 共催・協力・協賛団体
事前準備 特になし

100 検定名 かめおか・ふるさと検定 検定URL http://www.kameokacci.or.jp.
実施団体名 かめおか・ふるさと検定委員会（亀岡商工会議所） 住所 京都府亀岡市余部町宝久保1-1

かめおか・ふるさと検定は亀岡を学ぶことで亀岡の豊かな自然景観、その自然に育まれたおいしい食材、そして地域に受け継がれてきた歴史的文化遺産や産業など、亀岡の魅力を再発見し、地域振興や街づくりに活かしていくことを目的として実施する亀岡力を認定する試験。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年4月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 1,000円 自治体 観光協会 教育機関 その他

101 検定名 北京都丹後ふるさと検定 検定URL http://www.tangokankou.jp/
実施団体名 丹後広域観光キャンペーン協議会 住所 京都府京丹後市峰山町丹波855京都府丹後広域振興局商工労働観光室内

丹後の海、里、山の豊富な自然、その自然が育んだおいしい恵み、丹後王国を彷彿させる古墳、遺跡など多くの地域資源を再発見、再認識し、その魅力を誇りに丹後に愛着を持っていただくとともに、丹後の奥深い魅力を地域以外の人々に向けてPRするきっかけとする。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年10月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 1,500円 特になし
事前の公式セミナー・講習会 500円
その他 （DVDの貸出） 300円

102 検定名 大阪検定（仮称） 検定URL http://www.osaka-kentei.com
実施団体名 大阪商工会議所 住所 大阪府大阪市中央区本町橋2番8号

年1回の公開試験として実施予定。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成21年6月

事前準備 公式テキスト 2,000円（予定）
事前の公式セミナー・講習会

共催・協力・協賛団体
自治体 商工会議所 観光協会 教育機関

103 検定名 Sakai検定・Kids Sakai検定 検定URL
実施団体名 内川・土居川まつり実行委員会 住所 大阪府堺市堺区南瓦町3-1堺市役所河川水路課内

堺市の歴史、文化などから問題を作成し実施。Sakai検定は検討として主催者が実施し、Kids Sakai検定は各学校、学級で学習教材として活用する。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成18年9月

事前準備 その他 （受験者に参考資料を教示）

共催・協力・協賛団体
特になし

104 検定名 池田学検定 検定URL
実施団体名 池田市・池田市教育委員会 住所 大阪府池田市五月丘1-10-12

池田にかかわる自然・歴史・文化・経済・社会などあらゆる領域を包括する概念として「池田学」を設定。「池田学」を生涯教育のひとつとして位置づけ、体系的に学ぶ場として「池田学講座」を開設し、さらに「池田学検定」を実施することによってその習得度を図る。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年3月

事前準備 公式テキスト 1,000円
事前の公式セミナー・講習会 500円（10回講座分）

共催・協力・協賛団体
特になし

105 検定名 だいとう検定 検定URL http://www.daitoukentei.com/
実施団体名 特定非営利活動法人大東夢づくりコミュニティ 住所 大阪府大東市三箇1-8-24

大阪府大東市をテーマに、歴史、風俗、グルメ、教育など10のジャンルから地元資源の再発見と産業活性化を目指したご当地検定。小学生からでも受験できるように内容を吟味している。NPO法人大東夢づくりコミュニティはインターネットラジオ局を運営。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成21年2月

事前準備

共催・協力・協賛団体
自治体 観光協会 NPOなど 教育機関

106 検定名 古市古墳群検定 検定URL
実施団体名 フィールドミュージアムトーク史遊会 住所 大阪府羽曳野市はびきの1-391-25

古市古墳群をその時代に関する問題を出す。ランク付けや合格証ということではなく、当地の歴史遺産への関心、認識を高めていくことが目的。但し、上位3名は表彰し副賞を贈る。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年7月

事前準備 公式テキスト 300円

共催・協力・協賛団体
自治体

107 検定名 せっつ検定 検定URL http://www.b-sik.com/settsu-kentei
実施団体名 摂津異業種交流研究会 住所 大阪府摂津市学園町2-9-28

摂津市の歴史、文化などの内容について検定。合格者はふるさと摂津大使として年1回ほど市内名所めぐりを実施。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成17年4月

事前準備 公式テキスト

共催・協力・協賛団体
自治体 商工会議所

108 検定名 さやま検定 検定URL
実施団体名 狭山池まつり実行委員会「さやま検定委員会」 住所 大阪府大阪狭山市今熊1-540-3(大阪狭山市商工会館内)

狭山池祭りの一環として実施。「狭山博士」から「10級」まで100点満点で10段階に区別し「認定級」を授与。「優秀賞」は(一般の部)(小学5・6年生の部)(小学4年生以下の部)(中学生の部)の5部門で最高得点者に授与。表彰式は「狭山池まつり」の2日目に行う。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年4月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 300円
自治体 商工会議所 民間企業

109 検定名 神戸学検定 検定URL http://kobe-kentei.seesaa.net
実施団体名 神戸商工会議所 住所 兵庫県神戸市中央区港島中町6-1

神戸の観光振興を図るためには、観光関連事業者はもとより広く一般市民が来神者をより温かく迎え、神戸を紹介してゆく"おもてなしの心"を広めることが重要。そこで、神戸の魅力を再発見、再認識する機会として実施。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年10月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 2,000円
自治体 観光協会 民間企業

110 検定名 龍馬検定・神戸編 検定URL http://homepage2.nifty.com/ryoma-kobe/
実施団体名 神戸高知県人土陽会 住所 ー

日本最初の人物検定であり日本最初の龍馬検定である。ほとんどの問題が文章を読んで答える形式とあって、時間が足りない受験者が続出。80分の制限時間を急きょ15分延長した。新聞紙上でも"難関"と評判。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成18年4月
共催・協力・協賛団体
事前準備 なし
自治体 民間企業 その他

111 検定名 姫路観光文化検定試験 検定URL
実施団体名 姫路商工会議所 住所 兵庫県姫路市下寺町43

姫路の歴史・文化・産業などに関する知識を深め「われわれの街・姫路」を再発見する機会を創出するため実施。検定を通じて広く姫地地域の方々におもてなしの心をもってお客様を出迎える意識を高めていただくことが目的。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成18年3月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 1,500円
事前の公式セミナー・講習会 3,000円
自治体 観光協会

112 検定名 明石・タコ検定 検定URL http://www.tako-kentei.com
実施団体名 明石・タコ検定委員会 住所 兵庫県明石市東仲ノ町6番1号

「魚を楽しくまち明石」が実施する"おさかな通"度をはかる検定。明石で獲れるお魚(タコ, 鯛、あなご、イカナゴ)に関する生態・産業・食文化・歴史全般から出題し、明石の魚を多くの方に知っていただくための検定。検定が認定した新商品が発売された。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成18年3月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 1,000円
事前の公式セミナー・講習会 1,000円
自治体 事務組合 商工会議所 観光協会
民間企業 教育機関 その他

113 検定名 西宮検定 検定URL
実施団体名 西宮市、関西学院大学、西宮検定学生実行委員会 住所 兵庫県西宮市六湛寺町10-3

西宮市におけるご当地検定の有効性検証のため、授業で「西宮検定」の実施に取り組んでいた関西学院大学とタイアップして今年10月試験を試行実施。市民は、地元西宮に対しての理解を深め、愛着を持つ。また、全国にPRし、市外の方も受験すれば、西宮の観光や産業の活性化のきっかけになるものと考えている。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年10月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 事前の公式セミナー・講習会
教育機関 その他

114 検定名 芦屋検定 検定URL
実施団体名 芦屋市商工会 住所 兵庫県芦屋市公光町4-28

基礎編と上級編の2段階。上級合格者上位20名は、芦屋観光協会認定「芦屋観光ボランティア」登録ができるが平成20年の実績では合格率14%の難関。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年2月
事前準備 公式テキスト 500円
共催・協力・協賛団体
自治体 観光協会

115 検定名 いたみ学検定試験 検定URL http://www.itami.jp/
実施団体名 伊丹商工会議所 住所 兵庫県伊丹市宮ノ前2-2-2

伊丹を訪れる方に伊丹の魅力を広く知っていただくナビゲーターを認定する検定。伊丹には、清酒をはじめ、さまざまな歴史、文化がある。それらに関する知識を深め、伊丹の魅力を再発見していただけるきっかけにしたいもの。伊丹をもっと知りたい方、仕事に知識を活かしたい方にお勧めの検定。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成18年10月
事前準備 公式テキスト 1,000円
共催・協力・協賛団体
自治体 商工会議所 観光協会 その他

116 検定名 但馬検定 検定URL http://www.tajima.or.jp/modules/official/index.php/tajimakentei/top.html
実施団体名 財団法人但馬ふるさとづくり協会 住所 兵庫県豊岡市山王町11番28号

但馬に関する他分野にわたる知識を学び、但馬を再発見するとともに、但馬通・但馬ファンを増やしていくために但馬検定を実施。但馬を訪れる人々に対する但馬人のホスピタリティを高めるきっかけ作りとする。次世代を担う小学・中学・高校生が受験した。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年3月
事前準備 公式テキスト 1,000円
共催・協力・協賛団体
商工会議所

117 検定名 かこがわ検定 検定URL
実施団体名 加古川観光協会 住所 兵庫県加古川市加古川町溝之口510-3

加古川観光協会、かこがわ市民団体連絡協議会、すっきゃ加古川が主催するまちに関する知識を検定し、合格者を「かこがわ人」として認定する検定試験。多彩な講師陣による講習も魅力。平成20年から中級も始めた。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年3月
事前準備 公式テキスト 1,470円
事前の公式セミナー・講習会
共催・協力・協賛団体
自治体

118 検定名 にしわき15(いちご)検定 検定URL http://www5.city.nishiwaki.hyogo.jp/school/sukidesu-nishiwaki/index.htm
実施団体名 西脇市教育委員会 住所 兵庫県西脇市西脇790-15

西脇市の名所、関市などふるさと西脇にちなんだ内容で、市内外の誰でも参加できる手軽な検定を目指している。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年11月
事前準備 公式テキスト 無料
共催・協力・協賛団体
自治体

119 検定名 おの検定 検定URL
実施団体名 小野市教育委員会 住所 兵庫県小野市王子町806-1

小野市教育行政顧問の川島隆太東北大学教授の脳科学理論に基づき、脳の健康や親子のふれあいを目的としている。漢字・計算・音読・スピード計算を中心に全92段階あり、3年間で延べ2万人以上が受験している。また加古川刑務所受刑者、視覚障害者、認知症患者など多岐に渡っている。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成17年7月
事前準備 公式テキスト 各300円
共催・協力・協賛団体
特になし

120 検定名 三田米ミニ検定 検定URL http://www.jarokko.or.jp
実施団体名 さんだ農業まつり実行委員会 住所 兵庫県三田市川除677-1

三田の農産物に理解を深め、三田で生産・出荷・販売される米についての正しい知識を身につけ、子供から大人までが自らの食生活や日本の農業を考え、日本食の見直しなど食に対する理解を深めるのが目的。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年11月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト
特になし

121 検定名 うりぼう師範検定 検定URL
実施団体名 篠山市教育委員会 住所 兵庫県篠山市北新町41

平成20年度より「第一回うりぼう師範検定」を実施するにあたり、平成19年3月21日に「プレ検定」を実施。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年3月
共催・協力・協賛団体
事前準備
その他

122 検定名 丹波篠山黒まめ検定 検定URL http://kuromamekentei.sasayama.jp/
実施団体名 丹波篠山黒まめ検定委員会 住所 兵庫県篠山市北新町41

丹波篠山が誇る特産物はもとより、笹山の歴史や伝統、文化、自然、観光イベントなど篠山のすべてを盛り込んだ筆記試験と実地試験。実施は地元篠山と東京2会場で行い、いずれも祭りの会場にて行う。実技は黒豆箸つかみ移動ゲームで、高得点者には得点も用意。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年6月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 2,000円
商工会議所 観光協会 NPOなど 民間企業 教育機関

123 検定名 丹波市検定 検定URL http://www.tanba.or.jp/
実施団体名 丹波市商工会青年部 住所 兵庫県丹波市氷上町成松140-7

丹波市通・丹波市ファンを増やし、丹波市についての知識を学び、『丹波市』のすばらしさを再認識し、「丹波市検定」を通じて、市民の一人ひとりが身近な観光案内人として丹波市の魅力を積極的に伝え、丹波市を訪れる人々に対する「ホスピタリティ(おもてなしの心)」を高めるきっかけにしたい。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年11月
共催・協力・協賛団体
事前準備 その他 (事前に公開問題をインターネットやテキストで受講者に配布(3級・キッズのみ))
自治体 商工会議所

124 検定名 香住！カニ検定 検定URL http://kani-kentei.com
実施団体名 香住！カニ検定実行委員会 住所 兵庫県美方郡香美町香住区七日市1-1香住観光協会

全国有数のカニの待ちである香美町香住区をPRするために始まる四者択一問題全100問でそのうち5問程度は地元のカニや魚を利用して回答を導く実践問題。試験後はべにずわいがに(香住ガニ)食べ放題。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年10月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 500円
自治体 観光協会

125 検定名 奈良まほろばソムリエ検定 検定URL http://www.nara-cci.or.jp/narakentei/
実施団体名 奈良商工会議所 住所 奈良県奈良市登大路町36−2

奈良ファンや奈良に精通している人々を認定するための検定。3段階の級があり、ステップアップしていく。奈良通2級合格者を対象に体験学習プログラムを24種を実施。また各級に応じた認定支援セミナーを実施。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年1月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 2,100円
事前の公式セミナー・講習会 4,200〜6,300円
自治体 商工会議所

126 検定名 紀州みなべ検定 検定URL http://minabe.info/index.html
実施団体名 紀州みなべ検定実行委員会 住所 和歌山県日高郡みなべ町芝503

みなべ町商工会が中心となり各種団体(漁協、森林組合、農協)、学識経験者、行政等で実行委員会・企画委員会・問題作成委員会を組織し取り組む。参加賞として特産品をプレゼント。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年11月 共催・協力・協賛団体
事前準備 その他 (平成20年現在、テキスト作成予定) 特になし

127 検定名 日本ナシ検定 検定URL
実施団体名 特定非営利活動法人よなご知財活用支援センター 住所 鳥取県米子市皆生新田3-22-3

ナシの歴史、品種改良、などについてテキスト・スライドを元に講義を受ける。また奈良～平安の今日に至るまでの日本ナシ40～50品種の展示、試食を通して、各時代の味覚の変遷を体感する。他の検定に無いユニークなもので評判は上々。鳥取特産文化の検定であり、受講者は限定され真摯な取り組みが多い。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年9月 共催・協力・協賛団体
事前準備 事前公式セミナー・講習会 特になし

128 検定名 境港妖怪検定 検定URL http://www.youkai-kentei.com
実施団体名 境港商工会議所、境港市観光協会 住所 鳥取県境港市上道町3002

水木しげる氏の妖怪考察に基づいた妖怪の理解度を問う検定試験。平成20年度は初級および中級試験を実施。合格者には合格証書とピンバッジを授与し、"妖怪博士"の称号を与える。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成18年10月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 共通900円、中級用1,365円 事務組合 観光協会 NPOなど

129 検定名 岡山文化観光検定試験 検定URL http://www.okayama-cci.or.jp
実施団体名 岡山商工会議所 住所 岡山県岡山市厚生町3-1-15

岡山を学びたい人、観光関係などの仕事に知識を活かしたい人にお勧めの検定試験。2級対策講座がある。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成17年12月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 2,100円、1,470円 自治体
事前の公式セミナー・講習会 3,000円

130 検定名 津山まつり・だんじり検定 検定URL http://danjiri-jp.net/
実施団体名 津山だんじり保存会館 住所 岡山県岡山市芳賀5303岡山リサーチパークORIC3F

毎年10月に行われる「津山まつり」時に実施。ジャンルを当地の祭りに絞った検定。2級の問題作成は地元高校生が行なう。津山市民であれば必ず聞き覚えのある「津山だんじり囃子」の携帯電話・着メロ、着歌を現在、唯一入手できる方法が、検定受験。現地会場受験とWeb受験を併用していることで、受験者の年齢層に偏りがない。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年3月 共催・協力・協賛団体
事前準備 その他 (HP自体を公式テキストにしている) NPOなど 民間企業 教育機関

131 検定名 検定ー晴れの国おかやまの食ー 検定URL http://ww91.tiki.ne.jp/~okayamafha
実施団体名 岡山県食の安全・食育推進会議、岡山県 住所 岡山県岡山市内山下2-4-6

岡山の特産品や郷土料理などの食文化、食品衛生や食育などについて学んでいただくことが目的。一般の検定と親子などの2人1組で受験できる科目を実施。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年10月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 1,365円 特になし

132 検定名 倉敷検定 検定URL http://www.native-kurashiki.jp/kentei

実施団体名 ネイティブ倉敷実行委員会 住所 岡山県倉敷市白楽町249-5

「集客・定住・連携」を基本とし、集客手段の一つとして、インターネットでの情報発信に加え、ネット上でいつでも誰でも無料で受けられる「倉敷検定」を実施。インセンティブ付合格賞「倉敷パスポート」が倉敷検定への関心を高め、観光客のみならず、地域住民のアイデンティティーを高め、中心市街地の活性化にもつながった。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年9月

共催・協力・協賛団体

事前準備

自治体 商工会議所 観光協会

133 検定名 まにわっこ検定「まに★けん」 検定URL

実施団体名 真庭市 住所 岡山県真庭市勝山53-1

「まにわっこ検定」は検定日を設けて点数を競ったりする検定ではなく、真庭の町の宝を再認識し、次世代を担う子供たちに楽しく知ってもらうためのツール。平成18年度地域づくり人材養成講座内のワークショップにて、市民有志で作成。CD-ROMを各学校に配布。その後新しい問題などは作成していない。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年3月

共催・協力・協賛団体

事前準備

134 検定名 「ひろしま通」認定試験 検定URL http://www.city.hiroshima.jp/kikaku/kikaku/vi/hiroshima2/hiroshima2.htm

実施団体名 「ひろしま通」認定試験実行委員会 住所 広島県広島市中区基町5-44広島商工会議所観光振興チーム

市民や観光関係者などのホスピタリティの醸成ならびに観光ビジネスの拡大を図るとともに広島に精通した、ひろしまファンの増加を図ることを目的とする。「ひろしま通」認定者が広島記念式典で広島を訪れる多数の来訪者のためにJR広島駅で臨時案内所を設け、式典や観光について案内を行った。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年2月

共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 1,440円

自治体 商工会議所

135 検定名 尾道検定 検定URL http://www.onomichi-ch.hiroshima-c.ed.jp/onoken/

実施団体名 広島県立尾道商業高等学校 住所 広島県尾道市古浜町20-1

全国でも珍しい高校生が検定問題を作成し、HP上で実施する検定。教育の一環として検定作成に取り組んでいるため、実際にフィールドワークも行っている。今後は市や商工会、観光協会などで実際の検定として尾道検定が行われることを期待している。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年7月

共催・協力・協賛団体

事前準備

特になし

136 検定名 福山知っとる検定 検定URL

実施団体名 福山知っとる検定実行委員会 住所 広島県福山市東桜町3番5号

福山の魅力あふれる歴史・文化・自然などに関する知識を深め、市民の方々に「おもてなしの心」を持っていただくとともに、福山ファンの増大と観光サポーター、ボランティアガイドなどの人材発掘、育成を目的に実施。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年2月

共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 1,440円

商工会議所 観光協会

137 検定名 宮島検定 検定URL http://www.cci201.or.jp/mk/top.htm

実施団体名 廿日市商工会議所 住所 広島県廿日市市本町5-1

宮島検定は年1回、世界文化遺産の島「宮島」の歴史や自然・文化などを楽しく学び、宮島の魅力を再発見することを目的に実施。楽しく学び、宮島を知ってもらうことが目的で、合否を競うものでないため"級"は設けていないが点数により認定カードが変わる。(通常、シルバー、ゴールド、プラチナ)

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年1月

共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 2,000円

自治体 商工会議所 観光協会 その他

138 検定名 太田川通検定大会 検定URL

実施団体名 安芸太田町 住所 広島県山県郡安芸太田町大字戸河内784-1

広島市に流れる太田川について理解を深める検定。イベント型のため自己採点のみで合否はない。参加賞として観光情報冊子がもらえる。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年3月 共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 300円 NPOなど

139 検定名 やまぐち歴史・文化・自然検定 検定URL http://www.yamacci.or.jp/yamaguchikentei/

実施団体名 山口商工会議所やまぐち歴史・文化・自然検定実行委員会 住所 山口県山口市中市町1-10

山口検定を実施することにより、郷土を愛する心を育み、山口の歴史・文化・風土を再認識、再発見することで山口の教育、文化、産業の振興に役立てることを目的とする。無料事前検定セミナーあり。温泉旅館関係者などが団体受験した。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年3月 共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 1,000円 自治体

事前の公式セミナー・講習会 無料

140 検定名 萩ものしり博士検定 検定URL http://machihaku.city.hagi.lg.jp/kentei

実施団体名 萩ものしり博士検定実行委員会 住所 山口県萩市堀内355番地

萩の歴史や文化、自然の遺産、それにまつわる物語をクイズ形式で楽しみながら学べる。合格者は観光ガイドとして活躍、またまちづくりの取り組み、行事などに参画している。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成17年11月 共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 1,000円(修士・博士)、500円(子供) 特になし

141 検定名 ほら吹き検定 検定URL http://dmuseum.ias.tokushima-u.ac.jp/~nsybk/

実施団体名 上勝自然体験学習研究会 住所 徳島県勝浦郡上勝町福原川北30番地(有)環境とまちづくり内

ほら吹き検定は、ヤッホー調査およびヤッホー体験の時のヤッホーグッズとして用いられる「ホラ貝」を吹く能力を試すために行われるものである。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成14年11月 共催・協力・協賛団体

事前準備 特になし

142 検定名 山彦認定士試験 検定URL http://dmuseum.ias.tokushima-u.ac.jp/~nsybk/

実施団体名 上勝自然体験学習研究会 住所 徳島県勝浦郡上勝町福原川北30番地(有)環境とまちづくり内

山彦認定士試験は、上勝町ヤッホー調査における「ヤッホーポイント」を認定する者の資格であり、同時に、ヤッホー体験における、山での正しい山彦の楽しみ方や山彦の科学について参加者を指導する立場として位置付け、山彦に関する知識や体験活動としての安全管理の知識を有した者に、町の正式認定により資格を与えるものである。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成14年11月 共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 500円 自治体

事前の公式セミナー・講習会 500円

当日現地講習 500円

143 検定名 小豆島オリーブ検定 検定URL http://www.shodoshima.or.jp/olive100/

実施団体名 オリーブ植栽100周年記念事業実行委員会 住所 香川県小豆郡小豆島町西村甲1896番地1

小豆島の貴重な地域資源であるオリーブを島内外にアピールし、オリーブの魅力を知ってもらうとともに、島内の人にオリーブを再認識・再理解する機会を作り、小豆島オリーブの魅力を発信できる人材づくりに寄与する。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年6月 共催・協力・協賛団体

事前準備 公式テキスト 1,000円 自治体

144 検定名 四国鉄道ぽっぽや検定 検定URL http://www.kk-spc.co.jp/popoya-kentei/
実施団体名 「四国鉄道ぽっぽや検定」実行委員会 住所 愛媛県松山市湊町7丁目3-5

四国の鉄道の持つ魅力や各沿線にある様々な魅力の再発見のため、鉄道ファンだけでなく一般の方が見てもわかりやすい仕上がりの検定ガイドブックを作成。前半のテキスト部分を見ながら、巻末に添付されている専用回答ハガキに記入して事務局に郵送すると、『初級認定証』が送られてくるシステム。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年12月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 1,050円 NPOなど 民間企業

145 検定名 松山観光文化コンシェルジェ検定 検定URL http://www.iemcci.jp
実施団体名 松山商工会議所 住所 愛媛県松山市大手町2-5-7

コンシェルジェの言葉通り、「おもてなし」を重視した検定。初級用の検定公式テキストも観光産業従事者向けに。中級は松山大学での市民公開講座の形をとり、所定の出席回数をクリアすると与えられ、観光ボランティアガイドに登録申請できる。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成18年3月 共催・協力・協賛団体
事前準備 その他 （ガイドブック） 1,050円 自治体 観光協会 教育機関

146 検定名 いまばり博士 検定URL
実施団体名 今治商工会議所 住所 愛媛県今治市旭町2丁目3-20

平成17年の市町村合併により誕生した新今治市の地域資源の魅力を再認識し、郷土愛の醸成やホスピタリティ溢れる人材を育成するとともに、全国に向け地域情報を発信することを目的とする。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年5月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 1,200円（予定） 自治体 観光協会

147 検定名 タオルソムリエ資格試験 検定URL
実施団体名 今治商工会議所 住所 愛媛県今治市旭町2丁目3-20

今治商工会議所と四国タオル工業組合などでブランド化を推進している「今治タオルプロジェクト」（平成18、19年度中小企業庁「JAPANブランド育成支援事業」に採択）の一環として行われている検定。地場産業である「タオル」の魅力を発信していくことが目的。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年9月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 3,000円 自治体 商工会議所

148 検定名 とっておきの新居浜検定 検定URL http://www.niicci.or.jp/nihamakentei
実施団体名 新居浜検定事業運営協議会 住所 愛媛県新居浜市一宮町2丁目4番8号

新居浜についての多くの知識を市民が身につけ、地域活性化や観光振興、子供たちへの地域教育、人材育成などが目的。新居浜商工会議所や新居浜市、および各種団体で組織する「新居浜検定事業運営協議会」を設立し、実施。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年2月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 1,050円 自治体 観光協会 NPOなど 民間企業
教育機関

149 検定名 山内資料館江戸時代検定 検定URL
実施団体名 財団法人土佐山内家宝物資料館 住所 高知県高知市鷹匠町2-4-26

土佐山内家宝物資料館が、土佐藩や江戸時代の歴史に親しんでもらうきっかけ作り、及び館の講座や展示等を通して得た知識の確認の場として実施。毎年テーマを設定して設問し、初級・中級各1回を実施。参加者は公募。自己採点式。点数はポイント換算し、貯めていくことができる。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成18年4月 共催・協力・協賛団体
事前準備 その他 （参考書籍を紹介） 特になし

150 検定名 北九州市環境首都検定 検定URL http://www.city.kitakyushu.jp/
実施団体名 北九州市 住所 福岡県北九州市小倉北区城内1番1号

平成20年7月“環境モデル都市”に認定され、「美しき環境首都」という目標を目指して取り組んでいる北九州市ならではの検定。楽しみながら“環境力”が高まるもの。50問マークシート方式。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年11月
共催・協力・協賛団体
事前準備
特になし

151 検定名 九州観光マスター検定 検定URL http://kyushu-kanko-master.seesaa.net
実施団体名 福岡商工会議所 住所 福岡県福岡市博多区博多駅前2-9-28

九州の観光産業振興・発展につながる分析力・企画力を発揮する人材の育成を支援するために創出。3級では入門を、2級ではより広い知識とビジネスに必要な知識、1級では総合的な理解度と応用力を問う。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成17年10月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 3,990円(1級)、2,100円(2級)、1,890円(3級) 自治体 商工会議所 観光協会 民間企業
事前の公式セミナー・講習会

152 検定名 ほとめき人検定 検定URL
実施団体名 財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会 住所 福岡県久留米市城南町16-1

久留米ものしり辞典から出題し、一定以上の正解者を合格者として認定する。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年3月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 1,800円 自治体

153 検定名 太宰府検定問題 検定URL
実施団体名 財団法人古都大宰府保存協会 住所 福岡県太宰府市観世音寺4-6-1太宰府展示館内

新たな大宰府の魅力の発信のために実施。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成22年
共催・協力・協賛団体
事前準備

154 検定名 伊都検定 検定URL
実施団体名 前原市 住所 福岡県前原市前原西1-1-1

福岡県西部に位置し、古代国家「伊都国」が存在したとされる前原市、二丈市、志摩町に関する問題を出題。第一回はNPO法人と共催し、問題数500問、試験時間5事件の耐久試験を行った。第二回は平成20年10月に開催した「前原市民まつり」において、親子参加方イベントとしてクイズ形式で行った。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年3月
共催・協力・協賛団体
事前準備 その他 (HPにて参考情報を公開) 自治体 商工会議所 観光協会 NPOなど
教育機関

155 検定名 唐津・呼子イカ検定 検定URL http://www.karatsu-kankou.jp
実施団体名 唐津・呼子イカ検定実行委員会 住所 佐賀県唐津市新興町2935-1 (社)唐津観光協会内

唐津市の産物でもブランド力のある「呼子のイカ」を核とした検定。唐津市内のホテル、旅館、イカ料理店では、今回のイカ検定試験に合格した従業員さんが、唐津・呼子イカ検定試験合格認定バッチを胸につけている。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年2月
共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 1,000円 自治体 観光協会
事前の公式セミナー・講習会

156 検定名 伊万里市歴史と文化のコンシェルジェ検定 検定URL http://emachiimari.sagafan.jp/
実施団体名 伊万里を感じる街並みづくり実行委員会 住所 佐賀県伊万里市二里町八谷搦112-15早田倶内

伊万里市内の商店主らでつくる「伊万里を感じる街並みづくり実行委員会」の若手メンバーが中心となり実施。各方面からの協力もある。まずは郷土の歴史や文化を知ることが街づくりの出発点と考え企画。目標は古伊万里文化の香る町並み作り。合格者には合格証として伊万里焼製の携帯ストラップを進呈。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成21年3月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト (HP上からダウンロード可 無料) 自治体 商工会議所 民間企業 その他

157 検定名 有工ふるさと検定 検定URL
実施団体名 佐賀県立有田工業高等学校 住所 佐賀県西松浦郡有田町桑古場乙2902番地

在籍中の高校3年のために学校が企画した検定。進学・就職などで故郷を離れる生徒たちから、故郷の良さを再認識したとの声がある。本校生徒の居住地や佐賀県に関する問題や当地の地場産業、陶磁器に関する問題、本校に関する問題などを100問掲載した問題集より30問が出題される。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年2月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 無料 特になし

158 検定名 長崎歴史文化観光検定 検定URL http://www.nagasaki-cci.or.jp
実施団体名 長崎商工会議所 住所 長崎県長崎市桜町4番1号

長崎の歴史・文化・観光に関するスペシャリスト"長崎通"を生み出す検定試験。本検定実施に当たり、商工会議所観光部会に「長崎検定検討委員会」を設置。各方面の方が委員に名を連ねている。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成18年3月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 1,890円 自治体 民間企業
事前の公式セミナー・講習会 3,150円

159 検定名 ながよ検定 検定URL http://webtown.nagayo.jp/kurashi/kyoiku/top.html
実施団体名 長与町教育委員会 住所 長崎県西彼杵郡長与町嬉里郷659-1

小中学生版を学校で、町民版を公民館で実施。小中学生には基礎学力の向上、家庭学習の習慣化など。町民には脳の活性化、家族とのコミュニケーションの充実などを目的に「漢字検定」「計算検定」を実施している。対象は地域在住/在勤/在学者のみ。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年7月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 各100円(全8種類) 特になし

160 検定名 熊本・観光文化検定 検定URL http://www.kmt-cci.or.jp/
実施団体名 熊本商工会議所 住所 熊本県熊本市横紺屋町10

平成23年に九州新幹線全線開通を控えており、熊本城本丸御殿公開が平成20年4月に行われるなど、今後熊本を訪れる観光客の増加が期待されている。そこで、県民を中心に、郷土熊本について学び、その魅力に気づき、おもてなしに役立てていただくことを目的に実施。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年2月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 2,100円(本編)、1,995円(続編) 自治体 商工会議所 観光協会
事前の公式セミナー・講習会 1,050円

161 検定名 みやざき観光・文化検定 検定URL http://www.miyazaki-cci.or.jp/kentei
実施団体名 宮崎商工会議所 住所 宮崎県宮崎市橘通東1丁目8番11号

宮崎県民一人ひとりが宮崎県全体に関する幅広い知識をもち、訪れる観光客を温かくもてなす心を持った人材を育成するため、知識の習得とスキルの向上、観光振興への意識とホスピタリティの向上を図ることを目的に実施するもの。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年2月 共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 1,890円 自治体 商工会議所 観光協会
事前の公式セミナー・講習会 1,050円

162 検定名 かどがわクイズ　検定URL http://www.town.kadogawa.lg.jp/kids/quiz/index.html
実施団体名 門川町　住所 宮崎県東臼杵郡門川町本町1-1

子どもを対象として、門川町のクイズ10題を選択形式で出題する。解答後、「解説」のボタンをクリックすると、詳しい解説がでる。最後に採点結果がでる。インターネット上で、いつでも何回でも受験可能。合格や級の設定はなし。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成17年　共催・協力・協賛団体
事前準備 なし　自治体

163 検定名 高千穂観光ガイド検定　検定URL http://www.takachiho-kanko.jp/
実施団体名 高千穂町観光協会　住所 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井809-1

観光ガイド認定を主目的としているが、ご当地検定だけの受験として、筆記試験のみの受験も可としている。有償ガイド希望者は筆記試験合格後に実施試験を行い、認定する。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成20年9月　共催・協力・協賛団体
事前準備 公式テキスト 500円　観光協会
その他 （ガイド希望者には実地講習を行っている）

164 検定名 かごしま検定～鹿児島観光・文化検定～　検定URL
実施団体名 鹿児島商工会議所　住所 鹿児島市東千石町1-38

鹿児島の県内外を問わず、一人でも多くの方に鹿児島ファンになっていただくために実施するもの。合格者は関係機関・観光施設等の協力で、合格者本人および同伴の方が県内観光施設等を利用する際の入場料が割引になる。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成18年4月　共催・協力・協賛団体
事前準備　特になし

165 検定名 奄美大島検定　検定URL
実施団体名 奄美大島体験受入連絡協議会　住所 鹿児島県奄美市名瀬幸町25－8

奄美の「宝」である自然や文化について学び、奄美の魅力を紹介できるように、観光に対する知識を身につける。事前研修会では、講師がポイントについて、詳細に解説してくれる。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年2月　共催・協力・協賛団体
事前準備 事前公式セミナー・講習会 1,500円　自治体 事務組合

166 検定名 ぱいぬ島検定ひんぷん級　検定URL
実施団体名 竹富町観光協会　住所 沖縄県石垣市美崎町1-5

この検定を通して、竹富町の自然や歴史、文化などへの知識を深め、竹富町観光をより楽しんでもらいたいと思い創設。

*〈検定概要〉*

検定開始年月 平成19年8月　共催・協力・協賛団体
事前準備 その他 （パンフレットから出題）　特になし

## 4　参考資料


函館商工会議所ＨＰ（http://www.hakodate.cci.or.jp/jigyo/hakodatekentei.htm）
函館市ＨＰ（http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/）
社団法人函館国際観光コンベンション協会ＨＰ（http://www.hakodate-kankou.com/）
小田原市ＨＰ（http://www.city.odawara.kanagawa.jp/index.html）
小田原箱根商工会議所ＨＰ（http://www.odawara-cci.or.jp/）
小田原まちあるき検定（http://machien6.exblog.jp/）
NPO法人小田原まちづくり応援団ＨＰ（http://www.machien.net/）
NPO法人小田原ガイド協会ＨＰ
（http://www.city.odawara.kanagawa.jp/kanko_guide/guide.html）
金沢検定ＨＰ（http://www.kanazawa-kentei.com/）
金沢経済同友会ＨＰ（http://www.kanazawa-doyukai.or.jp/）
金沢市ＨＰ（http://www4.city.kanazawa.lg.jp/39026/j_kentei/index.jsp）
明石市役所ＨＰ（http://www.city.akashi.hyogo.jp/）
明石・魚の棚商店街ＨＰ（http://www.uonotana.or.jp/rekishi.htm）
目指せ！お魚通！明石・タコ検定ＨＰ（http://www.tako-kentei.com/index.htm）
明石中心市街地まちづくり推進会議ＨＰ（http://www.akashi-info.jp/）
津山だんじり保存会館ＨＰ（http://danjiri-jp.net/）
津山市ＨＰ（http://www.city.tsuyama.lg.jp/）
熊本県庁ＨＰ（http://www.pref.kumamoto.jp/）
熊本商工会議所ＨＰ（http://www.kmt-cci.or.jp/2003/kmt-cci/index.php）
熊本・観光文化検定公式テキストＨＰ（http://www.mind-k.com/kentei/index.html）

地域の魅力を発信するご当地検定
調査研究報告書

発行年月日　平成 21 年 3 月
発　　行　財団法人　地域活性化センター
〒103-0027　東京都中央区日本橋 2－3－4
日本橋プラザビル 13 階
TEL : 03-5202-6138　　FAX : 03-5202-0755
ホームページ　http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp/
監修・執筆協力　株式会社ブランド総合研究所
代表取締役社長　田中　章雄
アンケート調査業務委託　株式会社ブランド総合研究所